

令和 7 年版

消 防 年 報



塩釜地区消防事務組合消防本部
(令和 8 年刊行)

は じ め に

この年報は、塩釜地区消防事務組合における令和7年中の消防現勢及び消防諸般の状況を統計的に収録したものです。

本書は、消防行政の合理的な運営と消防力の充実強化の参考に資するとともに、本組合消防の実態を広く一般に紹介することを目的として編集しました。

本書の記載内容で予算に関するものは会計年度、消防統計的なものについては暦年として編集しましたが、表中に年月日を明示したものについては、その時点での現況です。

その他の表につきましては、特に記載のない限り、令和8年4月1日現在をもって収録しました。

何とぞ御高覧の上、今後とも消防行政に対しまして深い御理解とより一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年8月

塩釜地区消防事務組合消防本部

目 次

○ 塩釜地区消防事務組合管内位置図	1
○ 塩釜地区消防事務組合構成市町の概要	2
○ 塩釜地区消防事務組合一目統計	3
○ 令和7年度の主な行事等	4
○ 塩釜地区消防事務組合の沿革	8
○ 塩釜地区消防事務組合組織図	21
○ 本部庁舎・消防署等位置・管内情勢	22

第1編 総 務

○ 令和8年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算(当初予算)	23
○ 構成市町負担金状況	23
○ 組合予算と職員数・人口・世帯数の推移	24
○ 組合議会等・歴代消防長	25
○ 職員配置状況	26
○ 職員年齢状況	26
○ 救急救命士階級構成表	26
○ 消防救助隊の編成	26
○ 職員資格取得状況	27
○ 職員研修状況	27

第2編 予 防

○ 用途別建築同意処理状況	28
○ 市町別建築同意処理状況	28
○ 防火対象物数	29
○ 危険物施設数	30
○ 危険物廃止届出数	30
○ 第四類危険物の貯蔵取扱許可数量	31
○ 第四類以外危険物の貯蔵取扱許可数量	31
○ 市町別危険物施設の許可及び検査状況	32
○ 石油コンビナート等特別防災区域概要	33

第3編 警 防

○ 消防水利現況・消火薬剤保有状況	35
○ 消防車両等の現況(その1)	36
○ 消防車両等の現況(その2)・消防車両等配置状況	37
○ 消防資機材保有状況(その1)	38
○ 消防資機材保有状況(その2)	39
○ 救急資器材保有状況	40
○ 組合管内各市町消防団現況	41
○ 組合管内各市町消防団機械器具現況	41

第4編 指 令

○ 通信施設配置状況	42
○ 無線通信施設	42
○ 消防緊急通信指令システム図	43
○ 通信指令装置の機能概要	44
○ その他の機器の概要	45
○ 災害受付状況・応急手当の口頭指導実施状況(1～6月)	46
○ 災害受付状況・応急手当の口頭指導実施状況(7～12月)	47

第5編 火 災 統 計

○ 令和7年の火災概要	48
○ 火災の概況	49
○ 市町別火災概況	50
○ 月別火災発生状況	51
○ 四季別火災発生状況	51
○ 火災件数と損害額	52
○ 出火原因別の火災発生状況	52
○ 初期消火状況	53
○ 「放火・放火の疑い」の発生状況	53
○ 死傷者の発生状況	54
○ その他	55
○ 過去5年間の火災発生状況	56
○ 過去10年間の主な火災	58

第6編 救急統計

○ 令和7年の救急概要	59
○ 市町別救急発生状況・市町事故別救急発生状況	60
○ 救急発生状況の推移	61
○ 事故別救急発生状況	61
○ 月別救急発生状況	62
○ 時間別救急発生状況	62
○ 曜日別救急発生状況	63
○ 年齢区分別搬送状況	63
○ 年代別性別搬送状況	64
○ 傷病程度別搬送状況	64
○ 現場到着所要時間別出場状況	65
○ 収容所要時間別搬送状況	65
○ 医療機関別搬送状況	66
○ 救急隊事故別救急発生状況	67
○ 診療科目別搬送状況	67
○ 救急隊員の行った応急処置等の状況	68
○ 応急手当の普及状況	69
○ 過去5年間の市町別救急発生状況	70
○ 過去の主な救急事故	71
○ 市町別救急活動支援出動状況	73
○ 救急活動支援種別出動状況	73

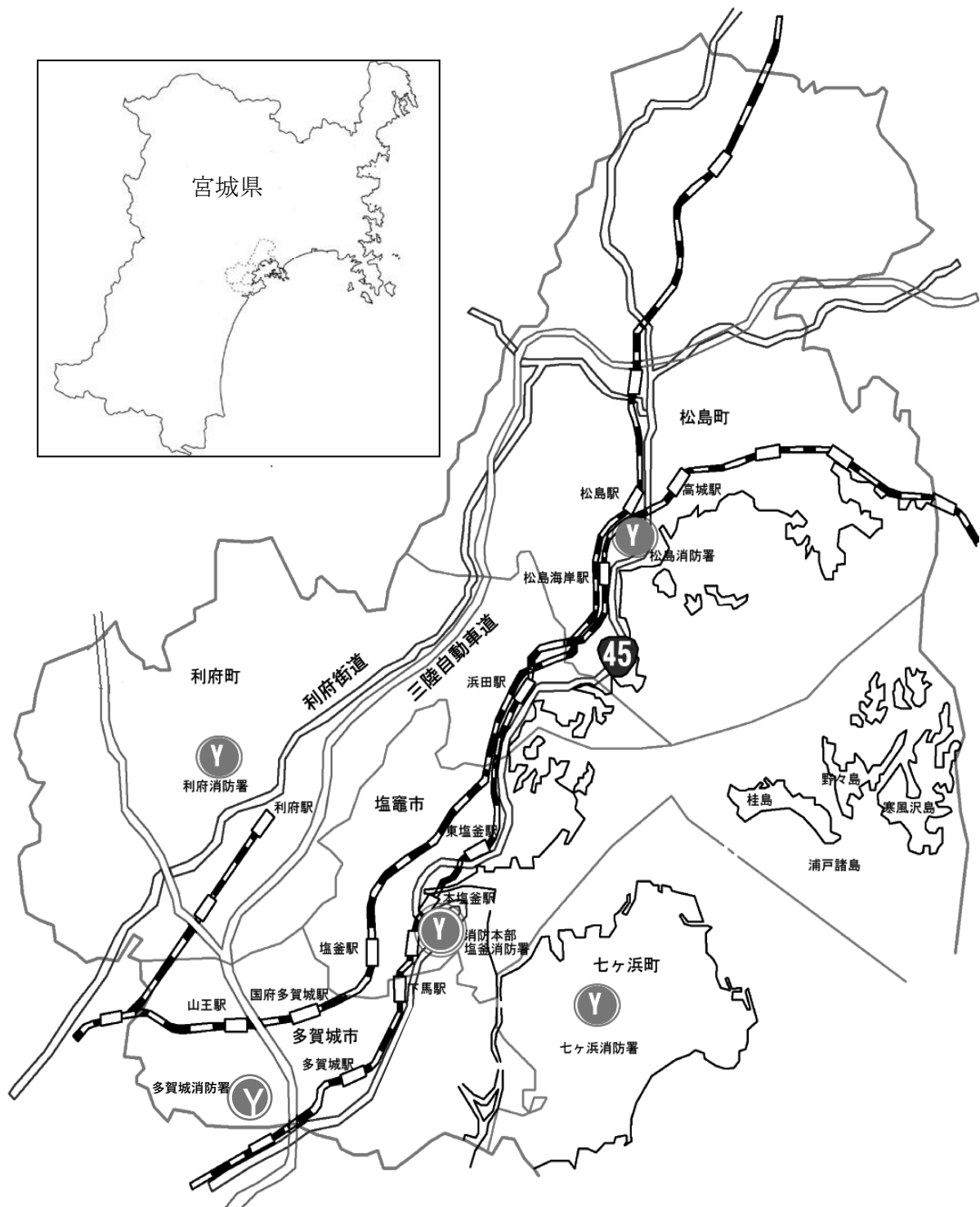
第7編 救助統計

○ 令和7年の救助概要	74
○ 市町別出動状況	75
○ 事故種別出動状況	75
○ 月別救助出動件数・救助人員	76
○ 時間別救助出動状況	76
○ 曜日別救助出動状況	76

第8編 協力団体

○ 塩釜地区防災安全協会	77
○ 塩釜地区防火委員会	78
○ 塩釜地区女性防火クラブ連合会	78
○ 塩釜地区少年消防クラブ連絡協議会	79
○ 塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会	79
○ 宮城県消防協会塩釜地区支部	80
○ 令和8年度塩釜地区統一防火標語入選作品	81
○ 第49回塩釜地区防火書道展最優秀作品	81

塩釜地区消防事務組合管内位置図



塩釜地区消防事務組合構成市町の概要

塩釜地区消防事務組合は、塩竈市、多賀城市、松島町、七ヶ浜町及び利府町の二市三町で構成されています。管内面積は148.71㎢で、職員定数は232名、1消防本部・5消防署・事務局（2課）で構成されています。

管内の特色は、海岸部はリゾート基地・水産業を軸とする観光・水産都市、歴史性をもった文化都市、ニュータウンに加えて、東北の各都市へのエネルギーを供給する役割をもつ石油コンビナート地帯を抱えております。

塩 竈 市

陸奥の「国府多賀城」の荷揚港として、また、鹽竈神社の門前町として古くから栄えてきた塩竈市は、商工、観光港と合わせて、特定重要港、特定第三種漁港の指定を受ける港湾・水産都市であります。さらに、松島湾の湾口部には、浦戸諸島が所在し、美しい景観や遊覧船観光を楽しめることも大きな魅力です。

多 賀 城 市

多賀城は神亀元年（724年）に創建し、陸奥国府・鎮守府が置かれるなど、古代東北の政治・文化・軍治の中心として栄えた歴史を持つ史跡のまちです。一方で、仙台市に隣接する利便性の高い住宅都市として発展し、交通網や商業施設、教育環境も充実しています。歴史と現代的な都市機能が調和し、暮らしやすさと文化的な魅力を兼ね備えたまちです。

松 島 町

歴史と風景が重なり合う松島町は、世界が認める日本三景の一つであり、また国宝瑞巖寺や五大堂など伊達家ゆかりの寺院や史跡を有す国際観光都市であります。また沿岸部では、かき養殖等の浅海漁業、北部では稲作を中心とした農業が盛んで様々な産業がバランス良く発達しております。

七 ヶ 浜 町

三方を海に囲まれた七ヶ浜町は皇室に海苔を献上するなど豊富な水資源に恵まれ、松島四大観「多聞山」など美しい景観を有しております。また明治時代から避暑地として多くの外国人に愛され、七ヶ浜国際村を拠点に国際交流が盛んに行われており、ひとと自然が調和したまちづくりが進められております。

利 府 町

交通アクセスに優れ、通勤・通学の拠点として発展する利府町は、農業においても特産の利府梨の産地として知られております。また、スポーツ施設が整備され、スポーツやイベントの拠点となっており、さらに、自然環境にも恵まれ、丘陵地や緑地が広がる落ち着いた住環境と都市機能が調和した町であります。

一 目 統 計

(令和8年4月1日現在)

面 積	人 口	世 帯 数	消 防 予 算
148.71km²	177,852人	80,554世帯	3,695,148千円
塩竈市 17.38km ² 多賀城市 19.69km ² 松島町 53.56km ² 七ヶ浜町 13.19km ² 利府町 44.89km ²	塩竈市 51,018人 多賀城市 60,964人 松島町 12,677人 七ヶ浜町 17,297人 利府町 35,896人	塩竈市 24,445世帯 多賀城市 28,649世帯 松島町 5,749世帯 七ヶ浜町 6,989世帯 利府町 14,722世帯	一人当たり 20,776円 一世帯当たり 45,871円

(令和8年4月1日現在)

庁 舎 等	消 防 職 員	保 有 車 両
消防本部 1 消防署 5 資機材倉庫 1	条 例 定 数 220人 実 員 212人 (男性203人、女性9人) 平 均 年 齢 37.4歳 平均勤続年数 15年	ポ ン プ 車 9台 救 助 工 作 車 1台 化 学 車 3台 消 防 救 急 艇 1艇 大 型 水 槽 車 1台 救 急 車 9台 は し ご 車 2台 そ の 他 21台

※実員は定数外（派遣者等）を除く。

(令和7年分)

火 災	救 急	救 助	119 番 通 報 件 数
火災件数 41件	救急件数 10,677件 搬送人員 10,074人	救助件数 48件 救助人員 49人	総通報件数 14,800件
建物火災 28件 林野火災 0件 車両火災 3件 船舶火災 1件 その他火災 9件	平均現場到着所要時間 9分04秒 平均病院等収容所要時間 48分24秒	火 災 3件 交通事故 12件 水難事故 4件 建物事故 20件 機械事故 1件 その他 8件	固定電話 5,604件 携帯電話 8,013件 加入電話 922件 その他 261件

防 火 対 象 物	危 険 物 施 設	消 防 団 員	消 防 水 利
3,887棟	1,067施設	687人	総計 3,623
特定防火対象物 1,128棟 非特定防火対象物 2,759棟	製造所 2施設 貯蔵所 874施設 取扱所 191施設	塩竈市塩竈 74人 塩竈市浦戸 41人 多賀城市 141人 松島町 180人 七ヶ浜町 169人 利府町 82人	消火栓 2,800 防火水槽 666 その他 157

令和7年度の主な行事等

月 日	記 事
令和7年 4月24日	管理者通常点検(消防本部)   ▲管理者通常点検① ▲管理者通常点検② 職員の厳正な規律保持と士気高揚を目的とした「管理者・消防長通常点検」を実施
7月3日	第49回宮城県消防救助技術指導会出場   ▲ほふく救出 煙道内に取り残された要救助者を救出することを想定とした訓練。 ▲ロープブリッジ救出 建物や河川の中州等に取り残された要救助者を救出することを想定した訓練。  ◀ 障害突破 災害現場の様々な障害を想定し、いかなる状況下でも対応することを目的とした訓練。
7月16日	第53回東北地区支部消防救助技術指導会(水上の部)出場   ▲溺者救助 水難事故を想定した訓練で、救助者、補助者の2名で救出する。 ▲溺者搬送 顔を水面につけず傷病者のもとへ救出に向かい、ヘアカリヤーで救出する訓練

月 日	記 事
6 月	職場の熱中症対策のため「クールファイターズ」発足 ▲隊員へのインタビュー ▲アナウンサーによる防火衣装着体験 ▲クールファイターズの活動紹介 職場における熱中症対策並びにイベント時等の熱中症を中心とした予防救急活動推進のため、クールファイターズを発足。消防隊の熱中症対策として、ミヤギテレビから取材要請があり、アナウンサーにも暑熱順化のための訓練を含め、体験してもらった。また放送を観た他消防本部からも内容照会の電話が相次いだ。
10 月 3 日	消火技術コンクール モリリン加瀬沼公園を会場に消火器競技、67チーム、134名が日頃の訓練成果を発揮しました。また、有事の際における通報や初期消火技術の習得と併せて、地域の防火・防災組織との協力体制の再確認を行いました。

月 日	記 事
10 月 10 日 10 月 11 日	緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(山形県新庄市)   ▲各部隊活動状況 地震により土砂内に取り残された要救助者の救助を想定した訓練 ▲各部隊活動状況 土砂災害から救助した住民を応急処置し、救急隊で救護テントまでの搬送を想定した訓練 山形県内陸部の新庄盆地断層帯を震源とする地震による大規模災害を想定し、緊急消防援助隊の要請、参集及び部隊運用について、実践的かつ効果的な訓練を実施。緊急消防援助隊宮城県大隊陸上隊等の活動を円滑に行うため、各関係機関との連携活動能力の向上を図ることを目的に実施した。
11 月 20 日	防災講演会(七ヶ浜国際村)   おてんきぼうさいラボから講師を招き、「気候が狂えば、災害も暴れる～今、私たちが知るべき地球温暖化と防災の話～」と題し、講演をいただいた。
12 月 17 日 12 月 18 日	令和7年度警防研修会(運転技術向上研修)   ▲実車を用いて、日常点検ポイントの説明 ▲模型を使用した構造説明 大型自動車の「車両構造及び日常管理」に関する基礎知識や管理上のポイントについて、製造メーカーから講師を招き、消防自動車の日常における適切な管理と災害現場における最高性能を発揮した警防活動の向上を目的に専門知識の教養と技術指導をいただいた。

月 日	記 事
2 月 17 日 2 月 18 日	令和7年度警防研修会(火災性状・放水技術向上研修)   ▲座学 ▲放水器具を用いた放水技術研修 当消防本部で保有している管そう及びノズルの諸元・性能や新知識をアップデートさせること、また、災害対応能力の向上を目的に、製造メーカーから講師を招き、講習を実施した。 基本的な資機材の取扱いや放水の性状確認を行ったほか、新放水器具を用いての放水も行った。
3 月 1 日 ～ 3 月 7 日	春の火災予防運動に伴う 火災予防普及啓発活動(消防本部及び各消防署)  ▲防災フェス消防ひろば(消防本部・利府消防署)  ▲消防ひろば(塩釜消防署)  ▲街頭広報(多賀城消防署)  ▲防災学習(松島消防署) 火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図ることを目的に火災予防運動期間を中心に火災予防普及啓発活動を実施。消防本部及び利府消防署では、宮城県及び近隣3消防本部(局)合同で防災フェス消防ひろばを、塩釜消防署では、ふれあいエスプ塩竈と協賛し消防広場を、また商業施設での街頭広報、小学校に出向いての防災学習を実施、幼少期の防火教育の一環として開催するなど、各消防署で運動を実施した。

塩釜地区消防事務組合の沿革

年 号	月 日	記 事
昭和45年	4 月 1 日	・塩竈市、多賀城町、松島町、七ヶ浜町、利府町の1市4町で、塩釜地区消防事務組合を設立し、塩竈市に消防本部、1消防署、1出張所、多賀城町に1分署を設置、消防車6台、救急車2台、消防艇1隻、職員定数120名(実員80名)で発足 ・初代消防長に大沼盛就任
	7 月 9 日	職員3名採用し、実員83名となる。
	7 月 22 日	消防副士長制度を採用
昭和46年	2 月 2 日	多賀城町鶴ヶ谷字内手2番地の1に多賀城消防分署庁舎完成移転し、業務を開始(ポンプ車2台、救急車1台、職員19名)
	3 月 23 日	指令車(トヨタクラウン 2,000cc)を更新し、消防本部に配置
	4 月 1 日	職員38名採用し、実員120名となる。
	6 月 16 日	塩竈市尾島町17番22号に消防本部、塩釜消防署庁舎完成し、業務を開始(ポンプ車3台、救急車1台、指令車1台、広報車1台、職員44名)
	11 月 20 日	七ヶ浜町吉田浜字野山15番地の45に七ヶ浜出張所を開設(ポンプ車1台職員6名)
昭和47年	11 月 26 日	松島町磯崎字浜1に松島出張所を開設(ポンプ車2台、広報車1台、職員17名)
	12 月 1 日	利府町利府字大町20番地に利府出張所を開設 (ポンプ車1台、職員6名)
	1 月 1 日	多賀城市市制施行に伴い、多賀城分署を消防署に、松島出張所を分署に昇格
	4 月 1 日	消防施設整備第一期計画を作成、定数条例2名(消防吏員以外の職員)を増員し122名とする。
	11 月 21 日	普通消防ポンプ自動車(ニッサン130馬力)1台を購入し、塩釜消防署に配置
昭和48年	3 月 27 日	40t級化学消防艇「まつしま」を建造、一本松出張所に配置し、消防艇「うらしお」を廃艇
	4 月 1 日	・二代消防長に児玉金七就任 ・消防施設整備第二期計画に基づき、定数条例6名を増員し128名とする。
	6 月 15 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け多賀城消防署に配置
	11 月 5 日	農協共済連合会から3B型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	12 月 1 日	松島分署救急業務を開始
昭和49年	2 月 12 日	18m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し塩釜消防署に配置
昭和50年	4 月 1 日	消防施設整備第二期計画に基づき条例定数6名を増員し、134 名とする。
	4 月 1 日	定数条例2名を増員し、136名とする。
	6 月 10 日	塩釜港石油基地防災協議会から化学ポンプ自動車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
昭和51年	6 月 28 日	松島町松島字蛇ヶ崎右53番地に松島分署新庁舎完成移転し、業務を開始
	8 月 1 日	三代消防長に板宮秀夫就任
	12 月 1 日	特別消防隊(隊員20名) 発足、初代隊長に鹿新吉就任
	2 月 13 日	トヨタ2B型救急車を購入(更新)し、松島分署に配置
	3 月 15 日	塩釜港石油基地防災協議会と塩竈市との協定により一本松出張所に泡原液貯蔵タンク(10kℓ容量)1基建設
	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画を作成、定数条例8名増員し、144 名とする。
	4 月 21 日	日本損害保険協会からトヨタ2B型救急車の寄贈を受け多賀城消防署に配置
	8 月 17 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け塩釜消防署に配置

年 号	月 日	記 事
昭和51年	10 月 1 日	多賀城市山王字中山王23番地の2に多賀城消防署西部出張所を開設 (ポンプ車1台、職員8名)
昭和52年	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画に基づき、定数条例5名を増員し、149 名とする。
	4 月 12 日	指令車(トヨタクラウン 2,000cc)を更新し、消防本部に配置
	12 月 20 日	塩釜地区消防事務組合職員章を制定
昭和53年	1 月 31 日	消防本部庁舎裏に救助訓練塔完成
	2 月 1 日	消防音楽隊(隊員22名)発足、初代隊長に山路一郎就任
	3 月 14 日	水槽付消防ポンプ自動車購入し、松島分署に配置
	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例8名増員し、157 名とする。
	6 月 12 日	17時14分宮城県沖地震発生(震度5マグニチュード7.4)管内で死者5名負傷者62 名、倒壊家屋多数、その他塩釜地区石油コンビナート地域においてもタンクの破損、 また東北石油の原油タンク破壊など大きな被害をもたらした。
	9 月	第1回消火技術コンクールを開催(月見ヶ丘スポーツ広場)
	9 月 7 日	日本消防協会から2B型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	10 月 1 日	七ヶ浜町吉田浜字野山5番地の56に七ヶ浜出張所新庁舎完成移転し、業務を 開始(化学車1台、ポンプ車2台、職員16名)
	10 月 19 日	塩釜ライオンズクラブから広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	11 月 4 日	35m級梯子付消防ポンプ自動車を購入し、塩釜消防署に配置
昭和54年	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例2名増員し、159 名とする。
	4 月 19 日	日本損害保険協会から普通消防ポンプ自動車の寄贈を受け、松島分署に配置
	5 月 11 日	資材搬送用として、普通トラックを購入し、塩釜消防署に配置
	8 月 2 日	災害時の職員搬送用として29人乗マイクロバスを購入し消防本部に配置
	8 月 24 日	消防本部に主幹制度を採用
	9 月 14 日	日本防火協会から防火広報車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	11 月 1 日	自主防災組織強化のため塩釜地区少年婦人防火委員会発足
昭和55年	3 月 6 日	化学消防ポンプ自動車日野A-1級を購入(更新)し、多賀城消防署に配置
	4 月 1 日	消防施設整備第三期計画に基づき定数条例6名増員し、165 名とする。
	7 月 8 日	利府出張所を増改築
	9 月 1 日	日本消防協会から広報車の寄贈を受け、松島分署に配置
	9 月 8 日	日本損害保険協会から軽化学車の寄贈を受け、七ヶ浜出張所に配置
	10 月 4 日	広報車としてトヨタカーリーナバン1,600 ccを購入(更新)し、多賀城消防署に配置
	12 月 23 日	トヨタ2B型救急車を購入(更新)し、松島分署に配置
昭和56年	3 月 12 日	CD-1型普通消防ポンプ自動車を購入(更新)し、利府出張所に配置
	4 月 1 日	・機構改革により警防課に通信係を新設、塩釜消防署警防係を警防第一係及び 警防第二係に改組、多賀城消防署に設備係を新設する。 ・消防施設整備第四期5ヵ年計画を作成
	8 月 28 日	多賀城市大代三丁目中野武彦氏よりニッサンサニーの寄贈を受け、多賀城消防 署事務連絡車として配置
	9 月 28 日	日本消防協会から2B改良型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置
	11 月 10 日	CD-1型普通消防ポンプ自動車2台購入(更新)し、塩釜消防署及び多賀城消 防署に配置
昭和57年	4 月 1 日	B型消防救急指令装置を導入し、通信指令室を2階に移設、業務を開始
	4 月 5 日	鹽竈神社氏子青年会から広報車として、トヨタコロナ 1,800ccセダンの寄贈を受け 塩釜消防署に配置
	4 月 28 日	第1回幼年消防クラブ地区大会を県民の森で開催
	8 月 24 日	宮城県消防協会から緊急給水用ろ水器の寄贈を受け消防本部に配置

年 号	月 日	記 事
昭和57年	10 月 22 日	CD-1型普通ポンプ自動車2台購入(更新)し、多賀城消防署及び七ヶ浜出張所に配置
	10 月 26 日	日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、西部出張所に配置
	11 月 20 日	消防本部庁舎(会議室、書庫)増築
昭和58年	4 月 27 日	4・27林野火災発生、覚知 12:44(119) 鎮火4月28日13:05 利府町における損害は山林等578ha、建物18棟(罹災世帯6世帯、罹災人員30名)を焼失し、合計102,6820千円に及んだ。
	5 月 1 日	管理者に内海勇三塩竈市長就任
	7 月 1 日	四代消防長に豊島繁就任
昭和59年	10 月 1 日	人口急増等を勘案し、七ヶ浜出張所を分署に昇格
	3 月 15 日	日本損害保険協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	3 月 31 日	一本松出張所廃止
昭和60年	5 月 10 日	全国消防長会主催による第15回「危険物委員会」塩竈市で開催
	8 月 2 日	第27回「宮城県操法大会」多賀城市で開催
	11 月 1 日	全管内を対象に毎日広報(防火パトロール)を開始
	11 月 10 日	国庫補助事業により救助工作車購入、塩釜消防署に配置
	11 月 14 日	防衛庁補助事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入し、多賀城1号車として多賀城消防署に配置
	3 月 1 日	分担金条例の一部改正(施行日昭和60年4月1日)
	4 月 1 日	・防災無線並びに防災ファクシミリ設置運用開始 ・宮城県消防協会塩釜支部の事務受託
	9 月 9 日	鹽竈神社からトヨタ2B型改良型救急車の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	10 月 1 日	塩釜消防署七ヶ浜分署に救急車(トヨタ2B型)配置、救急業務を開始
	11 月 1 日	機構改革により課長補佐制の導入
昭和61年	11 月 22 日	国庫補助事業により大型水槽車(水10t)三菱19t級 290馬力を購入し塩釜消防署に配置
	4 月 1 日	・消防施設整備第五期5ヵ年計画を作成 ・電算導入による検討プロジェクトチーム(6名)発足
	8 月 5 日	8・5集中豪雨発生、警戒発令日時8月4日15:15 塩釜地区消防事務組管内における被害状況は住宅(全壊1棟、半壊6棟、一部損壊16棟、床上浸水 3,838棟、床下浸水 3,283棟)、田畑(流失・埋没 329ha冠水1,346ha)、崖崩れ(211箇所)、道路損壊(211箇所)、河川損壊(40箇所)に及び合計損害額は約10,764,794千円に及んだ。
	8 月 28 日	(財)日本消防協会から電源照明用資機材等搬送車1台寄贈され塩釜消防署に配置
	12 月 5 日	消防本部警防戦術計算統計検討委員会発足(22名)
昭和62年	2 月 18 日	国庫補助事業により化学消防ポンプ車購入(更新)塩釜消防署に配置
	3 月 1 日	消防本部に情報通信室新設
	3 月 28 日	宮城県共済農業協同組合連合会よりニッサンキャラバン型救急車の寄贈(更新)を受け七ヶ浜分署に配置
	4 月 1 日	職員給与の電算化導入
	7 月 15 日	指令車購入(更新)し、消防本部に配置
	7 月 26 日	丸文汽船(株)から、ニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け松島分署に配置(更新)
	8 月 28 日	(財)日本消防協会からトヨタ2B型救急車の寄贈を受け利府出張所に配置

年 号	月 日	記 事
昭和62年	10 月 19 日	情報電送装置(ファクシミリ)を各署所に導入
昭和63年	2 月 16 日	防衛庁補助事業により、軽化学車を購入、4号化学車として多賀城消防署に配置
	3 月 1 日	消防緊急情報システム(地図等検索装置)を消防本部情報通信室に配置
	3 月 29 日	利府町利府字堀切前11番地の1に塩釜消防署利府出張所新庁舎完成
	4 月 1 日	利府出張所、分署に昇格
	6 月 10 日	宗教法人瑞巖寺からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け松島分署に配置
	7 月 1 日	消防計画策定委員会発足
	8 月 10 日	消防本部庁舎増改築
	8 月 25 日	塩釜ガス株式会社からスバルレオーネバン型広報車の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	9 月 3 日	カメイ株式会社からニホンフォードテルスター、指令2号車の寄贈を受け消防本部に配置
	10 月 25 日	千葉妙雄氏、株式会社ごんきやからトヨタクラウンセダン型消防連絡車の寄贈を受け消防本部に配置
昭和64年	11 月 1 日	塩釜地区消防事務組合条例規則等検討委員会発足(22名)
	1 月 7 日	昭和天皇崩御
	1 月 8 日	年号が「平成」と制定される。
	1 月 11 日	30周年記念事業検討委員会発足
	2 月 16 日	管内防災支援地図を作製
	2 月 24 日	昭和天皇の大喪の礼が行われる。
	3 月 29 日	(有)山源工務店から指揮車(三菱パジェロエステートバン)の寄贈を受け消防本部に配置
	3 月 30 日	塩釜中央ライオンズクラブからスバルレックスコンビF型ライオンズ号の寄贈を受け消防本部に配置
	4 月 1 日	・塩釜地区消防事務組合衛生管理者委員会発足(7名) ・管内独居高齢者を対象にテレホンパトロールを開始
	4 月 14 日	(社)日本損害保険協会から軽化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、5号化学車として利府分署に配置
平成元年	7 月 1 日	・管内住民に対し消防広報紙(消防通信)を発刊(年4回) ・職員の勤務時間見直しにより4週6休制を実施
	12 月 6 日	(財)日本防火協会から防火広報車(トヨタハイエース)の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
	1 月 26 日	国庫補助及び起債事業により水槽付消防ポンプ自動車を購入(更新)し、松島分署に配置
	4 月 1 日	・救急業務検討委員会発足(14名) ・職員3名を採用し、実員165名となる。
	4 月 19 日	塩釜地区消防事務組合創立20周年記念式典を開催(出席者 225名)
	6 月 1 日	消防施設整備計画策定委員会発足(24名)
	6 月 9 日	職員互助会創立20周年記念パーティを開催(出席者486名)
	7 月 1 日	職員定数の適正化計画により、定数条例改正、185名とする。
	9 月 28 日	当組合創立20周年記念事業として「組合消防のあゆみ」を発刊
	10 月 1 日	特殊勤務手当検討委員会発足(9名)
平成2年	11 月 12 日	天皇陛下即位礼正殿の儀が行われる。
	11 月 26 日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置
	12 月 17 日	消防本部と塩釜消防署の組織分離検討委員会発足(9名)

年 号	月 日	記 事
平 成 3 年	1 月 21 日	災害時の職員搬送用として31人乗マイクロバス購入(更新)
	1 月 30 日	放火防止対策検討委員会発足(6名)
	4 月 1 日	・消防施設整備第六期5ヵ年計画の実施 ・職員5名採用し、実員170名となる。 ・組織機構改革により消防本部と塩釜消防署の分離 ・組織機構改革により当直司令制の導入 ・職員の勤務時間見直しにより土曜閉庁方式の導入
	4 月 10 日	新消防艇「さくら」就航(更新)
	5 月 1 日	管理者に三升正直塩竈市長就任
	6 月 11 日	多賀城市工場地帯防災協議会発足
	8 月 29 日	救急救命士法施行に伴う救急救命中央研修所へ職員1名を派遣
	10 月 1 日	宮城県防災ヘリコプター導入に伴い隊員1名(副隊長)派遣 (期間平成5年9月30日まで2年間)
平 成 4 年	1 月 31 日	企業三者共同による広報車(トヨタカムリ)の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)
	2 月 1 日	消防業務検討委員会発足(10名)
	3 月 2 日	国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、松島分署に配置(更新)
	3 月 10 日	国庫補助及び起債事業により利府分署敷地に救助訓練塔を建設
	3 月 19 日	起債事業により多賀城消防署増改築
	3 月 25 日	多賀城消防署増改築及び救助訓練塔落成式を開催(出席者 112名)
	3 月 30 日	石油貯蔵交付金により油火災消火用薬剤貯蔵タンク(10kℓ)を更新
	4 月 1 日	・五代消防長に目黒久就任 ・職員5名採用し、実員172名となる。
	5 月 19 日	初めて救急救命士1名資格取得
	5 月 24 日	多賀城ライオンズクラブから広報連絡車(日産ADライトバン)の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)
	6 月 11 日	財団法人花園まちづくり記念財団から防災パトロール車(三菱パジェロルーフワゴン)の寄贈を受け、利府分署に配置(更新)
	12 月 1 日	職員の勤務時間見直しにより、4週7休制試行を実施
平 成 5 年	3 月 18 日	35m級梯子自動車(日野自動車)を購入し、多賀城消防署に配置
	4 月 1 日	職員7名を採用し、実員179名となる。
	6 月～9 月	職員の体力錬成の一環として栗駒山登山実施(標高1,628m)
	9 月 1 日	火災予防の個別指導のため、管内全世帯の一般防火指導を開始
	9 月 9 日	救急救命士養成のため、広島市消防局救急救命士養成所へ職員1名派遣
平 成 6 年	10 月 1 日	週休二日制(試行)
	3 月 27 日	救急救命士1名資格取得し、計2名となる。
	4 月 1 日	・職員5名を採用し、実員182名(定数185名)となる。 ・塩釜消防署七ヶ浜分署が多賀城消防署に所管替えとなる。 ・1週間当たり40時間勤務を実施(完全週休二日制) ・国庫・県補助事業により高規格救急自動車(トヨタハイメデック 4,000cc)を塩釜消防署に導入業務開始 ・国庫補助及び起債事業によりCD-1型消防ポンプ自動車を購入、利府分署へ配置(更新) ・消防戦術の見直しにより、火災出場区分を改正
	4 月 5 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名を派遣

年 号	月 日	記 事
平成 6 年	8 月 5 日	消防本部書庫完成
	9 月 12 日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員2名を派遣
	11 月 2 日	六代消防長に吉田稔就任
	11 月 12 日	救急救命士1名資格取得し、計3名となる。
	12 月 27 日	職員定数条例の改正により定数203名(5ヵ年計画で18名を増員)となる。
平成 7 年	2 月 15 日	消防庁舎建設検討委員会発足
	3 月 1 日	塩釜ガス(株)から広報車(トヨタスプリンターカリブ)の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置(更新)
	3 月 8 日	宮城県共済農業協同組合連合会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、多賀城消防署に配置(更新)
	3 月 28 日	・18m級梯子車を20m級屈折梯子車(日野自動車)に更新し、松島分署に配置 ・CD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)1台購入し、塩釜消防署に配置(更新)
	4 月 1 日	職員8名を採用し、実員189名(定員203名)となる。
	4 月 4 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	4 月 17 日	宗教法人瑞巖寺から広報車(トヨタスプリンターカリブ)の寄贈を受け松島分署に配置(更新)
	5 月 12 日	救急救命士2名資格取得し、計5名となる。
	6 月 23 日	平成7年1月17日発生の阪神・淡路大震災を踏まえ、全国消防機関相互による迅速な援助体制整備のため緊急消防援助隊発足
	8 月 29 日	(財)日本消防協会からニッサンキャラバン型救急車の寄贈を受け、七ヶ浜分署に配置(更新)
	10 月 5 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	11 月 15 日	救急救命士1名資格取得し、計6名となる。
平成 8 年	1 月 23 日	緊急消防援助隊発足に伴い派遣隊員(24名) 任命
	3 月 1 日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3 月 27 日	市町村波第2波(150.19MHz)増波し、運用開始
	3 月 29 日	・超音波式潮位観測装置(検潮部湾内3ヵ所)処理装置を消防本部、同表示装置を組合構成市町に設置、観測システム業務開始 ・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)を1台購入し、七ヶ浜分署に配置(更新) 水槽付消防ポンプ自動車(日野)を1台購入し、西部出張所配置
	4 月 1 日	・職員7名を採用し、実員193名(定員203名)となる。 ・消防施設整備第七期5ヵ年計画の実施
	4 月 9 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	4 月 25 日	救急救命士1名資格取得し、計7名となる。
	9 月 6 日	アポロキャップ型作業帽を採用
	10 月 1 日	・消防組織法の一部改正(平成7年10月1日公布)の施行に伴い、平成8年8月19日、消防職員委員会規則を制定し、10月1日から施行、同日、委員長に消防長に準ずる職員として次長を充て、委員長以下13名の委員会を設置 ・消防本部電話交換をダイヤルイン方式に変更
	10 月 15 日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	11 月 13 日	救急救命士1名資格取得し、計8名となる。
	11 月 29 日	第1回消防職員委員会開催
	12 月 19 日	北海道・東北ブロック初の緊急消防援助隊合同訓練に当組合から救急部隊、消火
	～ 20 日	部隊各1隊参加(仙台市宮城野区港二丁目1番 訓練会場)

年 号	月 日	記 事
平成8年	12月25日	塩消ニュース創刊20周年特別号を発刊
平成9年	3月1日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により新防火衣・防火靴更新
	3月6日	最新式消火システム「インパルス」を塩釜署に1基配備
	3月28日	・全国波第2波(148.75MHz)並びに第3波(154.15MHz)増波運用開始 ・防火衣保管用ロッカー設置(全署所) ・熱画像カメラ塩釜署に1基配置、ファイバースコープ塩釜消防署・多賀城消防署・松島分署に各1基配置
	4月1日	職員10名を採用し、実員201名(定員203名)となる。 (県消防学校初任科教育、現行6か月から概ね1年間となる。)
	4月8日	救急救命士養成のため、救急救命東京研修所へ職員1名派遣
	4月18日	救急救命士1名資格取得し、計9名となる。
	5月24日	多賀城ライオンズクラブから防災車両として、ジープ型指揮車の寄贈を受け、多賀城消防署に配備、又同車両用けん引き型トレーラーがソニー(株)仙台テクノロジーセンターから寄贈される。
	8月8日	平成9年6月28日、松島町根廻地内で発生した列車脱線事故に係る迅速的確な救助活動により、消防本部に対し東日本旅客鉄道から感謝状
	9月8日	救急救命士養成のため、仙台市消防局救急救命研修所へ職員1名派遣
	9月12日	平尾昌晃氏ふれあい募金会より消防福祉号として、三菱デリカスペースギア8人乗りワゴン車1台の寄贈を受け消防本部に配置
	10月6日	・職員定数条例の改正により定数220名となる(消防吏員17名増員) ・塩釜労働福祉会館土地建物取得事業関係補正予算案議決 (10月28日売買契約・11月11日嘱託登記)
	10月24日	救急救命士1名資格取得し、計10名となる。
	11月5日	自治体消防50周年記念講演会を塩釜商工会議所に於いて、消防本部・職員互助会共催により、OBの桜井真氏を講師に迎え開催 (演題「消防のはじまりと近代消防への歩み」)
	11月18日	鹽竈神社から消防搬送車として三菱ふそう2t自動車1台の寄贈を受け消防本部に配置
	12月25日	分担金条例一部改正議案議決(基準財政需要額の100分の60を、100分の66に改正、施行日・平成10年4月1日)
平成10年	1月12日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により指令車(トヨタクラウン)1台購入し、指令1として配置(更新)
	3月20日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業によりCD-1型普通ポンプ自動車(三菱ふそう自動車)を1台購入し、多賀城消防署に配置(更新)
	3月23日	陸上自衛隊多賀城駐屯地周辺消防施設設置助成事業により水-II型水槽付消防ポンプ自動車を更新配置
	3月24日	利府救急車(救急5)を災害対応特殊救急車に更新配置
	4月1日	・職員7名を採用し、実員208名(定員220名)となる。 ・利府分署配置人員を8名増員(現行総員21名から29名)し、救急隊の専従化を図る。
	4月23日	救急救命士2名資格取得し、計12名となる。
平成11年	9月1日	・旧塩釜労働福祉会館を改修し、新消防本部庁舎として移転執務開始 ・元職員(32名)を対象とした、消防協力援助隊発足
	11月25日	救急救命士1名資格取得し、計13名となる。
	3月1日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3月24日	旧消防本部事務室を改修し、新情報通信室に新鋭指令施設を導入する。
	3月25日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急車の寄贈を受け松島分署に配置

年 号	月 日	記 事
平成11年	3 月 29 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により高規格救急自動車(ニッサンハイメデック 3,270cc)を多賀城消防署に導入業務開始
	4 月 1 日	・七代消防長に田中一夫就任 ・職員9名を採用し、実員216名(定員220名)となる。 ・利府分署配置人員を2名増員(現行総員29名から31名) ・機構改革により情報通信室を指令課に改め、組織替えを図る。
	5 月 1 日	塩釜地区消防事務組合規約の一部改正により議員定数14名を12名に改正
	5 月 13 日	救急救命士1名資格取得し、計14名となる。
	7 月 1 日	・塩釜地区消防事務組合の共同処理する事務の変更及び組合規約の変更により事務局及び介護保険課(定員5名)を設置 ・職員定数条例の改正により定数225名となる。
	8 月 30 日	日本消防協会から、C-1級可搬消防ポンプ付軽積載車(三菱ミニカ)の寄贈を受け塩釜消防署に配置
	10 月 1 日	介護認定審査業務開始
	12 月 8 日	救急救命士1名資格取得し、計15名となる。
平成12年	4 月 1 日	・消防長を本部長とする行財政改善推進本部を設置し、行財政の改善に取り組む。 ・「煙火消費及び建設用びょう打ち銃用空包に係る許可事務」及び「液化石油ガス設備工事届及び特定液化石油ガス設備工事事業関係の事務」が県より移譲され業務を開始する。
	4 月 12 日	救急救命士1名資格取得し、計16名となる。
	7 月 31 日	塩釜地区消防事務組合消防音楽隊活動を一時休止する。
	9 月 1 日	行政需要の変化に的確に対応し、効果的な行政施策を計画的に推進するため、基本計画となる「消防プラン21」を策定し、計画行政の推進を図る。
	10 月 19・20 日	塩釜地区消防事務組合職員互助会30周年記念行事を七ヶ浜町国際村にて開催(出席者648名)
	10 月 23 日	救急救命士1名資格取得し、計17名となる。
	12 月 8 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の救助工作車Ⅱ型(三菱ふそう5.5t大型自動車)を更新配置
平成13年	2 月 2 日	塩釜地区消防事務組合規約変更許可となる。 (負担割合を構成市町の基準財政需要額の総額に対する構成市町ごとの構成割合とする。)
	4 月 1 日	・職員の再任用に関する制度施行 (消防司令以下は平成19年度以降施行) ・事務局が5名から7名体制となり、介護認定審査業務を消防職員のみで執行する。 ・職員定数条例の改正により定数227名となる。 ・本部組織の機構改革により、危険物係を保安係、救急係を救急救助係に改組するとともに隔日勤務職員を増員し当直体制の強化を図る。 ・基本計画に基づき施設整備に係る「消防施設整備第8期5ヵ年計画」の実施
	4 月 10 日	救急救命士1名資格取得し、計18名となる。
	9 月 ～10月	第56回国民体育大会(夏季・秋季)及び第1回全国障害者スポーツ大会の開催に伴い消防警備を実施する。
平成14年	3 月 1 日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3 月 26 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、七ヶ浜分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(三菱ふそう5.5t大型自動車)を更新配置
	4 月 1 日	・八代消防長に渡邊杜夫就任 ・職員3名(内初の女性消防官1名)を採用し、実員219名(定員227名)となる。

年 号	月 日	記 事
平成14年	6 月	2002年FIFAワールドカップサッカー大会が日本・韓国の20都市で開催され、利府町にある宮城スタジアムでも3試合(6/9メキシコVSエクアドル、6/12アルゼンチンVSスウェーデン、6/18日本Vストルコ)が行われ消防警備を実施する。
	8 月 1 日	119番FAX通信システムを導入・運用開始
	10 月 24 日	救急救命士1名資格取得し、計19名となる。
	12 月 11 日	国庫補助事業により利府分署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5.5t大型自動車)を更新配置
平成15年	3 月 13 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、塩釜消防署配置の高規格救急自動車(トヨタハイメディック 3,400cc)を更新配置
	4 月 1 日	・職員4名を採用し、実員219名(定員227名)となる。 ・仙台市消防局と初の人事交流
	5 月 1 日	管理者に佐藤 昭塩竈市長就任
	11 月 19 日	塩釜消防署配置の指揮車(トヨタハイラックスサーフ 2,700cc)を更新配置
平成16年	3 月 30 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、多賀城消防署配置の化学消防ポンプ自動車Ⅳ型(日野自動車10t大型自動車)を更新配置
	4 月 1 日	・職員3名(内女性1名)を採用し、実員220名(定員227名)となる。 ・機構改革により消防危機管理監を配置する。 ・消防組織法改正に伴い、緊急消防援助隊へ都道府県隊指揮隊、消火隊、救急隊、後方支援隊の4隊、14名を国に登録 ・改正服制基準による新活動服を採用
	4 月 20 日	救急救命士1名資格取得し、計20名となる。
	11 月 2 日	消防本部警防課配置の指揮車(スズキエスクード 2,000cc)を更新配置
平成17年	11 月 11 日	救急救命士1名資格取得し、計21名となる。
	2 月 17 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	3 月 1 日	宮城県防災ヘリコプターに隊員1名3年間派遣
	3 月 30 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、松島分署配置の水-Ⅱ型水槽付消防ポンプ自動車(日野自動車5t大型自動車)を更新配置
	4 月 1 日	・消防力の充実強化のため松島分署、七ヶ浜分署及び利府分署を消防署へ昇格させる。 ・職員4名を採用し、実員223名(定員227名)となる。
	8 月 18 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計2名となる。
	11 月 1 日	九代消防長に芳賀輝秀就任
	11 月 14 日	救急救命士1名取得し、計22名となる。
平成18年	12 月 6 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計3名となる。
	3 月 27 日	(社)日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)の寄贈を受け、七ヶ浜消防署に配置(更新)
	4 月 1 日	・障害者自立支援法施行に伴い、事務局の介護保険課を介護審査課に改め、障害者自立支援審査業務開始 ・職員5名を採用し、実員225名(定員227名)となる。
	6 月 8 日	宗教法人瑞巖寺から指揮車(トヨタサクシード(4WD))の寄贈を受け松島消防署に配置(更新)
	6 月 14 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計4名となる。

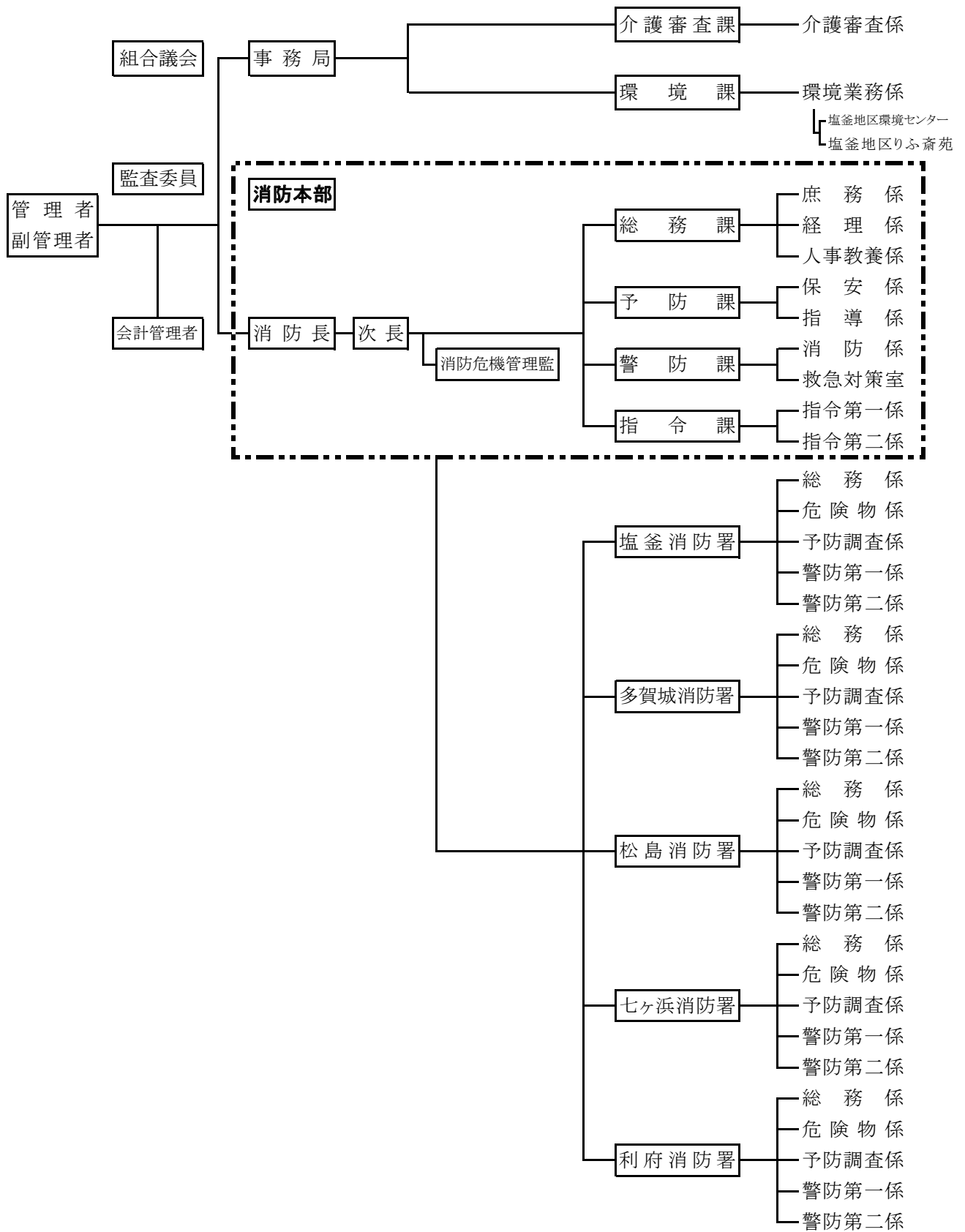
年 号	月 日	記 事
平成18年	7 月 25 日	救急救命士1名が薬剤投与実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定される。
	9 月 1 日	財団法人日本宝くじ協会助成事業により、消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」を西部出張所に配置
	10 月 6 日	救急救命士1名が気管挿管実施について宮城県メディカルコントロール協議会から認定され、計5名となる。
	11 月 21 日	CD-1型消防ポンプ自動車(日野自動車2t車ベース)1台購入し松島消防署に更新配置
平成19年	2 月 28 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)を松島消防署に更新配置。当組合の救急自動車が全て高規格救急自動車となる。
	3 月 15 日	株式会社白寿殿から消防連絡車(トヨタクラウン)の寄贈を受け、消防本部に更新配置
	4 月 1 日	・職員5名(内女性1名)を採用し、実員225名(定員227名)となる。 ・ホームページ開設
	9 月 1 日	平成19年度宮城県総合防災訓練が多賀城市(陸上自衛隊多賀城駐屯地)で開催される。
平成20年	3 月 28 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(トヨタハイメデック2,700cc)を利府消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員6名を採用し、実員225名(定員227名)となる。
	7 月 4 日	宗教法人瑞巖寺から搬送1(トヨタダイナ)の寄贈を受け消防本部に配置
	12 月 26 日	宮城県消防広域化推進計画が策定され、県内3消防本部体制により、県中ブロックとして仙台市消防局・黒川地域行政事務組合消防本部との広域化の枠組みが示される。
平成21年	3 月 27 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、大型高所放水車(高所1)を塩釜消防署に更新配置
	4 月 1 日	・職員6名(内女性1名)を採用し、実員225名(定員227名)となる。 ・十代消防長に平山優就任 ・警防課救急救助係を救急対策室に改編
	12 月 24 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、高規格救急自動車(ニッサンパラメディック3,500cc)を多賀城消防署に更新配置
平成22年	2 月 25 日	指揮車(マツダビアンテ1,900cc)を購入し利府消防署に更新配置
	3 月 27 日	市町村振興総合補助事業によりCD-1型消防ポンプ自動車(日野自動車2t車ベース)を利府消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員10名を採用し、実員226名(定員227名)となる。
平成23年	2 月 3 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、指揮車(マツダビアンテ1,900cc)を七ヶ浜消防署に更新配置
	3 月 11 日	14時46分三陸沖を震源とするM9.0の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度6強を観測。また、大津波の襲来により多数の死傷者が発生、さらに仙台地区石油コンビナート(多賀城市)で火災が発生し、甚大な被害をもたらした。 県内隣接消防本部をはじめ緊急消防援助隊の長野県隊、岡山県隊、徳島県隊及び兵庫県隊の応援を受け活動に当たった。
	3 月 29 日	消防本部新庁舎完成
	4 月 1 日	・職員8名を採用し、実員224名(定員227名)となる。 ・十一代消防長に志賀寧就任

年 号	月 日	記 事
平成23年	4 月 1 日	・小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型(日野プロフィア8,860cc、水槽容量10,000ℓ)を購入し塩釜消防署に更新配置 ・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された支援車Ⅰ型(日野プロフィア12,910cc)を利府消防署に配備
平成24年	1 月 11 日	緊急消防援助隊設備整備費補助事業により、高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を塩釜消防署に更新配置
	3 月 26 日	・消防車両整備指定寄付金により、CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を多賀城消防署に更新配置 ・宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を七ヶ浜消防署に更新配置
	3 月 27 日	宮城県石油貯蔵施設立地対策等交付金事業により、救助工作車Ⅱ型(日野レンジャー6,403cc)を多賀城消防署に配置
	4 月 1 日	・職員12名を採用し、実員223名(定員227名)となる。
	10 月 23 日	平成24年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練(図上訓練)を宮城県総合運動公園グランディ・21セキスイハイムスーパーアリーナ(宮城県総合体育館)で実施。県外33機関、県内23機関が相互に連携して災害対応図上訓練をし、災害即応体制の向上を図った。
平成25年	3 月 5 日	仙台農業協同組合及び全国共済農業協同組合連合会宮城県支部より高規格救急車(トヨタ2,693cc)の寄贈を受け、七ヶ浜消防署に更新配置
	4 月 1 日	・職員13名を採用し、実員216名(定員227名)となる。 ・消防救急無線のデジタル化が整備され、本部庁舎4階に高機能消防通信システム(超音波式潮位観測装置、全国瞬時警報システム含む)を導入して、消防指令センターを運用開始する。
平成26年	3 月 20 日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車(日野自動車5t車ベース)を多賀城消防署西部出張所に更新配置
	4 月 1 日	・塩釜地区消防事務組合と塩釜地区環境組合が再編統合され組合規約を変更、共同処理する事務にし尿処理場及び火葬場の管理運営等に関する事務が追加、事務局に環境課(定数6名)を設置 ・職員定数条例の改正により定数232名となる。 ・職員17名(旧塩釜地区環境組合職員3名を含む)を採用し、実員223名(内女性6名)となる。 ・十二代消防長に並木明就任
	11 月 28 日	組合倉庫完成
	12 月 8 日	高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を購入し松島消防署に更新配置
平成27年	3 月 23 日	指揮隊車(トヨタレジアスエース2,693cc)を購入し消防本部に配置
	3 月 26 日	人員輸送車(日野エレッセⅡ4,000cc)を購入し消防本部に更新配置
	3 月 27 日	・搬送車(いすゞフォワード5,193cc)を購入し塩釜消防署に更新配置 ・CD-1型消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,000cc)を購入し塩釜消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員12名を採用し、実員228名(定員232名)となる。
	10 月 1 日	・「緊急消防援助隊として活動する人員の属する都道府県又は市町村に無償使用させる消防用の国有財産及び国有物品の取扱いに関する省令」に基づき無償貸与された津波・大規模風水害対策車(いすゞフォワード7,790cc)を塩釜消防署に配備
	12 月 17 日	高規格救急自動車(トヨタハイエース2,693cc)を購入し利府消防署に更新配置
平成28年	2 月 1 日	市町村振興総合補助事業により水Ⅱ型消防ポンプ自動車(日野レンジャー6,403cc)を塩釜消防署に更新配置

年 号	月 日	記 事
平成28年	3 月 25 日	指揮車(日産セレナ1,997cc)を購入し多賀城消防署に更新配置
	3 月 31 日	指令車(トヨタカムリハイブリット2,493cc)を購入し消防本部に更新配置
	4 月 1 日	職員10名を採用し、実員227名(定員232名)となる。
	4 月 17 日	宮城県林野火災防ぎょ訓練が宮城県総合運動公園(利府町)で開催。27機関300名が参加し、消防職員・消防団員の火災防ぎょ技術の向上を図った。併せて、組合主体で訓練に参加する航空機・車両の見学写真撮影会(来場者500名)を実施し、県民に広く防災思想の普及を図った。
	8 月 31 日	台風第10号被害により、初の緊急消防援助隊宮城県大隊の災害派遣として、岩手県岩泉町へ出動。主に岩泉町小本川流域の行方不明者救助活動を実施し、宮城県大隊として2名救出した。 派遣期間:8月31日～9月9日(10日間) 最大59名、延べ236名が出動
平成29年	2 月 8 日	高規格救急自動車(日産パレードック3,498cc)を購入し多賀城消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員6名を採用し、実員228名(定員232名)となる。
	7 月 ～8月	平成29年度全国高等学校総合体育大会(南東北インターハイ)・第41回全国高等学校総合文化祭(みやぎ総文2017)が開催され、特別警戒を実施
平成30年	8 月 23 日	第46回全国消防救助技術大会が宮城県総合運動公園(利府町)で開催
	2 月 1 日	高規格救急自動車(日産パレードック3,498cc)を購入し、塩釜消防署に更新配置
	3 月 1 日	35m級先端屈折式梯子自動車(日野自動車)を購入し、多賀城消防署に更新配置
	4 月 1 日	・職員6名を採用し、実員225名(定員232名)となる。 ・十三代消防長に柴正浩就任
平成31年	9 月 1 日	平成30年度宮城県総合防災訓練が七ヶ浜町で開催 70機関約2,000人が参加し、大規模災害対応能力の向上を図った。
	9 月 6 日	北海道胆振東部地震に伴い、緊急消防援助隊宮城県大隊の一員として北海道勇払郡厚真町へ後方支援小隊2隊(支援1、搬送1)が出動。主に宮城県大隊の後方支援活動を実施
	9 月 11 日	援活動を実施
	1 月 22 日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5,120cc)を購入し、七ヶ浜消防署に更新配置
	3 月 15 日	アステラス製薬株式会社より高規格救急自動車1台(トヨタハイメディック)の寄贈を受け、塩釜消防署に配置
令和元年	3 月 29 日	有限会社中央交通及び株式会社白寿殿より消防連絡車(トヨタクラウン)の寄贈を受け、消防本部に更新配置
	4 月 1 日	・職員6名を採用し、実員222名(定員232名)となる。 ・寄贈された高規格救急車を塩釜消防署に配置し、救急隊2隊体制で運用開始
	5 月 1 日	年号が「令和」と制定される。
	10 月 1 日	2020東京オリンピック・パラリンピックにおける警備業務の準備・運営のため、組織委員会からの要請に基づき、職員1名を派遣
	10 月 12 日	令和元年東日本台風の警戒活動を実施(救助15件42名救出、救急17件、調査17件)
令和2年	10 月 13 日	令和元年東日本台風に伴い、県広域消防応援隊の一員として、丸森町へ出動 延べ27隊69名が要救助者検索、住民の安否確認等の活動を実施
	10 月 25 日	
	3 月 11 日	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5,120cc)を購入し、利府消防署に更新配置
	4 月 1 日	職員8名を採用し、実員221名(定員232名)となる。
令和3年	4 月 30 日	岩沼市臨空工業団地物流倉庫火災に伴い、県広域消防応援隊の一員として、岩沼市プロジスパーク岩沼Ⅰへ出動
	5 月 4 日	延べ20隊42名が消火活動を実施
	3 月 22 日	水槽付き消防ポンプ自動車Ⅱ型(日野自動車5,120cc)を購入し、松島消防署に更新配置
	4 月 1 日	・これまでの多賀城消防署と西部出張所を統廃合し、多賀城市八幡字一本柳117番地の17に多賀城消防署を開設(指揮車、ポンプ車2台、はしご車、化学車、救助工作車、救急車2台等、計12台、職員42名) ・職員12名を採用し、実員225名(定員232名)となる。

年 号	月 日	記 事
令 和 3 年	6 月 20 日	東京2020オリンピック競技大会開催に係る聖火リレーが管内で開催。聖火リレー走者の安全確保(着衣火災・急病対応)のため消防特別警戒を実施
	7 月 21 日	東京2020オリンピック競技大会サッカー競技(男女10試合)が宮城スタジアム(利府町)で開催され、競技会場のテロ災害等大規模災害に対応するため、県内消防本部(局)が一体となり、警戒する「みやぎ方式」での消防特別警戒計画を策定。新型コロナウイルス感染症に係る対策を講じ、過去最大規模(延べ168隊1,041名)で警戒を実施
	7 月 31 日	塩釜地区りふ斎苑落成式
	7 月 30 日	塩釜地区りふ斎苑供用開始(火葬炉8炉(人体炉7炉、ペット炉1炉)告別収骨室4室、待合室7室、バグフィルターなど)
	8 月 1 日	
令 和 4 年	2 月 15 日	・高規格救急自動車(日産パラメディック2,480cc)を購入し七ヶ浜消防署に更新配置 ・泡消火薬剤の残留性有機汚染物質(PFOS)に係る国際条約及び法律改正等の環境問題に対応するため、これまで当組合で保有していた泡消火薬剤の処分と併せて新たな泡消火薬剤(合成界面活性剤総量:12,640ℓ)を更新。組合倉庫及び各署化学消防自動車へ配備
	4 月 1 日	・職員8名を採用し、実員220名(定員232名)となる。 ・十四代消防長に小野秀一就任
	10 月 6 日	第39回消火技術コンクールを実施し、地域住民の有事の際における通報、初期消火技術の習得に合わせて、地域ぐるみの防火防災組織の協力態勢の確立に役立てた。
令 和 5 年	1 月	令和4年の救急出場件数が当消防本部史上最多の10,080件を記録する。
	2 月 15 日	消防ポンプ自動車(日野デュトロ4,009cc)を購入し、松島消防署に更新配置
	3 月 31 日	・旧多賀城消防署解体工事完了に伴い、多賀城市に事業用地を返還する。 ・旧塩竈斎場解体工事完了に伴い、塩竈市に事業用地を返還する。
令 和 6 年	4 月 1 日	職員7名を採用し、実員223名(定員232名)となる。
	2 月 24 日	高規格救急自動車(日産パラメディック2,480cc)を購入し松島、利府消防署に更新配置
	4 月 1 日	・十五代消防長に星和彦就任 ・職員8名を採用し、実員226名(定員232名)となる。
令 和 7 年	11 月 8 日	消防艇「さくら」の後継船として、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合様から、消防救急艇「あさぎり」の譲渡を受け運用開始。(平成25年建造、全長13.98m、最大搭載人員12名)
	12 月 13 日	指揮車(スズキソリオ1,242cc)を購入し塩釜、松島消防署に更新配置。
	1 月 22 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック2,693cc)を購入し塩釜、多賀城消防署に更新配置
	2 月 26 日	岩手県大船渡市林野火災に伴い、緊急消防援助隊宮城県大隊の一員として職員派遣。主に消火、後方支援活動を実施。
	3 月 16 日	(期間延べ19日、部隊延べ19隊66名を派遣)
	4 月 1 日	・定数条例改正により、育児休業や派遣、初任総合教育中の職員は定数外として、取扱うこととした。 ・職員16名を採用し、実員230名(定員232名)となる。
	5月～10月	イベント時等における熱中症を中心した予防救急活動推進のため、「クールファイターズ冷却プロジェクト」を展開。
	6 月 1 日	消防広報を目的に公式SNSとしてX(旧Twitter)の運用を開始。
令 和 8 年	7 月 7 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車(日野プロフィア8,860cc)を購入し、松島消防署に更新配置。
	10 月 15 日	指揮車(スズキソリオ1,242cc)を購入し利府消防署に更新配置。
	12 月 1 日	特別救助隊が発足から50周年を迎える。記念してエンブレムを作成した。
	1 月	令和7年の救急出場件数が当消防本部史上最多の10,677件を記録する。
	3 月 5 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック2,693cc)を購入し塩釜消防署に更新配置。
	4 月 1 日	・十六代消防長に引地由夫就任 ・住民サービスの向上や、出場件数の平準化、職員の働く職域の拡大を目的に日勤救急隊(デイトタイム救急隊)の運用開始。 ・職員9名を採用し、実員234名(定員232名)となる。

塩釜地区消防事務組合組織図



本 部 庁 舎 ・ 消 防 署 等 位 置

区 分	所 在 地	構 造	敷地 m ²	建物 m ²	竣 工	
消防本部	〒985-0021 塩竈市尾島町17番22号	RC造 4階建	2,212.41	建	282.10	H23.3.29
				延	992.71	
塩釜消防署		RC造 2階建		建	518.00	S46.5.31
				延	911.60	
				増築	125.60	S63.11.25
多賀城消防署	〒985-0874 多賀城市八幡字一本柳117番地の17	鉄骨造 2階建	4,698.07	建	1,110.90	R3.2.19
				延	1,658.24	
松島消防署	〒981-0213 松島町松島字蛇ヶ崎右53番地	RC造2階 塔屋付	1,265.71	建	301.00	S50.3.25
				延	545.75	
七ヶ浜消防署	〒985-0821 七ヶ浜町汐見台七丁目5番322号	鉄骨造 2階建 一部平屋	1,020.00	建	300.91	S53.9.10
				延	441.80	
利府消防署	〒981-0112 利府町利府字堀切前11番1号	鉄骨造 2階建 塔屋付	2,176.16	建	369.00	S63.3.29
				延	546.62	
組合倉庫	塩竈市貞山通二丁目1番1号	鉄骨造 2階建	224.52	建	145.92	H26.11.28
				延	255.81	

管 内 情 勢

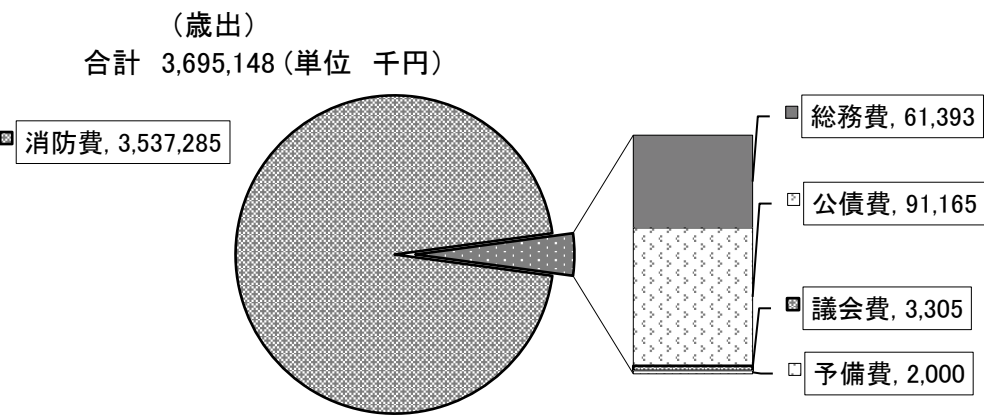
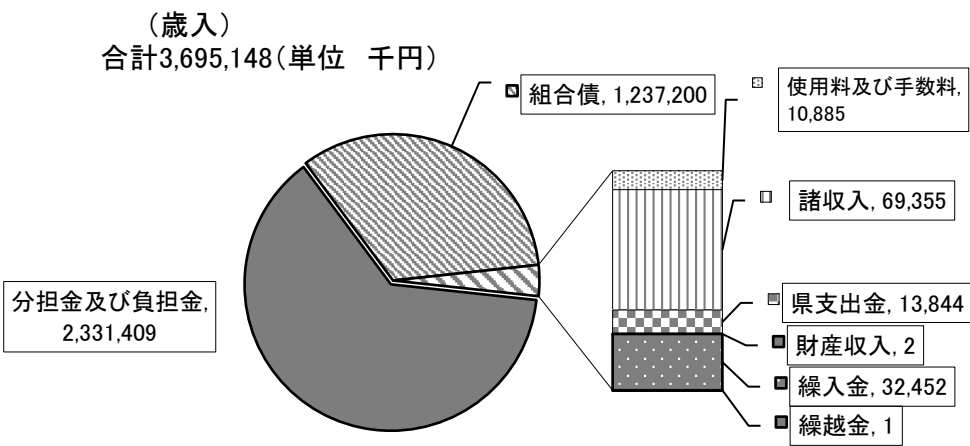
区 分		管内合計	消防本部	塩 釜消防署	多賀城消防署	松 島消防署	七ヶ浜消防署	利 府消防署
面 積 (km ²)		148.71	—	17.38	19.69	53.56	13.19	44.89
世 帯 数		80,554	—	24,445	28,649	5,749	6,989	14,722
人 口 (人)		177,852	—	51,018	60,964	12,677	17,297	35,896
消防職員数	消 防 吏 員	208	37	52	42	24	24	29
	他 職 員	4	4	—	—	—	—	—
消防吏員1人当り	面 積 (km ²)	0.72	—	0.34	0.47	2.24	0.55	1.55
	世 帯 数	388	—	471	683	240	292	508
	人 口 (人)	856	—	982	1,452	529	721	1,238
消防自動車等の数	消防ポンプ車 (水槽付・化学車含む。)	実動車 (台)	11	—	2	3	2	2
		予備車 (台)	2	2	—	—	—	—
	救 急 車 (台) ※予備車含む		9	2	2	2	1	1

※職員数は定数外(派遣者等)を除く。

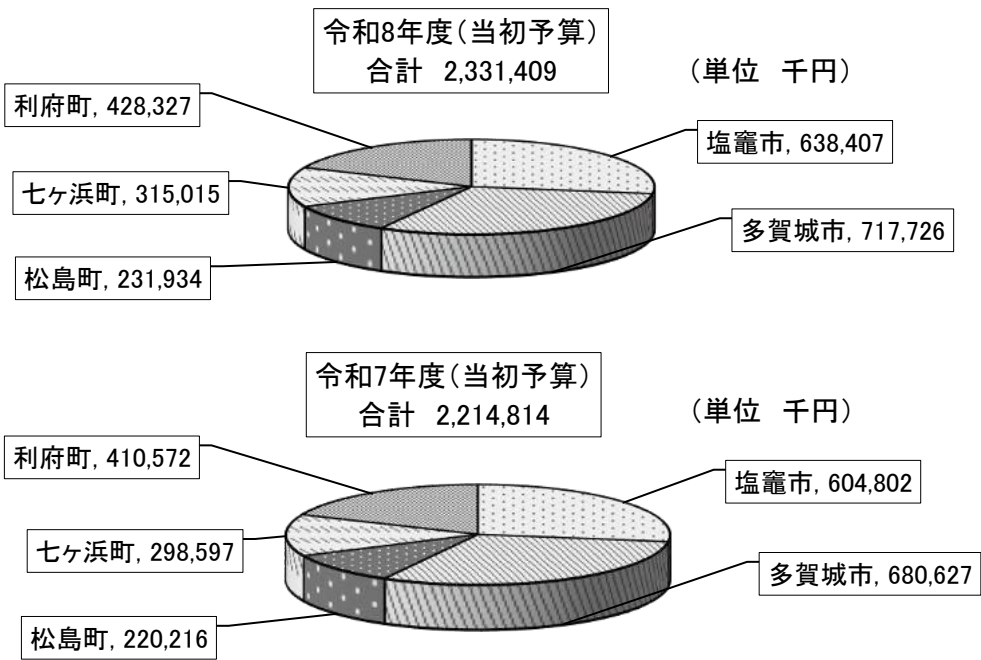
第 1 編 総 務



令和8年度塩釜地区消防事務組合一般会計予算(当初予算)



構成市町負担金状況



組合予算と職員数・人口・世帯数の推移

年 度	予算額 (千円)	消 防 職 員		管 内 人 口 ・ 世 帯 数			
		定 員	実 員	人 口	一人当たり (円)	世 帯 数	一 世 帯 当たり(円)
45	146,469	120	80	131,951	1,110	32,203	4,548
50	374,625	136	136	143,854	2,604	37,927	9,878
55	712,800	165	163	154,645	4,609	41,131	17,330
60	845,050	165	163	163,437	5,170	45,736	18,447
平元	1,050,839	165	163	168,158	6,249	49,754	21,121
5	1,413,800	185	179	181,019	7,810	55,542	25,454
10	2,083,000	220	208	190,590	10,929	61,645	33,790
15	2,004,396	227	219	192,229	10,427	65,234	30,726
20	2,043,161	227	225	191,824	10,651	68,770	29,710
25	2,051,700	227	216	188,964	10,858	71,330	28,763
30	2,121,439	232	225	186,310	11,387	75,481	28,106
令元	2,080,038	232	222	185,352	11,224	76,063	27,346
5	2,090,104	232	223	181,979	11,485	78,656	26,573
6	2,230,913	232	226	180,244	12,377	79,488	28,066
7	3,886,753	232	230	179,655	21,635	79,944	48,618
8	3,695,148	232	234	177,852	20,776	80,554	45,871

※実員に事務局職員等含む。

職 員 配 置 状 況

区 分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合 計	212 (9)	1	3	6	33	56 (2)	52 (2)	—	57 (3)	4 (2)
消 防 本 部	41 (3)	1	1	3	12	12 (1)	7	—	1	4 (2)
塩 釜 消 防 署	52 (4)	—	1	—	5	13	15 (1)	—	18 (3)	—
多 賀 城 消 防 署	42 (2)	—	1	—	5	12 (1)	12 (1)	—	12	—
松 島 消 防 署	24	—	—	1	3	6	6	—	8	—
七 ヶ 浜 消 防 署	24	—	—	1	3	6	6	—	8	—
利 府 消 防 署	29	—	—	1	5	7	6	—	10	—

()はうち女性職員

職 員 年 齢 状 況

区分	合計	消防正監	消防監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	他職員
合計	212	1	3	6	33	56	52	—	57	4
25歳未満	37	—	—	—	—	—	1	—	36	—
25～30 "	23	—	—	—	—	—	7	—	15	1
30～35 "	34	—	—	—	—	6	22	—	6	—
35～40 "	24	—	—	—	—	8	16	—	—	—
40～45 "	29	—	—	—	1	21	5	—	—	2
45～50 "	22	—	—	1	13	7	—	—	—	1
50～55 "	32	—	3	5	17	6	1	—	—	—
55歳以上	11	1	—	—	2	8	—	—	—	—

救 命 救 急 士 階 級 構 成 表

区分	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士
救急救命士	47	—	1	5	19	11	11

消 防 救 助 隊 の 編 成

区 分	特別救助隊	水難救助隊
合 計	35	13
隊 長	1	1
副隊長	1	1
隊 員	33	11

職 員 資 格 取 得 状 況

区 分	(実 員)	救急救命士	薬剂投与認定			ブドウ糖投与	大型自動車	中型自動車	準中型自動車	普通自動車	大型特殊車	大型2種	自動2輪	けん引	小型船舶1級	小型船舶2級	陸上特殊無線士	海上特殊無線士	予防技術資格者			危険物取扱者			消防設備士		小型クレーン	玉掛技能	ガス溶接	アーク溶接	酸欠主任者	潜水士	銃砲取扱者	アマチュア無線	毒劇物取扱者	電気工事士	衛生管理者
			気管挿管認定	薬剂投与認定	ブドウ糖投与														査察	設備	危険物	甲種	乙種	丙種	甲種	乙種											
合計	212	44	35	37	35	141	141	57	53	10	3	81	8	14	25	189	21	56	23	36	2	200	5	2	6	68	67	17	3	25	38	22	12	2	6	4	
司令長以上	10	1	1	1	1	7	10	0	0	0	0	4	1	2	1	7	2	0	2	1	0	9	1	0	0	4	4	2	0	6	2	0	2	0	0	2	
司令	33	5	5	5	5	30	33	0	0	3	3	17	3	6	3	25	8	6	3	6	1	33	1	1	3	22	22	11	1	13	7	0	6	1	1	2	
司令補	56	19	18	18	16	47	52	7	0	4	0	27	4	6	11	52	8	25	11	13	1	51	3	1	2	28	28	1	2	6	12	11	4	1	1	0	
士長	52	11	10	11	11	38	26	39	5	1	0	23	0	0	10	52	3	21	7	15	0	52	0	0	0	14	13	1	0	0	9	7	0	0	3	0	
消防士	57	8	1	2	2	19	17	11	47	2	0	10	0	0	0	53	0	4	0	1	0	55	0	0	1	0	0	2	0	0	8	4	0	0	1	0	
他職員	4	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

職 員 研 修 状 況

区 分			対象者等		日数	人数
消防学校	初任総合教育		新たに消防職員に任命された者		180	16
	専科教育	警防科	消防司令補又は消防士長の階級にあり、かつ警防業務に3年以上従事している者		10	1
		予防査察科	消防司令補又は消防士長の階級にあり、かつ予防査察業務に3年以上従事している者		10	1
		火災調査科	消防司令補又は消防士長の階級にあり、かつ火災調査業務に3年以上従事している者で、火災原因判定書の作成実績がある者		10	1
	幹部教育	中級幹部科	消防司令及び組織の管理を職務とする消防司令補の階級にある者		7	1
		上級幹部科	消防司令長以上の階級にある者		2	1
	特別教育	消防職員フォローアップ講習	消防士長から消防士の階級にある者		2	1
		救急救命士再教育講習	救急救命士の資格を有する者		4	2
		通信指令員教育講習	通信指令業務に従事する者		5	2
		救助隊員高度教育講習	消防司令補又は消防士長の階級にあり、かつ救助隊員として、6～10年間従事している者		5	2
消防大学校	緊急消防援助隊教育科	指揮隊長コース	緊急消防援助隊の指揮支援部隊長等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。		13	1

第2編 予 防



用途別建築同意処理状況

(R7. 12. 31)

区 分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	173	19	12	25	5	22	13	15	16	13	11	7	15
専 用 住 宅	38	8	6	6	2	1	3	1	5	2	2	1	1
観 覧 場 ・ 集 会 所 等	4	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-
キャバレー・遊技場	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
カラオケボックス	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
飲 食 店 等	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
店 舗	4	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-
旅 館 ・ ホ テ ル	5	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
共 同 住 宅	21	-	2	6	-	7	-	3	-	1	1	-	1
病 院 ・ 診 療 所	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-
福 祉 施 設 ・ 保 育 所	6	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	2	1
幼 稚 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学 校	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
図 書 館 ・ 博 物 館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公 衆 浴 場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駅 ・ 空 港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
工 場 ・ 作 業 所	8	3	-	1	-	-	1	2	-	1	-	-	-
車 庫 ・ 駐 車 場	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
倉 庫	8	1	-	-	1	2	1	-	1	1	-	1	-
事 務 所	26	2	1	2	1	3	2	2	3	2	5	-	3
複 合 建 築 物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
危 険 物 関 係	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工 作 物 ・ そ の 他	39	3	1	7	1	4	4	3	5	4	1	1	5

※ 専用住宅には一戸建ての木造住宅は含まない。ただし、塩竈市内の準防火地域内の一戸建て木造住宅については含む。

市町別建築同意処理状況

(R7. 12. 31)

年	合計	塩竈市	多賀城市	松島町	七ヶ浜町	利府町
H28年	328	102	113	28	29	56
H29年	282	89	90	20	27	56
H30年	267	92	75	16	16	68
H31年	237	64	72	29	18	54
R2年	257	58	118	17	18	46
R3年	268	89	66	26	14	73
R4年	194	65	61	10	18	40
R5年	178	57	44	16	8	53
R6年	159	53	48	19	15	24
R7年	173	50	59	17	6	41

防火対象物数

(R8. 3. 31)

区 分		合 計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七ヶ浜町	利 府 町
合 計		3,887	1,129	1,469	316	303	670
1	イ劇場・映画館・演芸場・観覧場	14	1	2	1	3	7
	ロ公会堂・集会場	74	10	14	20	18	12
2	イキャバレー・ナイトクラブ	3	2	1	-	-	-
	ロ遊技場・ダンスホール	11	3	4	1	-	3
	ハ性風俗関連特殊営業店舗	1	-	1	-	-	-
	ニカラオケボックス等	4	-	3	1	-	-
3	イ待合・料理店	6	3	1	-	-	2
	ロ飲食店	97	20	34	21	5	17
4	百貨店・マーケット・店舗	238	68	86	17	11	56
5	イ旅館・ホテル・宿泊所	63	6	14	22	7	14
	ロ寄宿舍・共同住宅・下宿	1,218	275	669	45	66	163
6	イ病院・診療所・助産所	98	33	33	5	6	21
	ロ老人福祉施設・救護施設等	65	24	22	7	4	8
	ハディサービスセンター・保育所等	144	41	53	11	11	28
	ニ幼稚園・特別支援学校等	21	6	7	2	2	4
7	小学校・中学校・高等学校等	133	26	60	11	14	22
8	図書館・美術館・博物館	11	1	3	4	2	1
9	イ蒸気浴場・熱気浴場等	3	-	2	1	-	-
	ロイに掲げる公衆浴場以外	-	-	-	-	-	-
10	車両の停車場・船舶等の発着場	4	1	2	1	-	-
11	神社・教会・寺院等	60	18	14	9	6	13
12	イ工場・作業場	425	160	118	18	27	102
	ロテレビスタジオ・映画スタジオ	-	-	-	-	-	-
13	イ自動車車庫・駐車場	20	3	11	1	-	5
	ロ飛行機等の格納庫	-	-	-	-	-	-
14	倉庫	224	106	48	14	23	33
15	前各号に該当しない事業所	538	154	143	61	72	108
16	イ複合用途（特定）	286	110	91	35	21	29
	ロ複合用途（その他）	117	54	33	3	5	22
17	文化財	9	4		5	-	-

※対象物数については、棟単位の数

(R8. 3. 31)

(R8. 3. 31)

予
防

[移動タンク貯蔵所の転出を含む]

(R8. 3. 31)

– 30 –

第四類危険物の貯蔵取扱許可数量 (単位kℓ)

(R8. 3. 31)

品名別 製造所等別		計	第 1 石 油 類	第 2 石 油 類	第 3 石 油 類	第 4 石 油 類	動植物 油 類	アルコ ール類
製 造 所		7,145.39	6,472.36	8.62	649.89	14.52	—	—
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2,278.41	337.42	270.16	602.44	741.06	1.41	325.92
	屋外タンク貯蔵所	609,060.41	495,545.50	71,569.50	39,092.81	100.10	—	2,752.50
	屋内タンク貯蔵所	191.85	—	41.65	126.30	—	20.00	3.90
	地下タンク貯蔵所	1,346.95	28.60	706.95	585.30	25.90	—	0.20
	簡易タンク貯蔵所	10.54	0.57	6.47	3.50	—	—	—
	移動タンク貯蔵所	16,467.06	6,507.75	7,162.76	2,558.95	—	—	237.60
	屋 外 貯 蔵 所	2,141.49	1.35	237.92	849.70	1,052.52	—	—
	計	631,496.71	502,421.19	79,995.41	43,819.00	1,919.58	21.41	3,320.12
取 扱 所	給 油 取 扱 所	3,185.75	1,409.25	1,703.50	70.40	2.60	—	—
	販 売 取 扱 所	11.80	—	11.80	—	—	—	—
	移 送 取 扱 所	74,121.15	21,504.00	34,659.59	16,607.56	—	—	1,350.00
	一 般 取 扱 所	109,183.67	36,686.86	57,408.66	13,197.91	1,582.73	23.00	284.51
	計	186,502.37	59,600.11	93,783.55	29,875.87	1,585.33	23.00	1,634.51
合 計		825,144.47	568,493.66	173,787.58	74,344.76	3,519.43	44.41	4,954.63

第四類以外危険物の貯蔵取扱許可数量 (単位kg)

(R8. 3. 31)

品名別 製造所等別		計	第 1 類	第 2 類	第 3 類	第 5 類	第 6 類
製 造 所		—	—	—	—	—	—
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	25,010	—	20,010	—	5,000	—
	屋外タンク貯蔵所	14,750	—	14,750	—	—	—
	屋内タンク貯蔵所	—	—	—	—	—	—
	地下タンク貯蔵所	—	—	—	—	—	—
	簡易タンク貯蔵所	—	—	—	—	—	—
	移動タンク貯蔵所	10,800	—	10,800	—	—	—
	屋 外 貯 蔵 所	5	—	5	—	—	—
	計	50,565	—	45,565	—	5,000	—
取 扱 所	給 油 取 扱 所	—	—	—	—	—	—
	販 売 取 扱 所	—	—	—	—	—	—
	移 送 取 扱 所	—	—	—	—	—	—
	一 般 取 扱 所	2,710	—	2,710	—	—	—
	計	2,710	—	2,710	—	—	—
合 計		53,276	—	48,275	—	5,000	—

市町別危険物施設の許可及び検査状況

(R8. 3. 31)

市町別	製造所等 区分	合計	製造所	貯蔵所								取扱所				
				小計	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	小計	給油	販売	移送	一般
塩竈市	設置許可	2	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	2	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
	変更許可	30	-	22	-	20	-	1	-	1	-	8	3	-	2	3
	変更完成検査	23	-	17	-	15	-	1	-	1	-	6	1	-	2	3
	仮使用承認	11	-	4	-	4	-	-	-	-	-	7	2	-	2	3
多賀城市	設置許可	10	-	10	-	-	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	9	-	9	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
	変更許可	15	-	4	-	1	-	1	-	2	-	11	3	-	-	8
	変更完成検査	16	-	5	-	2	-	1	-	2	-	11	3	-	-	8
	仮使用承認	11	-	1	-	-	-	1	-	-	-	10	2	-	-	8
松島町	設置許可	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	変更許可	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	変更完成検査	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	仮使用承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
七ヶ浜町	設置許可	4	-	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
	設置完成検査	5	-	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
	変更許可	14	4	7	-	5	-	-	-	2	-	3	1	-	-	2
	変更完成検査	12	4	5	-	3	-	-	-	2	-	3	1	-	-	2
	仮使用承認	9	4	2	-	2	-	-	-	-	-	3	1	-	-	2
利府町	設置許可	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	設置完成検査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	変更許可	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	2
	変更完成検査	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	2
	仮使用承認	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	1
合計	設置許可	18	-	17	-	1	-	1	-	15	-	1	1	-	-	-
	設置完成検査	17	-	17	-	1	-	1	-	15	-	-	-	-	-	-
	変更許可	63	4	34	-	26	-	3	-	5	-	25	8	-	2	15
	変更完成検査	55	4	28	-	20	-	3	-	5	-	23	6	-	2	15
	仮使用承認	33	4	7	-	6	-	1	-	-	-	22	6	-	2	14

石油コンビナート等特別防災区域概要

1 特定事業所の現況

(1) 塩釜地区 面積 206,583㎡ (R8.3.31)

特 定 事 業 所 名	種 別	市 町
カ メ イ 物 流 サ ー ビ ス (株)	第1種 (レイアウト)	塩竈市
東 西 オ イ ル タ ー ミ ナ ル (株) 塩 釜 油 槽 所	第 1 種	
出 光 興 産 (株) 貞 山 塩 釜 油 槽 所	第 1 種	
E N E O S (株) 塩 釜 油 槽 所	第 1 種	
出 光 興 産 (株) 塩 釜 油 槽 所	第 1 種	

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所	9 9 基
・ 特定屋外タンク貯蔵所 (1,000kℓ以上)	(4 1 基)
	内訳
	新法タンク 6 基
	新基準タンク 3 2 基
	旧基準タンク 3 基
・ 準特定屋外タンク貯蔵所 (500kℓ以上)	(4 1 基)
	内訳
	新法タンク 2 基
	新基準タンク 3 5 基
	旧基準タンク 4 基
・ その他の屋外タンク貯蔵所	(1 7 基)

高圧ガスタンク 8 基

○石油類等の貯蔵・取扱量

石 油 類 の 貯 蔵 ・ 取 扱 量	2 8 0, 7 5 0. 7 5 kℓ
石 油 類 の 貯 蔵 量	1 5 2, 3 3 3. 7 4 kℓ
石 油 類 の 取 扱 量	1 2 8, 4 1 7. 0 1 kℓ
高 圧 ガ ス の 処 理 量	9 9 3, 2 6 5 N m ³

○共同防災組織概要

防災要員	常 駐	9 名 (防災センター)
	駆け付け要員	1 0 名 (事業所駆け付け)
	計	1 9 名

○防災資機材等

甲種普通化学消防車	1 台
普通高所放水車	1 台
泡消火薬剤	7, 5 6 0 リットル
可搬式放水砲	2, 0 0 0 リットル/min 1 基
オイルフェンス	B 型 5 4 0 m
オイルフェンス展張船	1 隻
耐熱服	2 着
空気呼吸器	2 基

○災害防止協定等

塩釜石油基地災害防止に関する協定書（昭和48年12月）
 消防道路の設置（幅員 8m 延長 400m）
 災害相互応援協定の締結（平成8年3月27日）
 [仙台地区及び塩釜地区の共同防災組織相互の応援]

○緩衝緑地の設置（石災法に基づく）

一本松地区（昭和53年から57年に実施） 70, 166 m²
 中の島地区（休憩緑地） 22, 600 m²

（2） 仙台地区（一部） (R8.3.31)

特 定 事 業 所 名	種 別	市 町
東 邦 ア セ チ レ ン (株) 多 賀 城 工 場	第 2 種	多 賀 城 市
E N E O S (株) 仙 台 製 油 所	第1種（レイアウト）	仙 台 市 多 賀 城 市 七 ヶ 浜 町

○危険物施設概要

屋外タンク貯蔵所 15基

- ・特定屋外タンク貯蔵所（1,000kℓ以上） (9基)
- ・準特定屋外タンク貯蔵所（500kℓ以上） (0基)
- ・その他の屋外タンク貯蔵所 (6基)

○石油類等の貯蔵・取扱量

石油類の貯蔵・取扱総数量 553, 588. 771 kℓ
 製造所における数量 7, 120. 591 kℓ
 貯蔵所における数量 472, 959. 700 kℓ
 取扱所における数量 73, 508. 480 kℓ

高圧ガスの処理量 47, 368, 888. 0 Nm³

○仙台地区共同防災運営協議会

防災要員 常 駐 17名

防災資機材等

大型化学高所放水車 2台
 泡原液搬送車 2台
 甲種普通化学消防車 1台
 泡消火薬剤 298, 809リットル
 可搬式泡放水砲 2, 000リットル／分 1基
 大型放水砲 3, 000リットル／分 2基
 耐熱服 3着
 空気呼吸器又は酸素呼吸器 3個
 オイルフェンス 1, 080m
 オイルフェンス展張船 1隻
 油回収装置 1基

第3編 警 防



消 防 水 利 現 況

市 町 別 水利区別			合 計	塩 竈 市	多 賀 城 市	松 島 町	七 ヶ 浜 町	利 府 町
消 火 栓	合 計		2,800	1,052	674	275	393	406
	公 設	7 5 mm	238	18	62	27	49	82
		1 0 0 mm	1,039	424	302	108	74	131
		125～150mm	944	382	175	48	221	118
		2 0 0 mm	210	62	53	18	29	48
		2 5 0 mm	112	68	27	8	1	8
		300mm以上	193	93	55	24	5	16
	私 設		64	5	—	42	14	3
防 火 水 槽	合 計		666	124	182	84	116	160
	公 設	4 0 m ³ 未満	23	11	2	2	8	—
		4 0 m ³ 以上	537	103	154	52	102	126
		8 0 m ³ 以上	8	—	2	2	4	—
	私 設		98	10	24	28	2	34
そ の 他	合 計		157	17	13	69	32	26
	池 ・ 海水		111	4	1	64	28	14
	プ ー ル		46	13	12	5	4	12

消 火 薬 剤 保 有 状 況

区 分	品 名	高分子ゲル生成型フッ素 界面活性剤 (メガフォームAGF3T) (メガフォームAGF-T)	水 成 膜 (メガフォームF623T) (メガフォームF633T)等	たん白 (たん白泡原液) (フロロプロテインアルコフォーム)
合 計		12,640 ㍓	—	—
塩 釜 消 防 署		240㍓ (3T 200㍓ T 40㍓)	—	—
多 賀 城 消 防 署		1,910㍓ (3T)	—	—
松 島 消 防 署		160㍓ (3T)	—	—
七 ヶ 浜 消 防 署		660㍓ (3T 500㍓ T 160㍓)	—	—
利 府 消 防 署		660㍓ (3T 500㍓ T 160㍓)	—	—
組 合 倉 庫		9,000㍓ (3T)	—	—
消 防 本 部		10㍓ (3T)	—	—

消防車両等の現況（その1）

区分	車両名称	シャシ	年式	馬力	使用 年月	水槽 容量 m ³	薬液 容量 m ³	無線名称	ポンプ 規格	機装 会社
消防本部	指令 1	トヨタ	H28	205	10	—	—	塩消指令 1	—	特機
	本連 1	トヨタ	H25	178	12.6	—	—	—	—	—
	指揮隊 1	トヨタ	H27	160	11.1	—	—	塩釜指揮隊 1	—	アオキ
	警防指揮 1	トヨタ	H15	269	22.4	—	—	塩消警防指揮 1	—	トヨタ
	搬送 1	トヨタ	H20	136	17.1	—	—	塩消搬送 1	—	トヨタ
	予備 1	三菱	H14	225	24.1	1.5	—	塩消予備 1	A-1	日機
	予備 2	日野	H18	150	19.4	—	—	—	A-2	日機
	救急 7	トヨタ	H25	151	13.1	—	—	救急 7	—	トヨタ
	予備救急 2	トヨタ	H26	160	11.4	—	—	予備救急 2	—	トヨタ
	総務連絡車	スズキ	R3	49	5	—	—	—	—	—
	予防連絡車	日産	R3	136	5	—	—	—	—	—
塩釜消防署	塩釜 1	日野	H28	220	10.3	2.0	—	塩釜 1	A-2	日機
	塩釜 2	日野	H27	130	11.1	—	—	塩釜 2	A-2	日機
	水槽 1	日野	H23	380	15.1	10.0	—	塩釜水槽 1	B-2	日機
	高所 1	日野	H21	320	17.1	—	—	塩釜高所 1	A-1	モリタ
	救急 1	トヨタ	R7	269	1.2	—	—	塩釜救急 1	—	トヨタ
	救急 6	トヨタ	R8	151	0.1	—	—	塩消救急 6	—	トヨタ
	指揮 1	スズキ	R6	124	1.4	—	—	塩釜指揮 1	—	アオキ
	搬送 2	いすゞ	H27	210	11.2	—	—	塩釜搬送 2	—	いすゞ
	塩釜連絡車	スズキ	R3	49	5	—	—	—	—	—
多賀城消防署	消防救急艇	—	H25	449	13.1	—	—	塩釜艇 1	—	棚吉田造船
	多賀城 1	日野	H26	220	12	2.0	—	多賀城 1	A-2	日機
	多賀城 2	日野	H24	150	14.1	—	—	多賀城 2	A-2	G M
	救助 1	日野	H24	220	14.1	—	—	多賀城救助 1	—	モリタ
	救助 2	いすゞ	H21	110	17.1	—	—	—	—	サクラ
	化学 1	日野	H16	390	22.1	2.0	1.8	多賀城化学 1	A-1	日機
	梯子 1	日野	H30	380	8.3	—	—	多賀城梯子 1	—	モリタ
	救急 2	トヨタ	R7	151	1.2	—	—	多賀城救急 2	—	トヨタ
	指揮 2	日産	H28	147	10.1	—	—	多賀城指揮 2	—	日産
	津波・大規模 風水害対策車	いすゞ	H27	260	10.7	—	—	塩釜災対 1	—	赤尾
	輸送 1	日野	H27	150	11.1	—	—	塩釜輸送 1	—	日野
多賀城消防署	消防訓練・通報車	マツダ	H18	100	19.8	—	—	—	—	マツダ
	予備救急 1	トヨタ	H31	151	7	—	—	予備救急 1	—	トヨタ

消 防 車 両 等 の 現 況（その2）

区 分	車両名称	シャシ	年 式	馬 力	使 用 年 月	水槽 容量 m ³	薬液 容量 m ³	無 線 名 称	ポンプ 規 格	艀 装 会 社
松島消防署	松 島 1	日 野	R 3	240	5	2. 0	—	松 島 1	A-2	日 機
	松 島 2	日 野	R 5	150	3. 2	—	—	松 島 2	A-2	モリタ
	梯 子 2	日 野	R 7	380	0. 9	—	—	松 島 梯 子 2	A-2	モリタ
	救 急 3	日 産	R 6	147	2. 1	—	—	松 島 救 急 3	—	日 産
	指 揮 3	スズキ	R 6	124	1. 4	—	—	松 島 指 揮 3	—	アオキ
七ヶ浜消防署	化 学 2	日 野	H 3 0	240	7. 4	1. 5	0. 5	七ヶ浜化学 2	A-1	日 機
	七ヶ浜 2	日 野	H 2 4	150	14	—	—	七ヶ浜 2	A-2	G M
	救 急 4	日 産	R 4	172	4. 2	—	—	七ヶ浜救急 4	—	日 産
	指 揮 4	マツダ	H 2 3	144	15. 3	—	—	七ヶ浜指揮 4	—	マツダ
利府消防署	化 学 3	日 野	R 2	240	6. 2	1. 5	0. 5	利府化学 3	A-2	モリタ
	利 府 2	日 野	H 2 2	150	16. 1	—	—	利 府 2	A-2	モリタ
	救 急 5	日 産	R 6	147	2. 1	—	—	利府救急 5	—	日 産
	指 揮 5	スズキ	R 7	124	0. 6	—	—	利府指揮 5	—	アオキ
	塩釜支援 1	日 野	H 2 3	360	15. 1	—	—	塩消支援 1	—	ヨコハマ モーター

消 防 車 両 等 配 置 状 況

署 別	合 計	普通 ポンプ車	水槽付 ポンプ車	化学 消防自動車	大型 水槽車	大型 高所放水車	3 5 m 級梯子車	2 0 m 級梯子車	救助 工作車（炎 対車含む。）	高規格 救急車	指令車・ 指揮車	消防連絡 車	消防救急 艇	搬 送 車	人員輸 送車	支 援 車	消火通 報訓練指導車	予備 ポンプ車	予備高 規格救急車	非常 用救急車
合 計	47	5	3	3	1	1	1	1	3	6	8	4	1	2	1	1	1	2	1	2
消 防 本 部	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	—	1	—	—	—	2	1	1
塩 釜 消 防 署	10	1	1	—	1	1	—	—	—	2	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
多 賀 城 消 防 署	12	1	1	1	—	—	1	—	3	1	1	—	—	—	1	—	1	—	—	1
松 島 消 防 署	5	1	1	—	—	—	—	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
七ヶ浜消防署	4	1	—	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
利 府 消 防 署	5	1	—	1	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—

消防資機材保有状況（その1）

署 別 資 機 材 名		保有数	塩 釜 消防署	多賀城 消防署	松 島 消防署	七ヶ浜 消防署	利 府 消防署	予 備
消防活動用器具	消防用ホース65mm（高圧含む。）	349	92	88	72	52	45	—
	消防用ホース50mm	369	74	94	72	69	60	—
	消防用ホース40mm	70	16	19	14	11	10	—
	無 反 動 管 鎗	34	4	10	6	6	6	2
	プ ロ ジ ェ ッ ト ガ ン	10	1	2	2	2	2	1
	放 水 銃（可搬式含む。）	4	—	1	—	1	1	1
	泡 管 鎗	18	2	5	5	1	5	—
	ピ ッ ク ア ッ プ ノ ズ ル	6	—	1	2	—	1	2
	ガ ン タイ プ ノ ズ ル	26	5	7	6	4	4	—
	ラインプロパーショナー	9	2	2	2	1	1	1
	小 型 動 力 ポ ン プ	7	1	2	1	1	1	1
一般救助用器具	空 気 式 救 助 マ ッ ト	1	—	1	—	—	—	—
	救 命 索 発 射 銃	1	—	1	—	—	—	—
重量物排除用器具	可 搬 ウ ィ ン チ	6	1	2	1	1	1	—
	マット型空気ジャッキ式	2	—	2	—	—	—	—
	ラ ム シ リ ン ダ ー	2	—	2	—	—	—	—
	マ ン ホ ール 救 助 器 具	1	—	1	—	—	—	—
	ス プ レ ッ ダ ー	10	2	5	2	1	—	—
	油 圧 式 救 助 器 具	5	1	2	—	—	2	—
切断用器具	油 圧 カ ッ タ ー	2	—	1	—	—	—	1
	エ ア ツ ー ル	1	—	1	—	—	—	—
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	6	1	1	2	1	1	—
	チ ェ ン ソ ー	10	1	3	2	1	2	1
	ペ ダ ル カ ッ タ ー	1	—	1	—	—	—	—
	ガ ス 溶 断 器	1	—	1	—	—	—	—
	エ ア ー ソ ー	1	—	1	—	—	—	—
破壊用器具	削 岩 機	2	1	1	—	—	—	—
	携 帯 用 コ ン ク リ ー ト 破 壊 器 具	7	1	3	1	1	1	—

消防資機材保有状況（その2）

署 別 資 機 材 名		保有数	塩 釜 消防署	多賀城 消防署	松 島 消防署	七ヶ浜 消防署	利 府 消防署	予 備
呼吸保護器具	空 気 呼 吸 器	66	12	21	12	8	8	5
	軽 量 ボ ン ベ	167	36	52	33	22	24	－
	ア ク ア ラ ン グ ボ ン ベ	10	－	10	－	－	－	－
	送 排 風 機	1	－	1	－	－	－	－
検知・測定用器具	ガ ス 検 知 器	11	2	3	2	2	2	－
隊員保護用器具	耐 熱 服	17	6	8	－	－	－	3
	耐 電 衣	9	2	5	2	－	－	－
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	15	－	15	－	－	－	－
水難救助用資機材	組 立 式 救 命 ボ ー ト	5	1	2	1	－	－	1
	救 命 ゴ ム ボ ー ト	12	3	4	2	1	1	1
検索用器具	災 害 救 助 用 ス コ ー プ	5	1	1	1	1	1	－
高度救助用器具	画 像 探 索 機	1	－	1	－	－	－	－
	熱 画 像 直 視 装 置	3	1	1	1	－	－	－
山岳救助用器具	編 み 構 造 ロ ー プ 用 資 機 材 一 式	1	－	1	－	－	－	－
その他の救助用器具	携 帯 用 発 電 機	14	4	4	3	1	1	1
その他消防資機材	コ ン プ レ ッ サ ー	4	1	1	1	1	－	－
	バ ッ テ リ ー 充 電 機	5	1	1	1	1	1	－
	給 水 タ ン ク	2	－	－	1	1	－	－
	林 野 火 災 用 資 機 材	1	－	－	－	－	1	－
			(小型可搬ポンプ・ホース・水槽5 t・5 0 0ℓ 各1)					
	エ ア テ ン ト 一 式	4	〔4 m×4 m 3基 4 m×6 m 1基〕					
	発 電 機 ・ 投 光 器 一 式	1	※ 緊急消防援助隊関係 消防本部保管					
	簡 易 ベ ッ ド ・ 椅 子	一式	椅子2 8 ベッド3 7					
	簡 易 テ ン ト (タ ー プ)	1						

救 急 資 器 材 保 有 状 況

署 別 資 器 材 名	保有数	塩 釜 消防署	多賀城 消防署	松 島 消防署	七ヶ浜 消防署	利 府 消防署	予 備
加 湿 酸 素 吸 入 装 置	9	2	2	1	1	1	2
酸素ボンベ (10L)	51	16	10	7	7	8	3
酸素ボンベ (4L)	7	3	—	—	—	—	4
酸素ボンベ (2L)	44	16	9	5	6	6	2
ス ト レ ッ チ ャ ー	11	2	2	1	1	1	4
スクープストレッチャー	12	2	2	1	1	1	5
電 動 吸 引 器	18	4	4	2	2	2	4
患 者 監 視 モ ニ タ ー	11	2	2	1	1	1	4
静 脈 可 視 化 装 置	1	1	—	—	—	—	—
減 圧 固 定 具	8	2	1	1	1	1	2
自 動 式 人 工 呼 吸 器	9	2	2	1	1	1	2
手 動 式 人 工 呼 吸 器	10	3	2	1	1	1	2
タ ー ポ リ ン 担 架	10	2	3	1	1	1	2
喉 頭 鏡	17	3	3	2	2	2	5
ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡	7	2	1	1	1	1	1
スペースライザー消毒器	2	1	—	1	—	—	—
オ ズ ン 発 生 器	8	2	1	1	1	2	1
自動心臓マッサージシステム	10	2	2	1	1	1	3
半 自 動 式 除 細 動 器	9	2	2	1	1	1	2
血中酸素飽和度測定器(携帯用)	10	2	3	1	1	1	2
バ ッ ク ボ ー ド	13	2	3	2	2	2	2
A E D (自動体外式除細動器)	5	1	1	1	1	1	—
陰圧式ポータブルアイソレータ	1	—	—	—	—	—	1

組合管内各市町消防団現況

消防団別 区 分	分 団 数	団 員 数		
		定 員	実 員	欠 員
合 計	3 5 分団 1 救護本部	1, 046	687	359
塩 竈 市 塩 竈 消 防 団	4 分団 1 救護本部	165	74	91
塩 竈 市 浦 戸 消 防 団	2 分 団	80	41	39
多 賀 城 市 消 防 団	8 分 団	200	141	59
松 島 町 消 防 団	6 分 団	250	180	70
七 ヶ 浜 町 消 防 団	1 0 分 団	220	169	51
利 府 町 消 防 団	5 分 団	131	82	49

組合管内各市町消防団機械器具現況

消防団別 資機材別	普通ポンプ車			
	普通ポンプ車	可搬小型動力 消防ポンプ	積載車 (車両のみ)	ホース (本)
合 計	15	32	36	1, 584
塩 竈 市 塩 竈 消 防 団	2	8	2	197
塩 竈 市 浦 戸 消 防 団	—	8	4	188
多 賀 城 市 消 防 団	6	—	2	296
松 島 町 消 防 団	1	8	15	351
七 ヶ 浜 町 消 防 団	6	—	5	263
利 府 町 消 防 団	—	8	8	289

第4編 指 令



通信施設配置状況

R8.4.1現在

区 分		合 計	消防本部	塩釜消防署	塩竈市役所	多賀城消防署	多賀城市役所	松島消防署	松島町役場	七 浜消防署	七 浜町役場	利府消防署	利府町役場	仙台市消防局	防災関係機関
指 令 装 置		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
119番専用回線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指令端末装置直通回線		5	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-
警察直通電話回線		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
防災機関等直通電話回線		14	-	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	1	8
特別加入電話回線		5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緊急連絡用電話回線		5	-	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-
電話関係	固定加入電話	51	21	6	-	6	-	6	-	6	-	6	-	-	-
	内線回線	70	26	13	1	6	1	6	1	6	1	6	1	1	1
	ファクシミリ	11	6	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-
	携帯電話	21	9	3	-	3	-	2	-	2	-	2	-	-	-
無線関係	固定局	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	基地局	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	移動局	(車載型)	38	9	9	-	7	-	5	-	4	-	4	-	-
		(可搬型)	7	2	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-	-
		(卓上型)	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		(携帯型)	29	6	5	-	6	-	4	-	4	-	4	-	-
	署活系	51	10	10	-	10	-	7	-	7	-	7	-	-	-
受 令 機		4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

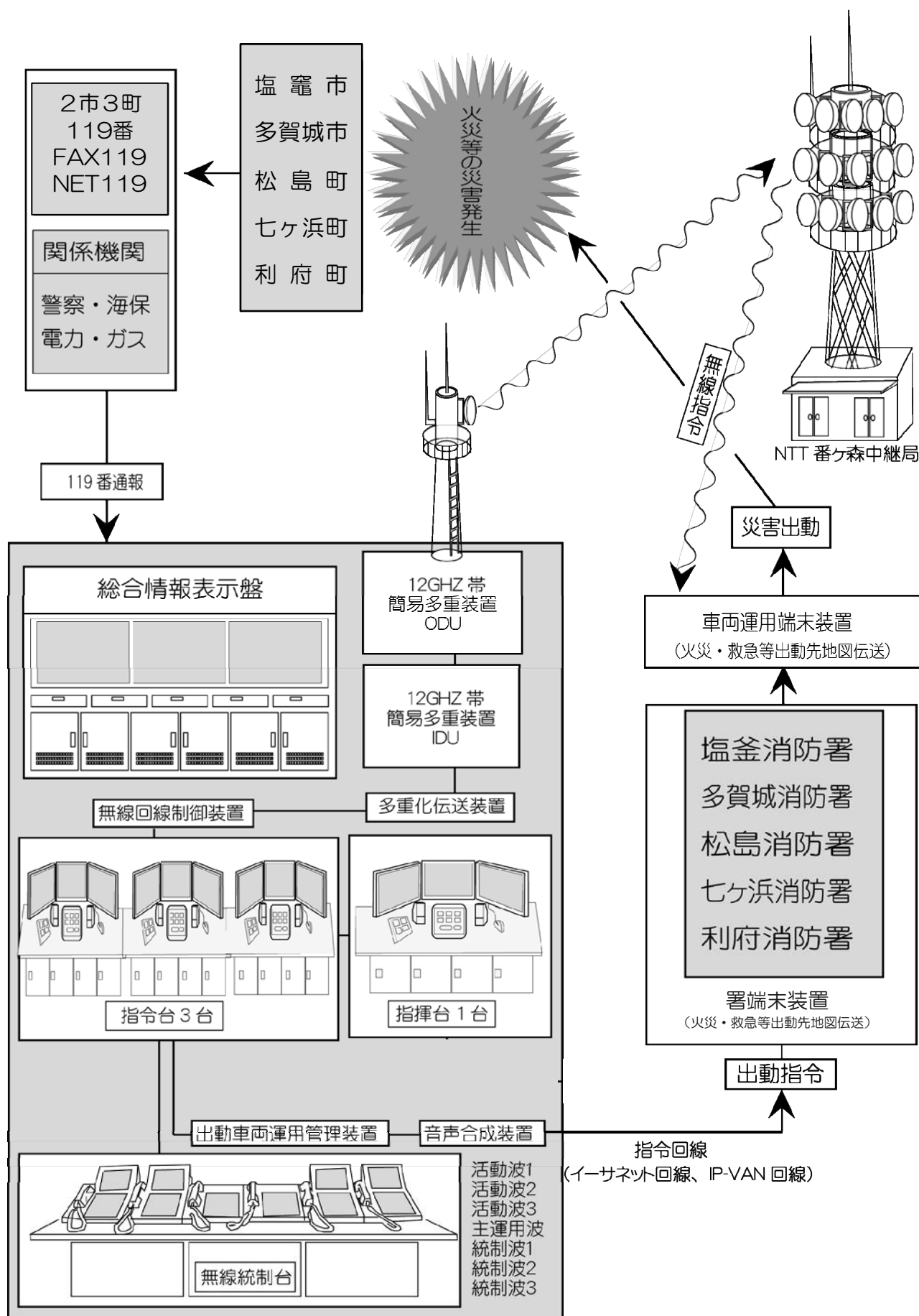
無線通信施設（アナログ無線）

	基 数	防災相互通信波	署活系第1波	署活系第2波	署活系第3波	備 考
基地・固定局(10w)	1	1	-	-	-	指令課「しおしょうほんぶ」
移動局10w	1	1	-	-	-	支援1
携帯5w、1w	7	7	-	-	-	塩釜1001～1005、災対1、2
署活系1w	51	-	51	51	2	緊援隊用17波実装 2基

無線通信施設（デジタル無線等）

	基 数	活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	備 考
基地・多重無線固定局	3	3	3	3	3	3	3	3	
移動局	(車載型)	38	38	38	38	38	38	38	
	(可搬型)	7	7	7	7	7	7	7	
	(卓上型)	3	3	3	3	3	3	3	
	(携帯型)	29	29	29	29	29	29	29	
電 波 型 式	基地局:5K80G1D、多重無線固定局:2M50G7W								
空 中 線 電 力	基地局:10w、多重無線固定局:300mw								

消防緊急通信指令システム図



指令

通信指令装置の機能概要

装置の名称	装置の機能
指令装置	塩釜地区二市三町からの火災、救急、その他各種災害の119番通報を受付する指令台及び指令業務、無線交信等を効率よく行うため、統合型位置情報通知装置、自動出動指定装置、地図等検索装置、表示盤、デジタル無線設備等の各通信機器、情報機器と連携させ、最新のVOIP化技術によりフルデジタル化で構成されています。
自動出動指定装置	システムの自動化機能を制御し、各種検索、災害地点及び災害種別の決定により、出動隊の自動編成、出動指令、表示盤制御、進行事案の管理を行います。
地図等検索装置	自動出動指定装置と接続され、災害地点の地図等を表示するほか、単独での検索も可能で、地図上からの逆検索により災害地点を自動出動指定装置へ逆転送し、災害地点の確定と自動隊編成を行えるものです。
表示盤	60インチLCD3画面にて、消防、救急受付業務に必要な気象観測情報、気象通報及び車両運用状況、監視カメラ映像等を表示します。
音声合成装置	自動出動指定装置と連動し、災害通報の覚知情報をもとに災害種別、災害地点、出動車両等の情報を自動的に編集し自動出動指定装置から指令等が音声合成により出力します。
指令電送装置	出動指令操作と連動して自動出動指定装置からの出動指令情報及び地図等検索装置からの災害地点周辺地図を各署等に電送します。
署端末装置	各署に設置され、指令センターとNTT専用線（イーサネット回線、IP-VAN回線）で接続し、指令装置から各署に出動の予告音や、音声合成の指令放送等が行われます。
順次指令装置	災害発生時、関係職員及び各市町に順次呼出による災害発生通報を順次配信します。
出動車両運用管理装置	管理装置と車両運用端末装置で構成され、車両運用端末装置からの動態、車両位置情報を管理装置で受け、自動出動指定装置及び車両運用表示盤に反映するものです。
災害状況等自動案内装置	市町民からの災害出動等の状況問い合わせに自動的に応答します。
統合型位置情報通知装置	携帯電話、固定電話、IP電話から送信される位置情報を受信し、連動する指令台に送信することにより、自動出動指定装置及び地図検索装置に情報・地図が表示され、地点決定をします。
無線統制台	基地局無線機と接続し、出動車両の無線交信を集中制御する操作台です。
Eメール指令装置	指令台の災害覚知情報に基づき、指令起動操作と連動して火災、災害情報を消防職員、関係者が所有する携帯電話等へ電子メールで通知します。
電源設備	システムに必要な電源設備は無停電電源設備（AC100V系）直流電源装置（DC12V系）直流電源装置（DC48V系）非常用発電機で各種の電源を一元的に管理します。
119番FAX受信装置	要援護者等からの119番FAX通報を受信する専用の受信装置です。

装置の名称	装置の機能
NET119緊急通報システム	聴覚、発語等の障がいにより、音声での緊急通報が困難な方がスマートフォン等を使用し、Web上から円滑に消防へ通報を行えるようにするシステムです。
駆け込み通報装置	各署に設置され、職員が災害等で不在の場合、本装置の受話機を取ることで指令台と直接通話でき、指令台側では119番受信時と同様に自動出動指定装置と連動して指令業務を行います。
システム監視装置	主要機器のヘルスチェックの状況を自動で監視し、システムの運用状況及び障害発生時の状況を履歴として保持し、指令センター員に通知します。
データ修正装置	自動出動指定装置、地図等検索装置、車両動態管理装置、各種表示盤の各データの修正等をオンラインにて行うメンテナンス装置です。
長時間録音装置	各指令台で扱う119番通報内容、無線交信内容を時刻と共に自動録音し、日時、相手番号等で検索・再生することができます。
庁舎監視装置	各署にネットワークカメラを設置。撮影した映像を指令センターディスプレイに表示し、各庁舎周囲を監視します。
気象情報収集装置	各種の気象状況を自動観測し、指令台に表示及び記録を行い災害対策の支援情報として活用します。
デジタル無線設備	指令センターと番ヶ森基地局をパラボラ空中線、多重無線設備で無線アプローチ回線を構成し、無線運用は音声通信のみならず、データ通信機能も備え、また、一斉通信に加え、グループ及び個別セレクトコール機能を具備するなど秘匿性に優れる、高機能・高性能な設備です。

その他の機器の概要

装置の名称	装置の機能
全国瞬時警報システム (J-ALERT)	日本国内で地震や津波による大規模災害や武力攻撃等が発生した際に、総務省消防庁から提供される国民保護に関する情報を、地域衛星通信ネットワーク経由で受信して解析処理を行い、指令制御装置等と接続し、本部・各署庁内放送及びデジタル無線施設に自動送信することで、消防職員へ情報を迅速に伝達するものです。 ※ J-ALERTにより伝達される情報 ① 地震情報(緊急地震速報、震度速報等) ② 津波情報(大津波警報、津波警報、津波注意報) ③ 気象情報(気象警報、気象注意報) ④ 有事関連情報(弾道ミサイル情報、ゲリラ攻撃、大規模テロ情報等) ⑤ その他(火山情報、土砂災害警戒情報、その他の国民保護情報等)

災 害 受 付 状 況（１月～６月）

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他 の災害	訓練	いたずら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
1 月	119番	1	443	－	－	22	2	9	38	1	1	15	532
	携帯119	4	524	2	2	4	11	43	92	－	15	60	757
	加入電話	1	54	－	4	9	－	－	－	12	2	14	96
	その他	－	15	2	1	－	－	－	1	2	－	－	21
	小 計	6	1,036	4	7	35	13	52	131	15	18	89	1,406
2 月	119番	－	311	1	1	24	－	6	23	5	1	9	381
	携帯119	2	403	3	6	8	2	35	47	－	24	21	551
	加入電話	－	26	1	7	5	－	1	－	14	－	6	60
	その他	－	8	1	－	－	－	－	－	－	－	－	9
	小 計	2	748	6	14	37	2	42	70	19	25	36	1,001
3 月	119番	－	377	2	3	76	1	7	20	1	1	31	519
	携帯119	3	458	1	8	14	1	37	45	1	18	46	632
	加入電話	－	36	－	18	4	－	1	－	20	－	8	87
	その他	－	12	－	3	－	－	－	－	－	－	－	15
	小 計	3	883	3	32	94	2	45	65	22	19	85	1,253
4 月	119番	－	291	－	－	45	－	7	13	3	1	14	374
	携帯119	2	425	1	3	6	1	64	38	3	22	25	590
	加入電話	－	32	3	2	7	－	－	－	13	－	15	72
	その他	－	7	－	1	2	－	－	－	－	－	－	10
	小 計	2	755	4	6	60	1	71	51	19	23	54	1,046
5 月	119番	－	309	1	2	59	－	5	9	2	2	25	414
	携帯119	2	457	4	5	9	1	42	38	1	17	49	625
	加入電話	－	36	－	7	9	－	－	2	14	－	12	80
	その他	－	19	1	1	－	－	－	－	－	－	－	21
	小 計	2	821	6	15	77	1	47	49	17	19	86	1,140
6 月	119番	1	285	1	1	114	3	12	24	2	－	17	460
	携帯119	1	419	1	3	6	－	36	34	－	16	32	548
	加入電話	1	28	1	2	4	－	1	－	16	－	5	58
	その他	－	12	－	5	－	－	－	－	－	－	－	17
	小 計	3	744	3	11	124	3	49	58	18	16	54	1,083

応急手当の口頭指導（プロトコル）実施状況（１月～６月）

種別 月	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小 計
1月	－	15	－	2	－	－	17
2月	－	11	－	－	－	－	11
3月	－	8	－	－	－	－	8
4月	－	9	－	－	－	1	10
5月	－	11	－	－	－	3	14
6月	－	13	－	2	－	2	17
小計	－	67	－	4	－	6	77

災 害 受 付 状 況（7月～12月）

区分 月別	種別	火災	救急	救助	その他 の災害	訓練	いたずら	間違い	問合せ	試験	他管内	その他	合計
7 月	119番	－	367	1	3	68	1	7	22	1	2	26	498
	携帯119	4	528	4	8	2	1	63	77	1	21	72	781
	加入電話	1	51	1	8	9	－	－	1	11	－	11	93
	その他	－	25	2	4	－	－	－	－	2	－	－	33
	小 計	5	971	8	23	79	2	70	100	15	23	109	1,405
8 月	119番	1	324	1	1	32	1	13	16	5	－	17	411
	携帯119	2	525	4	6	2	－	66	46	4	25	56	736
	加入電話	－	37	－	2	15	－	－	3	11	－	7	75
	その他	1	23	1	3	－	－	－	－	－	－	－	28
	小 計	4	909	6	12	49	1	79	65	20	25	80	1,250
9 月	119番	－	318	－	－	67	1	7	20	－	－	17	430
	携帯119	1	516	－	7	11	－	40	46	－	16	33	670
	加入電話	－	36	－	5	4	－	2	－	15	－	5	67
	その他	1	21	2	4	－	－	－	1	－	－	－	29
	小 計	2	891	2	16	82	1	49	67	15	16	55	1,196
10月	119番	－	363	3	－	124	－	7	20	－	1	13	531
	携帯119	4	453	3	2	22	－	32	65	－	24	42	647
	加入電話	－	42	－	5	10	－	1	－	7	－	10	75
	その他	－	19	－	3	2	－	－	－	－	－	－	24
	小 計	4	877	6	10	158	0	40	85	7	25	65	1,277
11月	119番	－	362	1	1	131	－	14	13	1	－	16	539
	携帯119	2	532	4	8	29	－	39	61	1	16	37	729
	加入電話	－	33	1	9	5	－	－	1	16	－	11	76
	その他	－	15	2	5	－	－	－	－	－	－	－	22
	小 計	2	942	8	23	165	0	53	75	18	16	64	1,366
12月	119番	－	376	1	3	71	－	11	31	2	1	19	515
	携帯119	2	515	3	4	8	1	41	101	－	22	50	747
	加入電話	－	46	1	6	10	－	3	－	10	－	7	83
	その他	－	27	4	1	－	－	－	－	－	－	－	32
	小 計	2	964	9	14	89	1	55	132	12	23	76	1,377
小 計	119番	3	4,126	12	15	833	9	105	249	23	10	219	5,604
	携帯119	29	5,755	30	62	121	18	538	690	11	236	523	8,013
	加入電話	3	457	8	75	91	－	9	7	159	2	111	922
	その他	2	203	15	31	4	－	－	2	4	－	－	261
	総 計	37	10,541	65	183	1,049	27	652	948	197	248	853	14,800

応急手当の口頭指導（プロトコル）実施状況（7月～12月）

種別 月	人工呼吸	心臓マッサージ	気道確保	気道異物除去	体位移動	その他	小 計
7月	－	9	1	2	－	1	13
8月	－	8	－	2	－	1	11
9月	－	13	－	1	－	－	14
10月	－	15	－	－	－	1	16
11月	－	13	－	2	－	－	15
12月	－	14	－	1	－	－	15
小計	－	72	1	8	－	3	84
総計	－	139	1	12	－	9	161

第5編 火災統計



令和7年の火災概要

令和7年の火災件数は41件であり、前年と比較すると12件の減少となっている。

火災種別は建物火災が28件、車両火災が3件、船舶火災が1件、その他の火災が9件となっており、市町別の火災件数では、塩竈市が15件、多賀城市が10件、松島町が6件、七ヶ浜町が3件、利府町が7件となっている。

火災による死者数は3人で、塩竈市が1人、多賀城市が2人となっており、負傷者は13人で、その内訳は、塩竈市が9人、多賀城市が3人、利府町が1人となっている。

また、損害額は126,102千円で、前年と比較すると85,815千円増加している。

火災件数

火災件数は41件（53件）で、およそ8.9日に1件発生している。

（ ）は前年の件数等

市町別火災発生・死者・負傷者状況

			発生状況		死者	負傷者
建物火災	28件	(27件)	塩竈市	15件 (17件)	1人 (0人)	9人 (1人)
林野火災	0件	(0件)	多賀城市	10件 (15件)	2人 (3人)	3人 (5人)
車両火災	3件	(5件)	松島町	6件 (7件)	0人 (0人)	0人 (3人)
船舶火災	1件	(0件)	七ヶ浜町	3件 (2件)	0人 (0人)	0人 (0人)
その他の火災	9件	(21件)	利府町	7件 (12件)	0人 (0人)	1人 (1人)

月別火災状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
件数	6件	4件	4件	2件	1件	3件	5件	3件	1件	2件	6件	4件

主な火災原因

第1位	電気関係	9件	(9件・第2位)
第2位	こんろ	4件	(4件・第4位)
第3位	たばこ	3件	(8件・第3位)
第3位	放火・放火の疑い	3件	(10件・第1位)

損害額

損害額は126,102千円で、前年に比べ85,815千円の増加となっている。

火災1件あたりの損害額は、約3,076千円となっている。

初期消火・早期発見状況

火災件数41件のうち初期消火は25件（61.0%）で実施され、このうち17件（68.0%）が成功している。

また、建物火災は28件発生しており、初期消火は18件（64.3%）で実施され、このうち12件（66.7%）が成功している。

1 火災の概況

第1表

区 分			単位	令和 7 年			令和 6 年			増減			増減率（％）		
火災件数	建物	全 焼	件	3	28	41	5	27	53	△ 2	1	△ 12	△ 40.0	3.7	△ 22.6
		半 焼		3			2			1			50.0		
		部分焼		5			5			0			0.0		
		ぼ や		17			15			2			13.3		
	林 野		件	0		41	0		53	0		△ 12	-		
	車 両			3			△ 2			△ 40.0					
	船 舶			1			1			皆増					
	その他			9			△ 12			△ 57.1					
焼損棟数	全 焼	棟	4	38	37	8	1	△ 4	1	△ 50.0	2.7				
	半 焼		3			3		0		0.0					
	部分焼		10			8		2		25.0					
	ぼ や		21			18		3		16.7					
り災世帯	全 損	世帯	5	29	23	5	6	0	6	0.0	26.1				
	半 損		2			2		0		0.0					
	小 損		22			16		6		37.5					
り 災 人 員			人	62		37		25		67.6					
焼損面積	建物（床面積）		㎡	1,431.5		737.4		694.1		94.1					
	建物（表面積）		㎡	58.0		166.7		△ 108.7		△ 65.2					
	林 野		a	0.0		0.0		0.0		-					
	その他		㎡	106.3		2,418.3		△ 2,312.0		△ 95.6					
損害額	建 物		千円	91,733		39,476		52,257		132.4					
	林 野			0		0		0		-					
	車 両			303		261		42		16.1					
	船 舶			400		0		400		皆増					
	その他			33,666		550		33,116		6,021.1					
	合 計			126,102		40,287		85,815		213.0					
死 者			人	3		3		0		0.0					
負 傷 者				13		10		3		30.0					
出 火 率			件	2.3		3.0		△ 0.7		△ 23.3					

※出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。（火災件数÷人口×10,000）

※人口は、令和7年12月末現在。

※前年の数値が「0」のものは、増減率を「皆増」と表記いたします。

※今年の数値が「0」のものは、増減率を「皆減」と表記いたします。

※前年及び今年の数値が「0」のものは、増減率を「-」と表記いたします。

2 市町別火災概況

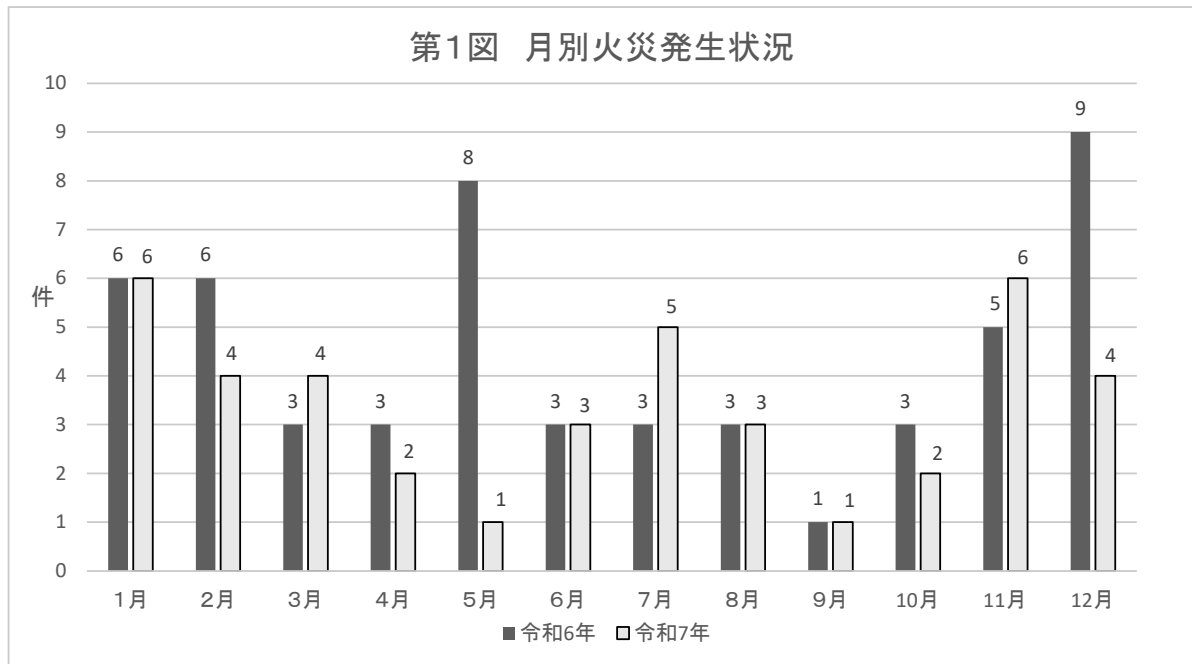
第2表

区 分			単位	総計		塩竈市		多賀城市		松島町		七ヶ浜町		利府町	
火災 件数	建物	全 焼	件	3 (5)	建物	2 (1)	建物	1 (3)	建物	0 (1)	建物	0 (0)	建物	0 (0)	建物
		半 焼		3 (2)	28	1 (0)	12	1 (0)	6	0 (1)	4	0 (0)	1	1 (1)	5
		部分焼		5 (5)	(27)	2 (2)	(9)	2 (2)	(9)	0 (0)	(2)	1 (0)	(0)	0 (1)	(7)
		ぼ や		17 (15)		7 (6)		2 (4)		4 (0)		0 (0)		4 (5)	
	林 野		件	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (0)	計	0 (0)	計
	車 両			3 (5)	41	1 (2)	15	2 (1)	10	0 (0)	6	0 (0)	3	0 (2)	7
	船 舶			1 (0)	(53)	1 (0)	(17)	0 (0)	(15)	0 (0)	(7)	0 (0)	(2)	0 (0)	(12)
	その他			9 (21)		1 (6)		2 (5)		2 (5)		2 (2)		2 (3)	
焼損棟数	全 焼	棟	4	38	2	14	2	14	0	4	0	1	0	5	
	半 焼		3		1		1		0		0		1		
	部分焼		10		4		5		0		1		0		
	ぼ や		21		7		6		4		0		4		
り災世帯	全 損	世帯	5	29	2	9	2	13	0	4	0	0	1	3	
	半 損		2		0		2		0		0		0		
	小 損		22		7		9		4		0		2		
り 災 人 員			人	62		22		28		7		0		5	
焼損面積	建物（床面積）		m ²	1,431.5		895.0		448.2		0.3		88.0		0.0	
	建物（表面積）		m ²	58.0		58.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	林 野		a	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0	
	その他		m ²	106.3		35.2		33.4		0.0		3.0		34.7	
損 害 額	建 物		千円	91,733		53,988		33,761		151		787		3,046	
	林 野			0		0		0		0		0		0	
	車 両			303		8		295		0		0		0	
	船 舶			400		400		0		0		0		0	
	その他			33,666		8,099		1,505		62		24,000		0	
	合 計			126,102		62,495		35,561		213		24,787		3,046	
死 者			人	3		1		2		0		0		0	
負 傷 者				13		9		3		0		0		1	
出 火 率			件	2.3		2.7		2.3		3.2		0.6		1.4	

※（ ）は、前年の火災件数

3 月別火災発生状況

火災件数41件を月別で見ると、最も多い月は1月及び11月の6件となっており、以下7月の5件、2月、3月及び12月の4件の順となっている。



4 四季別火災発生状況

火災件数41件を四季別で見ると、冬季が最も多く14件で全体の34.1%を占め、次いで夏季の11件 (26.8%)、秋季の9件 (22.0%)、春季の7件 (17.1%) となっている。

損害額は、夏季が最も多く全体の67.7%を占めている。

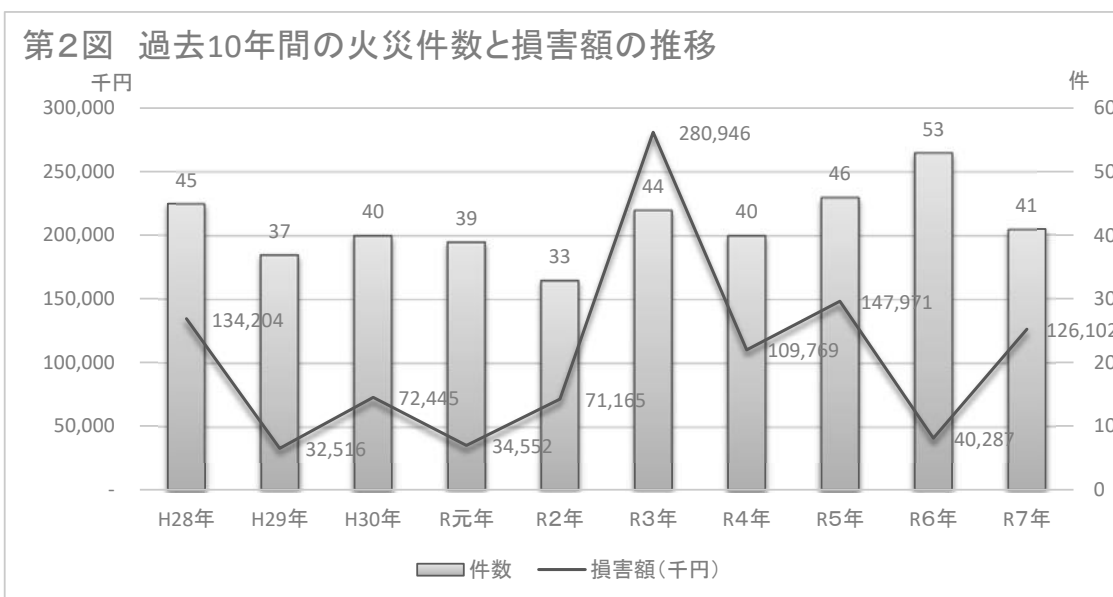
第3表

区分	令和7年				令和6年			
	火災件数	割合 %	損害額 (千円)	割合 %	火災件数	割合 %	損害額 (千円)	割合 %
春季 3月～5月	建物	4	4,240	3.4	建物	7	8,321	20.7
	林野	0			林野	0		
	車両	0			車両	1		
	船舶	0			船舶	0		
	その他	3			その他	6		
夏季 6月～8月	建物	7	85,447	67.7	建物	5	3,014	7.5
	林野	0			林野	0		
	車両	3			車両	0		
	船舶	0			船舶	0		
	その他	1			その他	4		
秋季 9月～11月	建物	7	25,462	20.2	建物	3	7,258	18.0
	林野	0			林野	0		
	車両	0			車両	3		
	船舶	1			船舶	0		
	その他	1			その他	3		
冬季 1、2月、12月	建物	10	10,953	8.7	建物	12	21,694	53.8
	林野	0			林野	0		
	車両	0			車両	1		
	船舶	0			船舶	0		
	その他	4			その他	8		
合 計	41	100.0	126,102	100.0	53	100.0	40,287	100.0

5 火災件数と損害額

損害額は126,102千円となり、前年の40,287千円と比較すると85,815千円の増加となっている。火災1件あたりの損害額は、約3,076千円となっている。

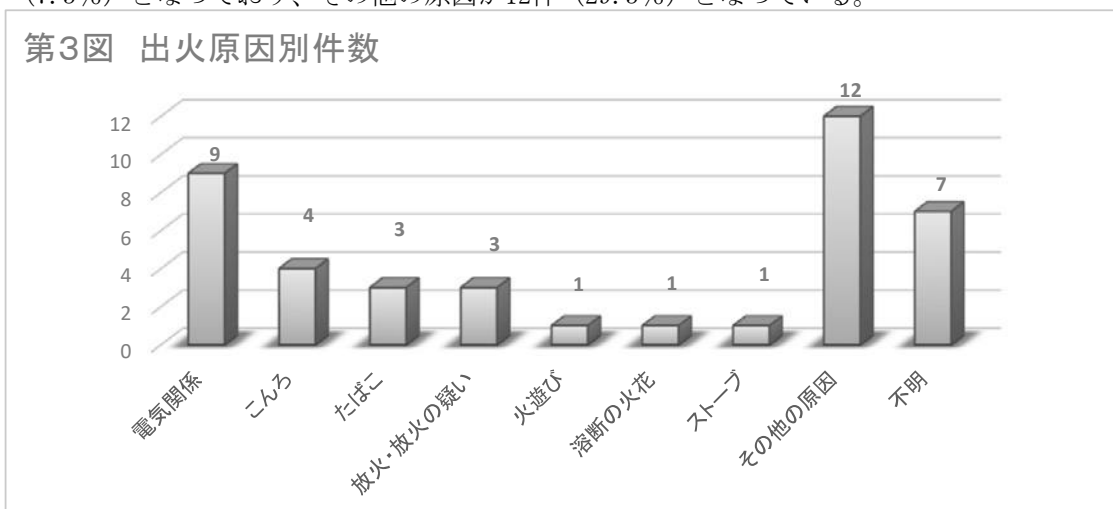
第2図 過去10年間の火災件数と損害額の推移



6 出火原因別の火災発生状況

火災件数41件を出火原因別にみると、第1位が「電気関係」で9件（22.0%）、第2位が「こんろ」で4件（9.8%）、第3位が「たばこ」及び「放火・放火の疑い」で3件（7.3%）となっており、その他の原因が12件（29.3%）となっている。

第3図 出火原因別件数



第4表 過去5年間の主な出火原因（上位5位）

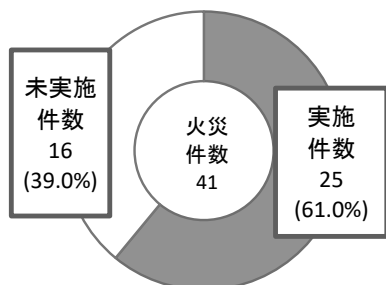
順位	令和3年	順位	令和4年	順位	令和5年	順位	令和6年	順位	令和7年
1	電気関係 11	1	電気関係 8	1	電気関係 11	1	放火・放火の疑い 10	1	電気関係 9
2	放火・放火の疑い 6	2	放火・放火の疑い 5	2	放火・放火の疑い 8	2	電気関係 9	2	こんろ 4
3	ストーブ 3	2	たばこ 5	3	たばこ 6	3	たばこ 8	3	たばこ 3
3	こんろ 3	4	ストーブ 4	4	火遊び 1	4	こんろ 4	3	放火・放火の疑い 3
5	たばこ・溶断の火花 1	5	こんろ 2	—	—	5	火遊び・溶断の火花 各2	5	火遊び・溶断の火花・ストーブ 各1

7 初期消火状況

火災件数41件のうち初期消火は25件（61.0%）で実施され、このうち17件（68.0%）が成功している。また、建物火災は28件発生しており、初期消火は18件（64.3%）で実施され、このうち12件（66.7%）が成功している。

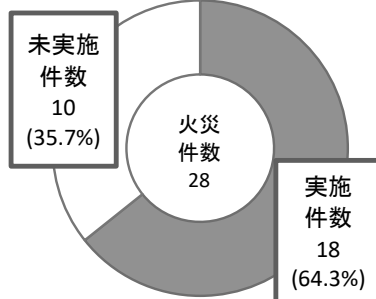
第4図

初期消火実施状況



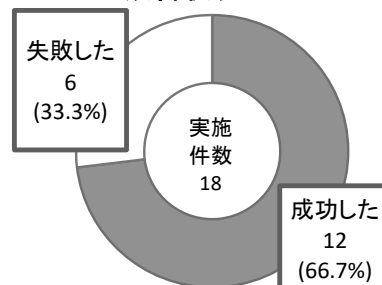
第5図

建物火災初期消火実施状況



第6図

建物火災初期消火の成否状況



未実施の理由（建物火災）

就寝中で気付かなかった
無人・不在であった
自然鎮火していた

消火できなかった理由（建物火災）

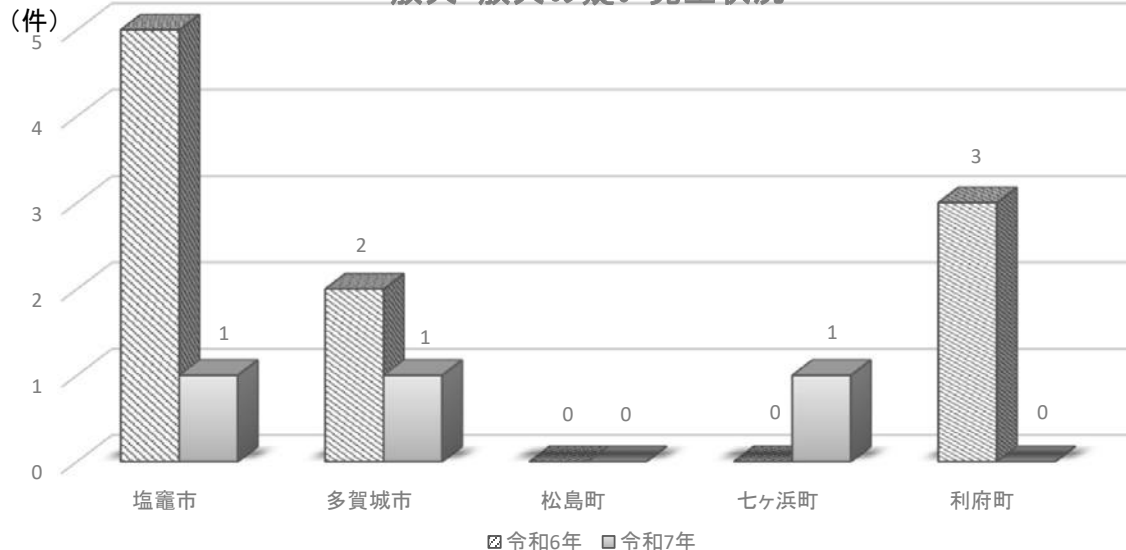
発見が遅れ消火時期が遅れた
適応しない消火器具を使用した
急激に拡大した

8 「放火・放火の疑い」の発生状況

出火件数41件のうち「放火・放火の疑い」が3件発生し、前年と比較すると7件の減少となり、全体の7.3%を占めている。

第7図

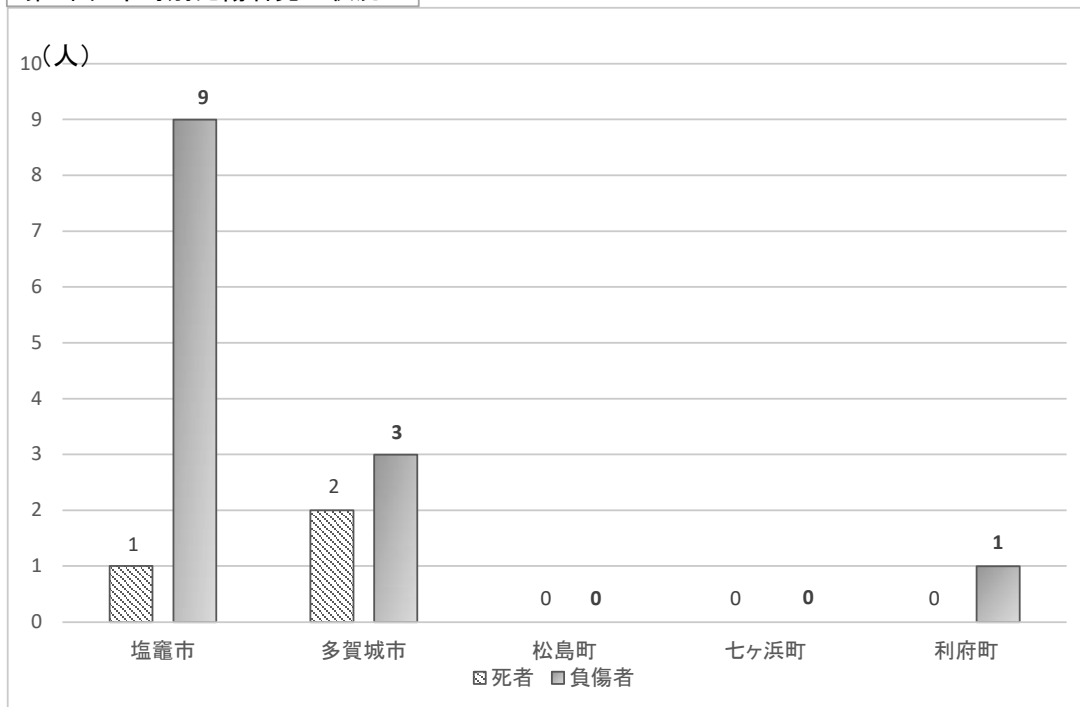
放火・放火の疑い発生状況



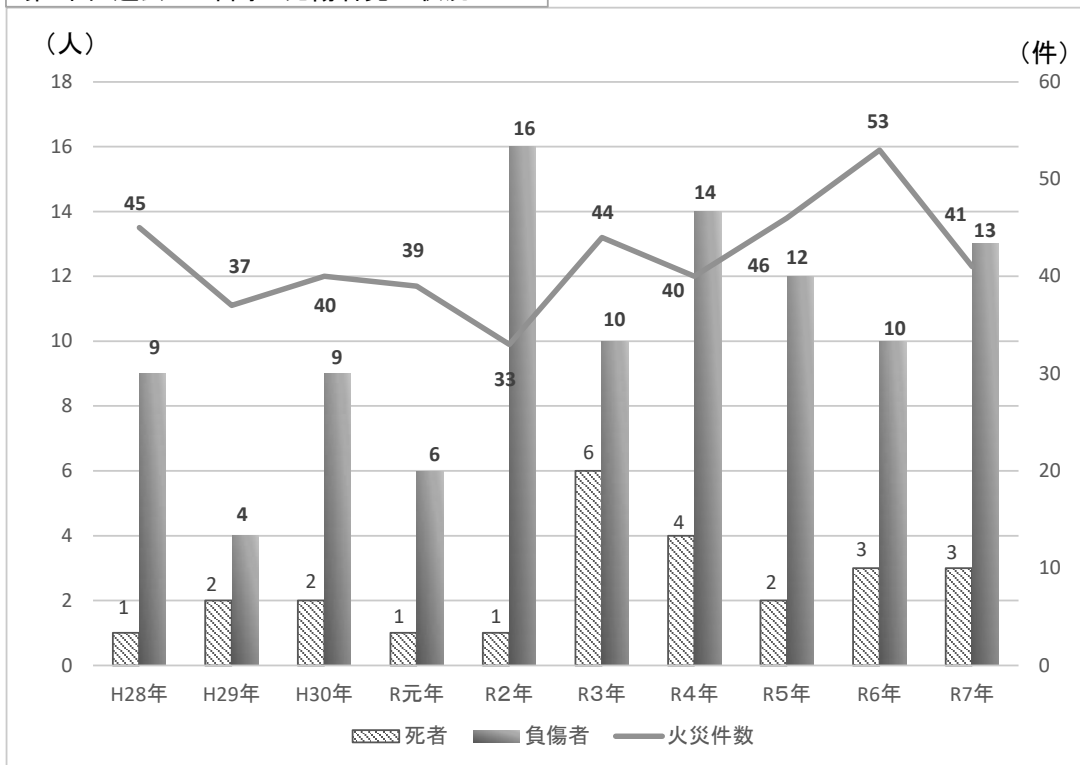
9 死傷者の発生状況

死者は建物火災で3人発生している。
負傷者は建物火災で13人発生している。

第8図 市町別死傷者発生状況

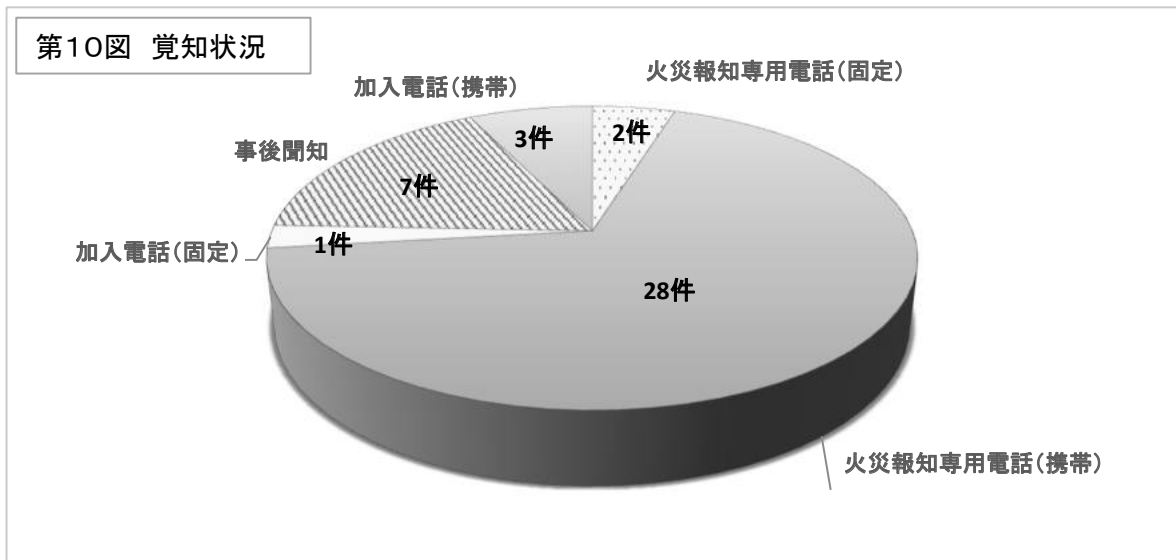


第9図 過去10年間の死傷者発生状況

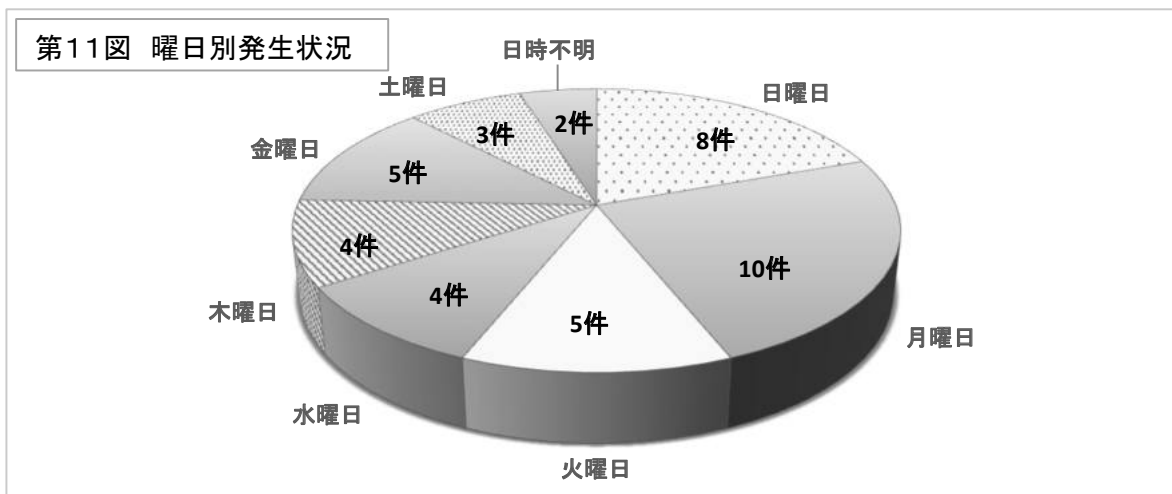


10 その他

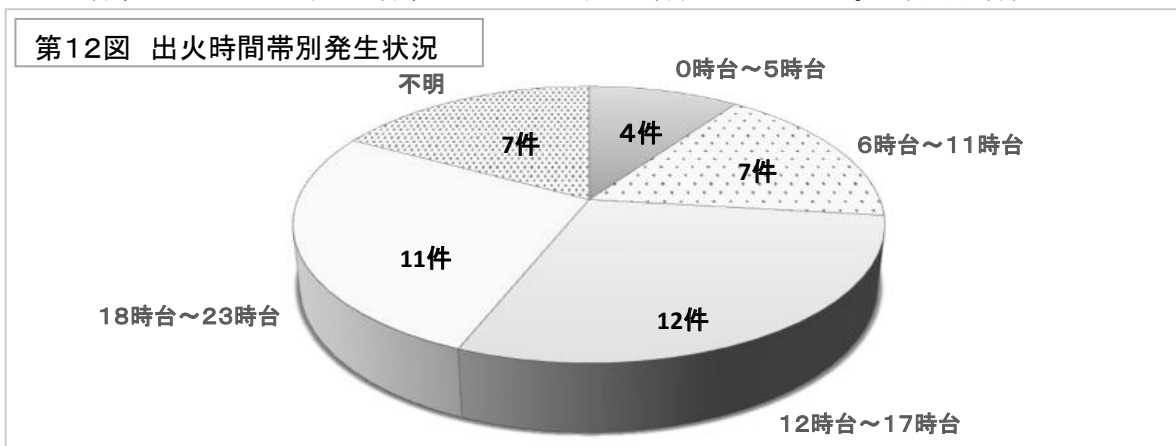
- (1) 火災の覚知については、携帯電話からの火災報知専用電話（119番）が最も多く28件で、次いで事後聞知が7件、加入電話（携帯）からが3件の順となっている。



- (2) 曜日別発生状況については、月曜日が最も多く10件で、次いで日曜日の8件、火、金曜日の5件、水、木曜日の4件、土曜日の3件の順となっている。



- (3) 出火時間帯については、12時から17時台が最も多く12件で、次いで18時から23時台に11件、6時から11時台に7件、0時から5時台に4件発生している。（不明7件）



11 過去5年間の火災発生状況

種 別 年 別		火 災 件 数 （ 件 ）						損 害 額 （ 千 円 ）					
		合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他
令和3年	合 計	44	24	3	6	0	11	280,946	279,892	0	1,037	0	17
	塩 竈 市	14	11	0	0	0	3	251,653	251,653	0	0	0	0
	多賀城市	13	7	0	3	0	3	20,265	19,856	0	402	0	7
	松 島 町	9	3	3	1	0	2	341	306	0	35	0	0
	七ヶ浜町	3	1	0	0	0	2	27	17	0	0	0	10
	利 府 町	5	2	0	2	0	1	8,660	8,060	0	600	0	0
令和4年	合 計	40	29	1	4	0	6	109,769	104,688	0	5,078	0	3
	塩 竈 市	10	10	0	0	0	0	43,329	43,329	0	0	0	0
	多賀城市	10	8	0	1	0	1	11,050	6,150	0	4,900	0	0
	松 島 町	7	4	1	0	0	2	7,103	7,103	0	0	0	0
	七ヶ浜町	3	2	0	0	0	1	29,948	29,948	0	0	0	0
	利 府 町	10	5	0	3	0	2	18,339	18,158	0	178	0	3
令和5年	合 計	46	29	1	1	0	15	147,971	147,726	0	0	0	245
	塩 竈 市	15	11	0	0	0	4	78,849	78,849	0	0	0	0
	多賀城市	12	6	0	1	0	5	6,496	6,260	0	0	0	236
	松 島 町	6	5	1	0	0	0	39,104	39,104	0	0	0	0
	七ヶ浜町	8	5	0	0	0	3	22,897	22,897	0	0	0	0
	利 府 町	5	2	0	0	0	3	625	616	0	0	0	9
令和6年	合 計	53	27	0	5	0	21	40,287	39,476	0	261	0	550
	塩 竈 市	17	9	0	2	0	6	3,033	2,989	0	43	0	1
	多賀城市	15	9	0	1	0	5	22,710	22,526	0	183	0	1
	松 島 町	7	2	0	0	0	5	12,528	11,980	0	0	0	548
	七ヶ浜町	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	利 府 町	12	7	0	2	0	3	2,016	1,981	0	35	0	0
令和7年	合 計	41	28	0	3	1	9	126,102	91,733	0	303	400	33,666
	塩 竈 市	15	12	0	1	1	1	62,495	53,988	0	8	400	8,099
	多賀城市	10	6	0	2	0	2	35,561	33,761	0	295	0	1,505
	松 島 町	6	4	0	0	0	2	213	151	0	0	0	62
	七ヶ浜町	3	1	0	0	0	2	24,787	787	0	0	0	24,000
	利 府 町	7	5	0	0	0	2	3,046	3,046	0	0	0	0

焼 損 棟 数					り 災 世 帯 数				り 災 人 員	焼 損 面 積			死 者	傷 者	放水 件数
合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		建 物 (m ²)		林 野 (a)			
										床面積	表面積				
36	6	3	3	24	35	15	3	17	75	1,961.1	5.5	3.8	6	10	25
14	2	2	1	9	20	11	3	6	35	1,627.0	0.2	0.0	4	4	7
15	3	1	1	10	11	3	0	8	29	201.1	2.0	0.0	1	1	6
3	0	0	1	2	2	0	0	2	5	0	1.7	3.8	0	3	6
1	0	0	0	1	1	0	0	1	4	0	0.8	0.0	0	0	2
3	1	0	0	2	1	1	0	0	2	133.0	0.8	0.0	1	2	4
55	12	6	7	30	38	12	3	23	82	1,346.0	53.0	5.8	4	14	27
22	6	2	1	13	16	4	2	10	36	656.3	0.0	0.0	2	5	7
10	0	1	2	7	6	1	1	4	8	92.4	4.2	0.0	2	3	6
7	2	1	2	2	3	2	0	1	6	232.2	4.8	5.8	0	1	5
8	2	0	0	6	7	2	0	5	21	186.9	0.0	0.0	0	1	3
8	2	2	2	2	6	3	0	3	11	178.2	44.0	0.0	0	4	6
52	13	2	8	29	36	8	2	26	91	1,294.3	16.5	4.9	2	12	30
29	6	2	3	18	25	5	2	18	58	515.7	3.6	0.0	2	6	7
6	0	0	3	3	4	0	0	4	10	31.2	2.6	0.0	0	2	9
8	3	0	1	4	5	2	0	3	20	270.8	2.8	4.9	0	3	5
7	4	0	1	2	2	1	0	1	3	476.6	7.5	0.0	0	0	7
2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	1	2
37	8	3	8	18	23	5	2	16	37	737.4	166.7	0.0	3	10	23
9	1	0	2	6	6	0	0	6	10	120.9	5.2	0.0	0	1	3
15	5	0	5	5	12	3	1	8	19	502.1	63.6	0.0	3	5	9
6	2	2	0	2	3	2	0	1	5	82.1	90	0.0	0	3	6
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	2
7	0	1	1	5	2	0	1	1	3	32.3	7.9	0.0	0	1	3
38	4	3	10	21	29	5	2	22	62	1,431.5	58.0	0.0	3	13	25
14	2	1	4	7	9	2	0	7	22	895.0	58.0	0.0	1	9	11
14	2	1	5	6	13	2	2	9	28	448.2	0.0	0.0	2	3	6
4	0	0	0	4	4	0	0	4	7	0.3	0.0	0.0	0	0	3
1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	88.0	0.0	0.0	0	0	2
5	0	1	0	4	3	1	0	2	5	0.0	0.0	0.0	0	1	3

過去 10 年間の主な火災

損害額 2 千万円以上・死傷者 5 人以上

建物焼損面積 500 m²以上・林野 300a 以上

番号	出火場所	出火日時	用 途 等	死 者	傷 者	焼損面積 (m ² ・a)	損害額 千円	原 因
1	多賀城市笠神	H28. 7. 4	浮棧橋	0	0	－	25, 721	放火の疑い
2	塩竈市新浜町	H28. 8. 18	船舶	0	0	－	80, 000	その他
3	塩竈市新浜町	R3. 12. 3	工場	0	1	1, 345. 0	198, 820	電気関係
4	松島町高城	R5. 5. 19	住宅	0	0	163. 13	30, 217	電気関係
5	塩竈市長沢町	R5. 11. 20	住宅	0	1	110. 29	21, 461	たばこの不始末
6	塩竈市新浜町	R7. 7. 15	工場	0	5	550. 2	39, 478	不明
7	多賀城市下馬	R7. 9. 14	住宅	2	2	317. 1 (類焼含む)	20, 465	不明

※ 平成 29、30 年及び令和元、2、4、6 年中は該当する火災は発生しなかったもの。

第 6 編 救急統計



令和7年の救急概要

令和7年中における救急概要を見ると、出場件数10,677件(対前年比172件増、1.6%増)搬送人員10,074人(対前年比144人増、1.5%増)となっている。これは、当管内において、1日あたり平均で約29.2回(前年約28.8回)救急車が出場し、住民の約17.7人に1人(前年約18.11人)が、救急隊によって搬送されたことになる。

市町別出場状況

塩竈市	3,574件(前年 3,533件)
多賀城市	3,126件(前年 3,142件)
松島町	1,113件(前年 1,077件)
七ヶ浜町	927件(前年 902件)
利府町	1,931件(前年 1,845件)
他市町	6件(前年 6件)

事故別出場状況

	令和7年	令和6年
第1位	急病	(同左)
第2位	一般負傷	(同左)
第3位	転院搬送	(同左)
第4位	交通事故	(同左)
第5位	運動競技	(同左)

月別出場状況

第1位	1月	1,050件
第2位	7月	984件
第3位	12月	982件
第4位	11月	961件

傷病程度別搬送状況

第1位	中等症	6,115人 (60.7%)
第2位	軽症	2,835人 (28.1%)
第3位	重症	1,001人 (10.0%)
第4位	死亡	123人 (1.2%)

年齢区分別搬送状況

高齢者(65歳以上)が最も多く6,667人、次いで成人 2,564人、乳幼児、少年、新生児の順

平均現場到着所要時間

9分 04秒
(覚知から現場に到着するまでの時間)

平均病院等収容所要時間

48分 24秒
(覚知から医療機関に収容するまでの時間)

医療機関別搬送状況

- 救急告示病院は、
9,860人 (97.9%)
- その他の医療機関は、
214人 (2.1%)
- 管内搬送は 5,570人
(全体の 55.3%)

1 市町別救急発生状況

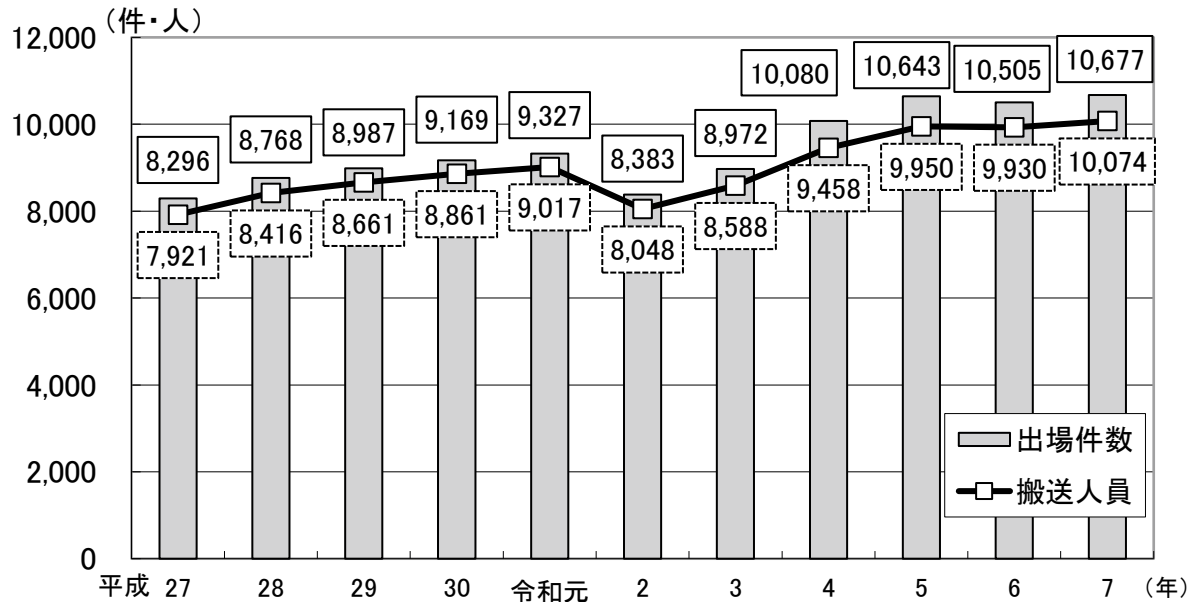
区 分	令和7年	令和6年	対 前 年 比	
	出場件数(件)	出場件数(件)	増 減 数	増 減 率 (%)
	搬送人員(人)	搬送人員(人)		
合 計	10,677	10,505	172	1.6
	10,074	9,930	144	1.5
塩 竈 市	3,574	3,533	41	1.2
	3,346	3,346	0	0.0
多賀城市	3,126	3,142	△ 16	△ 0.5
	2,961	2,960	1	0.0
松 島 町	1,113	1,077	36	3.3
	1,040	1,002	38	3.8
七ヶ浜町	927	902	25	2.8
	866	864	2	0.2
利 府 町	1,931	1,845	86	4.7
	1,855	1,752	103	5.9
他 市 町	6	6	0	0.0
	6	6	0	0.0

2 市町事故別救急発生状況

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	他
塩竈市	出場件数	3,574	16	0	0	73	22	6	553	14	15	2,419	452	4
	搬送人員	3,346	9	0	0	80	21	6	513	12	10	2,244	451	0
多賀城市	出場件数	3,126	7	0	0	120	15	19	544	7	19	2,218	175	2
	搬送人員	2,961	3	0	0	118	15	19	514	5	15	2,098	174	0
松島町	出場件数	1,113	2	0	2	30	6	13	193	0	5	730	132	0
	搬送人員	1,040	1	0	0	36	5	13	184	0	2	667	132	0
七ヶ浜町	出場件数	927	2	0	3	20	3	8	145	3	8	712	22	1
	搬送人員	866	0	0	1	19	3	9	139	2	5	666	22	0
利府町	出場件数	1,931	4	0	1	102	11	26	261	2	12	1,357	154	1
	搬送人員	1,855	1	0	0	100	10	26	249	1	11	1,304	153	0
他市町	出場件数	6	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3	0	0
	搬送人員	6	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3	0	0
合計	出場件数	10,677	31	0	6	347	57	72	1,697	26	59	7,439	935	8
	搬送人員	10,074	14	0	1	355	54	73	1,600	20	43	6,982	932	0
令和6年	出場件数	10,505	29	0	3	390	72	80	1,479	43	71	7,438	898	2
	搬送人員	9,930	11	0	2	374	70	79	1,426	35	51	6,986	896	0
対前 年比	出場件数	172	2	0	3	△ 43	△ 15	△ 8	218	△ 17	△ 12	1	37	6
	搬送人員	144	3	0	△ 1	△ 19	△ 16	△ 6	174	△ 15	△ 8	△ 4	36	0
対前 年率	出場件数	1.6	6.9	－	100.0	△ 11.0	△ 20.8	△ 10.0	14.7	△ 39.5	△ 16.9	0.0	4.1	300.0
	搬送人員	1.5	27.3	－	△ 50.0	△ 5.1	△ 22.9	△ 7.6	12.2	△ 42.9	△ 15.7	△ 0.1	4.0	－

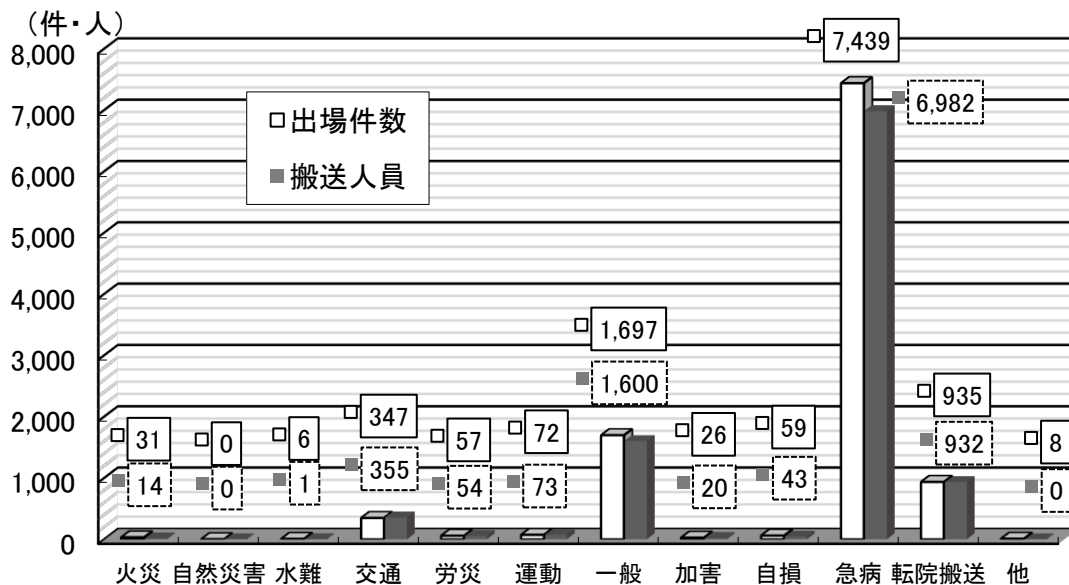
3 救急発生状況の推移

過去10年間の救急出場件数と搬送人員を見ると、出場件数は10年前より2,381件増加し搬送人員は2,153人増加している。



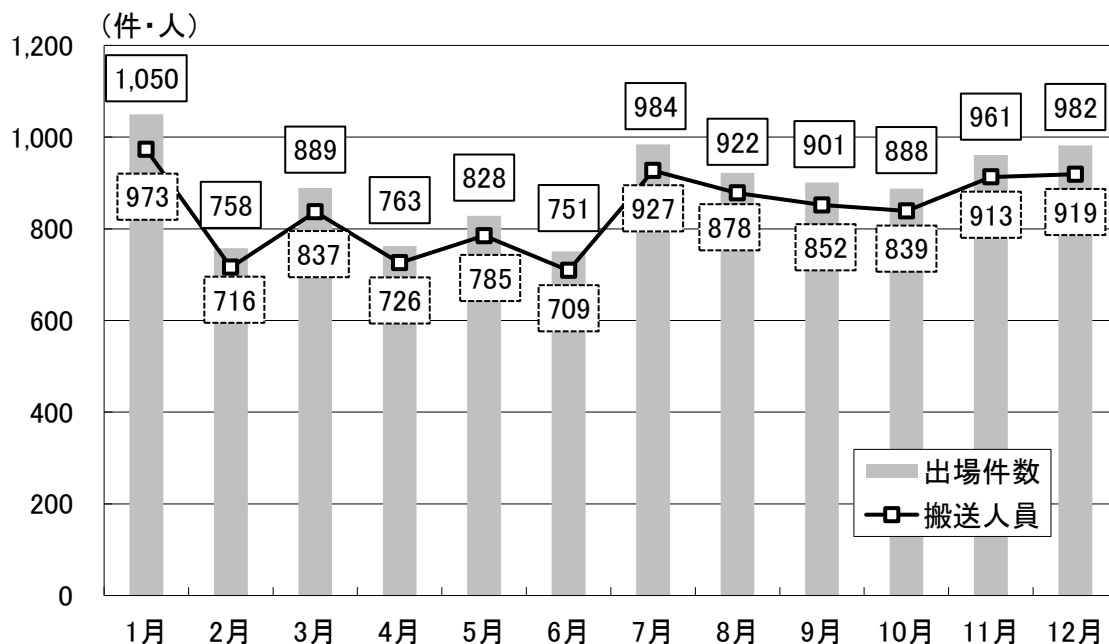
4 事故別救急発生状況

事故別の出場状況は下図のとおりであるが、構成比は急病が約 69.7%、一般負傷が約15.9%、転院搬送が約 8.8%、交通事故が約 3.3%となっている。



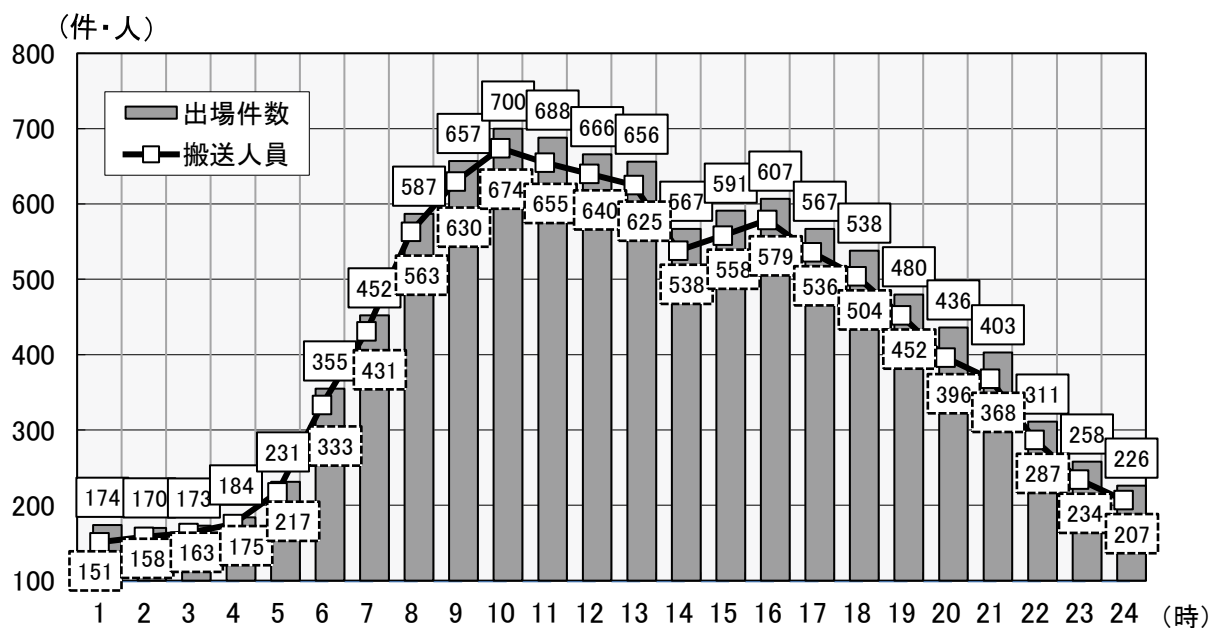
5 月別救急発生状況

出場件数を月別に見ると、1月が1,050件で最も多く、次いで7月が984件、12月が982件、11月が961件の順で、1か月平均では約890件となっている。



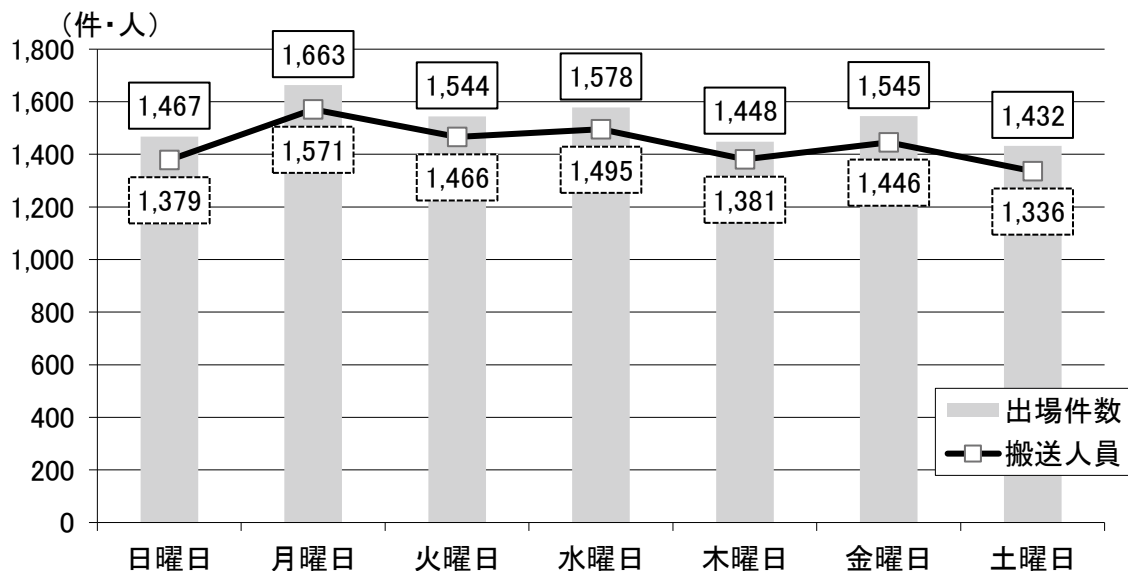
6 時間別救急発生状況

出場件数を時間別に見ると、10時～11時が700件で最も多く、次いで11時～12時が688件、12時～13時が666件、9時～10時が657件の順となっており、日中の時間帯に多くなっている。



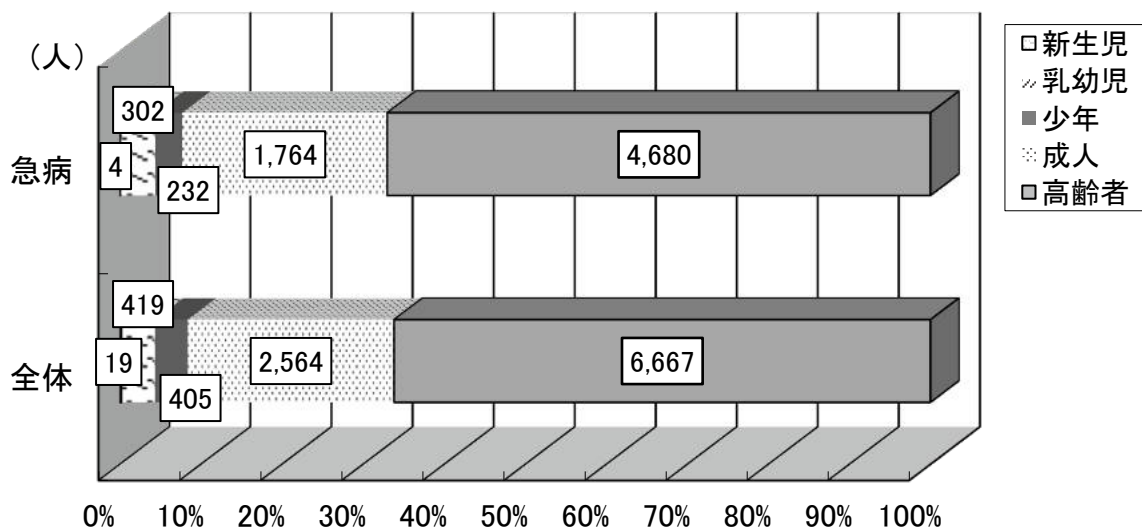
7 曜日別救急発生状況

出場件数を曜日別に見ると、月曜日が最も多く1,663件、次いで水曜日が1,578件、金曜日が1,545件の順となっており、全ての曜日で1,400件を超えている。



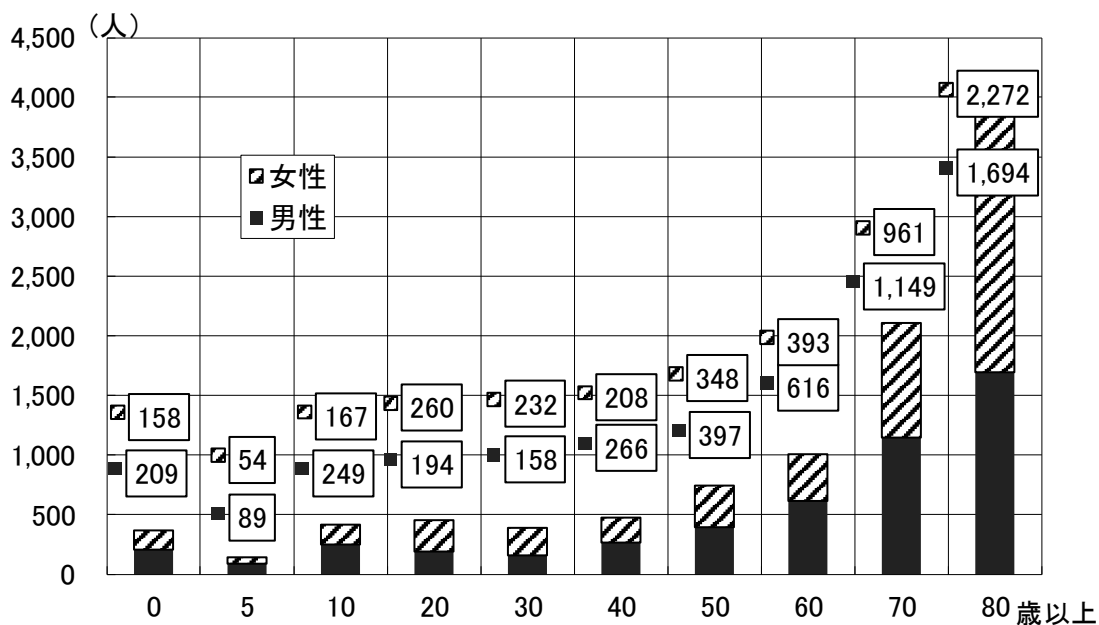
8 年齢区分別搬送状況

高齢者(65歳以上)が6,667人(全体の約66.2%)で最も多く、次いで成人が2,564人(全体の約25.5%)、乳幼児、少年、新生児の順となっている。また、事故種別で最も多い急病についても高齢者が4,680人で最も多くなっている。



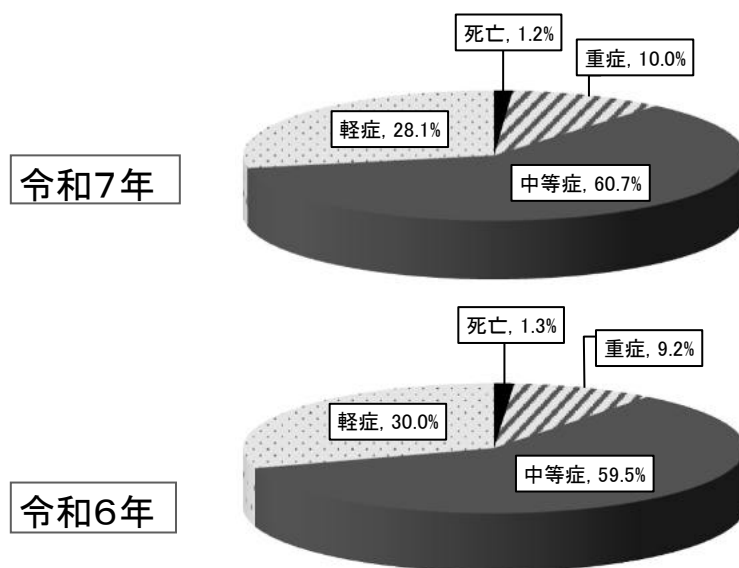
9 年代別性別搬送状況

年代別では80歳以上が 3,966人で最も多く、次いで、70～79歳が2,110人、60～69歳が1,009人の順となっている。男女別総数では男性が5,021人、女性が5,053人となっている。



10 傷病程度別搬送状況

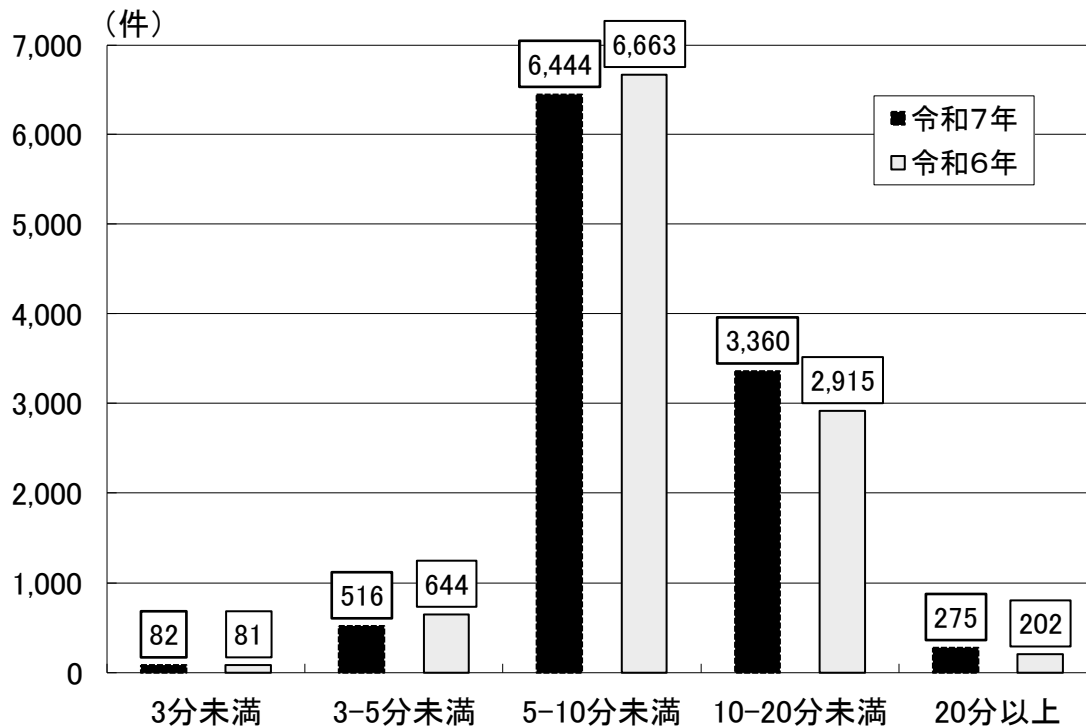
搬送人員の傷病程度の割合は下図のとおりであり、前年とほぼ同じ割合となっている。なお、傷病程度は初診時における医師の診断に基づき分類されている。



11 現場到着所要時間別出場状況

救急出場 10,677件の現場到着所要時間別(覚知から現場に到着するまでに要した時間別)の状況は下図のとおりである。

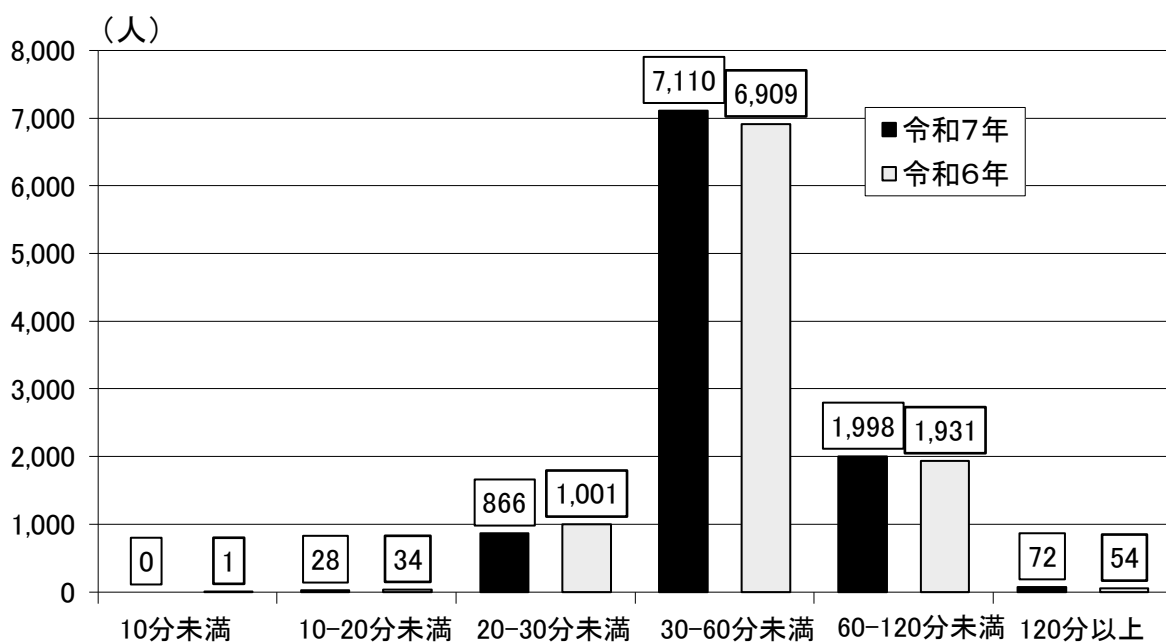
5分以上10分未満が最も多く6,444件で全体の約60.4%を占めている。



12 収容所要時間別搬送状況

搬送人員 10,074人の収容所要時間別(覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別)の状況は下図のとおりである。

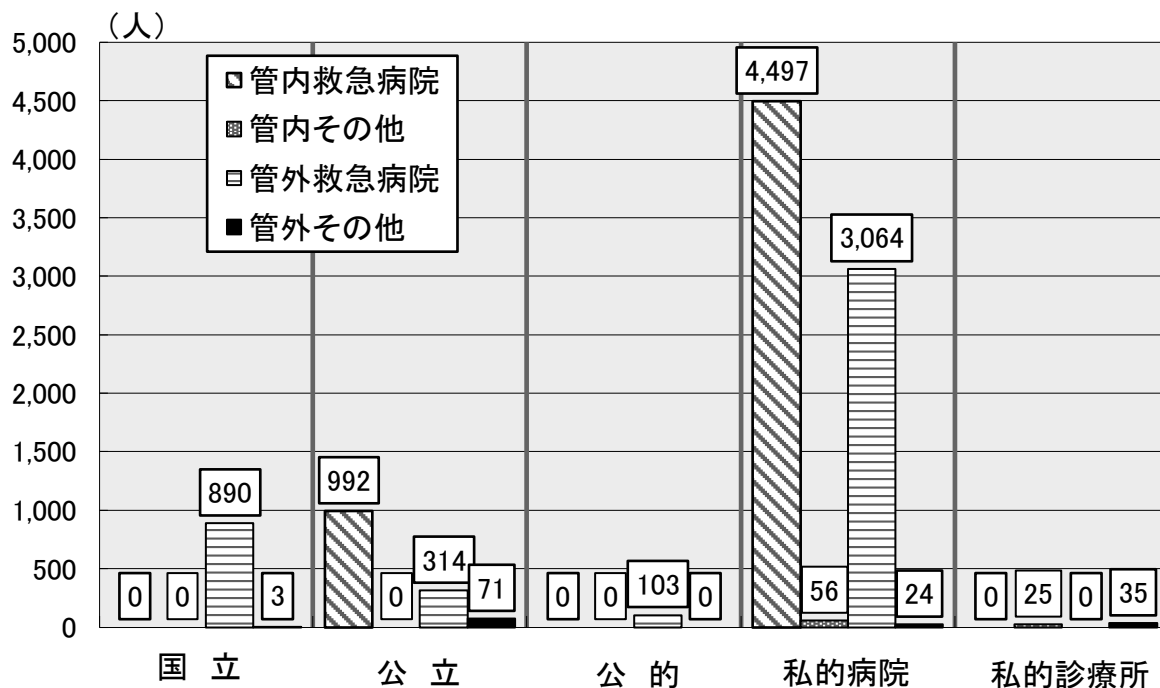
30分以上60分未満が最も多く7,110人で全体の約70.6%を占めている。



13 医療機関別搬送状況

搬送人員 10,074人のうち救急告示医療機関に搬送されたのは9,860人(全体の約 97.9%)
その他の医療機関に搬送されたのは 214人(全体の約 2.1%)となっている。

9,860人のうち、管内の病院に搬送されたのは 5,570人(約56.5%)となっている。



(注) 医療機関の分類は次により記載した。

- (1) 「国立」とは、開設者が国(国立大学法人、独立行政法人労働者健康福祉機構、独立行政法人国立病院機構等を含む。)であるもの。
- (2) 「公立」とは、開設者が都道府県、市町村及び地方自治法(昭和22年法律第67号)第284条第1項に規定する地方公共団体の組合であるもの。
- (3) 「公的」とは、開設者が次のものであるもの。
 - a 普通国民健康保険組合
 - b 日本赤十字社
 - c 社会福祉法人恩賜財団済生会
 - d 全国厚生農業協同組合の会員である厚生(医療)農業協同組合連合会
 - e 社会福祉法人北海道社会事業協会

14 救急隊事故別救急発生状況

(件・人)

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院搬送	他
塩 釜 隊	出場件数	4,431	23	0	0	137	26	21	698	16	23	3,089	395	3
	搬送人員	4,158	13	0	0	140	25	21	651	13	19	2,881	395	0
多賀城隊	出場件数	2,147	6	0	0	73	9	15	364	6	12	1,427	232	3
	搬送人員	2,034	1	0	0	72	9	15	344	4	8	1,350	231	0
松 島 隊	出場件数	1,089	0	0	2	27	6	12	196	0	5	740	101	0
	搬送人員	1,012	0	0	0	33	5	12	181	0	2	678	101	0
七ヶ浜隊	出場件数	1,209	2	0	4	31	6	9	177	2	6	898	72	2
	搬送人員	1,137	0	0	1	28	6	10	170	2	3	845	72	0
利 府 隊	出場件数	1,801	0	0	0	79	10	15	262	2	13	1,285	135	0
	搬送人員	1,733	0	0	0	82	9	15	254	1	11	1,228	133	0
合 計	出場件数	10,677	31	0	6	347	57	72	1,697	26	59	7,439	935	8
	搬送人員	10,074	14	0	1	355	54	73	1,600	20	43	6,982	932	0

15 診療科目別搬送状況

(人)

区分		合計	火災	自然災害	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	他
診 療 科 目 別	救 命	525	5	0	1	28	6	0	59	2	16	377	31
	内 科	4,638	2	0	0	2	1	6	55	0	18	4,330	224
	外 科	1,184	7	0	0	243	30	24	703	16	7	133	21
	小 児 科	546	0	0	0	2	0	4	76	1	0	432	31
	産婦人科	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	51
	眼 科	8	0	0	0	0	0	3	1	0	0	3	1
	整 形 ・ 形成外科	1,012	0	0	0	72	16	28	631	1	0	183	81
	耳鼻咽喉科	74	0	0	0	0	0	2	4	0	0	59	9
	脳神経科	674	0	0	0	8	1	6	55	0	0	490	114
	泌尿器科	111	0	0	0	0	0	0	2	0	0	74	35
	精 神 科	35	0	0	0	0	0	0	2	0	2	26	5
	消化器科	360	0	0	0	0	0	0	3	0	0	265	92
	呼吸器科	253	0	0	0	0	0	0	3	0	0	174	76
	循環器科	540	0	0	0	0	0	0	0	0	0	384	156
	そ の 他	23	0	0	0	0	0	0	6	0	0	12	5
合計		10,074	14	0	1	355	54	73	1,600	20	43	6,982	932

16 救急隊員の行った応急処置等の状況(事故種別による分類)

(件)

区 分	合計	急 病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置等対象搬送人員(人)	10,074	6,982	355	1,600	1,137
止 血	313	34	36	211	32
被 覆	363	24	41	266	32
固 定	382	37	133	166	46
保 温	3,597	2,489	131	550	427
酸素吸入	1,582	1,263	11	62	246
人工呼吸	95	84	1	7	3
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
※うち自動式心マッサージ器	0	0	0	0	0
心肺蘇生	224	193	2	16	13
※うち自動式心マッサージ器	150	131	1	10	8
在宅療法継続	5	5	0	0	0
血圧測定	9,631	6,655	347	1,535	1,094
心音・呼吸音聴取	3,786	2,727	140	523	396
血中酸素飽和度測定	9,858	6,797	353	1,586	1,122
心電図測定	9,438	6,618	329	1,461	1,030
気道確保	300	259	2	18	21
※うち経鼻エアウェイ	50	44	0	3	3
※うち喉頭鏡・鉗子等	47	46	0	1	0
※うちラリングアルマスク等	44	39	2	1	2
※うち気管挿管	12	8	0	4	0
※除細動	26	24	0	0	2
※静脈路確保	229	210	3	7	9
※うちCPA前	53	49	1	1	2
※うちCPA後	152	137	2	6	7
※うちブドウ糖	24	24	0	0	0
※エピネフリン投与	89	76	2	4	7
※血糖測定	100	97	0	3	0
※ブドウ糖投与	16	16	0	0	0
その他の処置	4,342	2,990	143	726	483
計	44,376	30,598	1,674	7,141	4,963

※は平成3年以降に拡大された応急処置等の項目である。

17 応急手当の普及状況

(人)

区 分		合 計	普通救命講習	上級救命講習	普及員講習
講 習 回 数		90	86	2	
	※1	58	58	0	2
	※2	0	0		
受 講 者 数		1,350	1,275	71	
	※1	921	921	0	4
	※2	0	0		
性 別	男	496	442	53	
		※1	236	0	1
		※2	0		
	女	854	833	18	
		※1	685	0	3
		※2	0		
年 代 別	10代	166	95	71	0
	20代	252	252	0	0
	30代	252	251	0	1
	40代	261	261	0	0
	50代	223	221	0	2
	60代	142	141	0	1
	70代	54	54	0	0
	80以上	0	0	0	0

※1 eラーニングにより救命講習の座学部分を受講し、概ね1か月以内に実技救命講習を実施した普通・上級救命講習の内数

※2 救命入門コースを受講し、概ね12か月以内に実技救命講習を実施した普通救命講習の内数

救命入門コース	回数	人 数										
		合計	性別		年代別							
			男	女	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
	4	99	52	47	59	0	2	11	3	3	21	0

その他の講習	回 数	人 数		
		合 計	男	女
	113	2,223	818	1,405
(うちAEDを使用)	112	2,216	818	1,398

※ その他の講習で、AEDを使用し講習した内数

18 過去5年間の市町別救急発生状況

区 分		出場件数 (件)					搬送人員 (人)				
		合計	交通	一般 負傷	急病	その他	合計	交通	一般 負傷	急病	その他
令和 3年	合 計	8,972	363	1,156	6,232	1,221	8,588	377	1,119	5,915	1,177
	塩 竈 市	3,285	66	401	2,215	603	3,130	65	391	2,090	584
	多 賀 城 市	2,610	139	337	1,888	246	2,508	145	323	1,807	233
	松 島 町	845	41	109	571	124	798	45	106	526	121
	七ヶ浜町	764	20	112	587	45	743	19	112	569	43
	利 府 町	1,464	96	197	970	201	1,405	102	187	922	194
	他 市 町	4	1	0	1	2	4	1	0	1	2
令和 4年	合 計	10,080	404	1,398	7,110	1,168	9,458	412	1,339	6,583	1,124
	塩 竈 市	3,639	103	452	2,497	587	3,429	106	432	2,320	571
	多 賀 城 市	2,986	124	409	2,219	234	2,787	125	394	2,045	223
	松 島 町	932	39	171	626	96	873	38	165	580	90
	七ヶ浜町	881	20	135	678	48	822	22	125	630	45
	利 府 町	1,638	115	231	1,089	203	1,543	118	223	1,007	195
	他 市 町	4	3	0	1	0	4	3	0	1	0
令和 5年	合 計	10,643	398	1,463	7,681	1,101	9,950	404	1,390	7,116	1,040
	塩 竈 市	3,602	84	508	2,510	500	3,376	82	487	2,323	484
	多 賀 城 市	3,247	157	455	2,392	243	3,017	157	429	2,203	228
	松 島 町	1,011	40	146	711	114	927	43	136	639	109
	七ヶ浜町	942	20	130	736	56	882	20	123	698	41
	利 府 町	1,835	93	224	1,330	188	1,743	99	215	1,251	178
	他 市 町	6	4	0	2	0	5	3	0	2	0
令和 6年	合 計	10,505	390	1,479	7,438	1,198	9,930	374	1,426	6,986	1,144
	塩 竈 市	3,533	100	462	2,453	518	3,346	97	446	2,306	497
	多 賀 城 市	3,142	146	449	2,297	250	2,960	142	432	2,142	244
	松 島 町	1,077	32	178	718	149	1,002	31	176	655	140
	七ヶ浜町	902	24	121	714	43	864	26	115	685	38
	利 府 町	1,845	88	269	1,252	236	1,752	78	257	1,194	223
	他 市 町	6	0	0	4	2	6	0	0	4	2
令和 7年	合 計	10,677	347	1,697	7,439	1,194	10,074	355	1,600	6,982	1,137
	塩 竈 市	3,574	73	553	2,419	529	3,346	80	513	2,244	509
	多 賀 城 市	3,126	120	544	2,218	244	2,961	118	514	2,098	231
	松 島 町	1,113	30	193	730	160	1,040	36	184	667	153
	七ヶ浜町	927	20	145	712	50	866	19	139	666	42
	利 府 町	1,931	102	261	1,357	211	1,855	100	249	1,304	202
	他 市 町	6	2	1	3	0	6	2	1	3	0

19 過去の主な救急事故（傷病者6名以上）

（人）

年 月 日 覚知時間	事故 種別	発 生 場 所	概 要	傷 病 程 度			
				死 亡	重 症	中等症	軽 症
平成2年 3月15日 10時17分	労 災	多賀城市栄二丁目地内 （東北ドック鉄工内）	ガス爆発	0	0	1	5
平成2年 3月20日 15時43分	交 通	利府町神谷沢字大谷地 地内（カメイスタンド前）	停車中の乗用車に 乗用車が追突	0	0	0	6
平成2年 10月29日 11時55分	交 通	松島町高城字明神地内 （レストラン四季亭前）	トラックと乗用車の 衝突	0	0	1	5
平成5年 5月16日 16時12分	交 通	塩竈市杉の入四丁目地内 （小野自動車前）	乗用車同士の正面 衝突	0	0	4	3
平成6年 2月14日 16時5分	交 通	松島町松島字石田地内 （パノラマライン入口付近）	路上凍結による乗 用車同士の衝突	0	0	1	5
平成6年 8月3日 17時00分	交 通	利府町菅谷字産野原地内 （ふくろうの森前）	乗用車が道路脇の 立木に衝突	0	0	0	8
平成8年 8月5日 10時2分	急 病	塩竈市一森山地内 （駐車場）	食中毒	0	0	7	0
平成8年 7月20日 21時7分	交 通	利府町利府字八幡崎地内 （モービル石油前）	右折車に後続車が 衝突	0	2	3	2
平成9年 6月28日 19時57分	交 通	松島町根廻字蒜沢地内 （東北本線トンネル内）	列車の脱線事故	0	0	5	6
平成9年 11月15日 15時7分	交 通	塩竈市東玉川町地内 （JR 塩釜駅南側）	乗用車の多重衝突 事故	0	0	0	6
平成11年 10月15日 16時44分	交 通	多賀城市市川字坂下地内 （市川橋付近）	バスと乗用車の正 面衝突	0	0	0	7
平成12年 3月6日 16時31分	交 通	塩竈市港町1丁目地内 （片倉チッカリン前）	ローリーと乗用車の 衝突	0	3	3	1
平成13年 7月15日 11時2分	運 動	七ヶ浜町吉田浜字野山地 内（陸上競技場内）	リレー競技中に転倒	0	0	0	8
平成14年 1月3日 11時7分	交 通	松島町桜渡戸字麦田地内 三陸自動車道上	乗用車8台の衝突 事故	0	0	0	6
平成14年 1月6日 14時38分	交 通	利府町沢乙字寺下2-1 （にしむら整形外科前）	乗用車4台の玉突 事故	0	0	0	7
平成14年 3月10日 0時8分	交 通	松島町初原字欠田地内 仙台松島線上	トラックと乗用車の 正面衝突事故	0	0	2	8
平成14年 7月2日 13時12分	交 通	利府町菅谷字長者前 （ホテルアイネ付近前）	乗用車同士の衝突 事故	0	0	0	7
平成16年 8月10日 ①7時22分 ②12時7分	急 病	利府町菅谷館10-1 （グランディー21合宿所内）	腹痛等を訴える学 生が多数発生	0	1	7	35
平成17年 5月22日 4時20分	交 通	多賀城市八幡一丁目3番地内 （国道45号線交差点付近）	RV車が横断中の歩行者 の列に突っ込んだもの	3	0	4	18
平成17年 11月14日 10時17分	交 通	塩竈市芦畔町10-1地内 路上	送迎車両と乗用車 の衝突事故	0	0	0	8
平成20年 5月19日 12時11分	交 通	松島町松島字町内98-1 松島観光栈橋	航行中の観光船が 暗礁に衝突したもの	0	0	2	8
平成29年 5月28日 18時43分	交 通	多賀城市八幡一丁目7番地内 （国道45号線下り車線）	乗用車3台の玉突き 事故	0	0	2	5

年 月 日 覚知時間	事故 種別	発 生 場 所	概 要	(人)			
				傷 死	病 重 症	程 中等症	度 軽 症
平成30年 8月22日 12時45分	交 通	塩竈市北浜四丁目8地内 (相原酒店前交差点)	乗用車2台の衝突事 故	0	0	1	5
令和元年 8月1日 15時54分	交 通	多賀城市城南一丁目11番5号 (セブンコート付近)	トラックと乗用車の衝 突事故	0	0	2	4
令和元年 10月5日 10時26分	一 般	七ヶ浜町代々崎浜字八ヶ森 (多聞山芝生公園)	蜂に刺されたもの	0	0	0	14
令和元年 12月18日 7時41分	機械事故	塩竈市新浜町二丁目1番35号 (ホームセンター建設工事現 場)	乗用車内で作業員3名が 待機中、クレーンが倒れ下 敷きになったもの	1	1	1	4
令和3年 7月12日 18時35分	急病	多賀城市高橋五丁目6番1号 (仙台育英学園多賀城校舎)	吹奏楽部の部活動中、生 徒9名が熱中症の様な症 状 (うち1名不搬送)	0	0	8	0
令和3年 12月18日 21時30分	交 通	多賀城市八幡三丁目5番地内 (ん寿司付近交差点)	軽乗用車同士の交 通事故	0	0	1	5

20 市町別救急活動支援出動状況

区 分	令和 7 年	令和 6 年	対 前 年 比	
	出動件数	出動件数	増減数	増減率%
合 計	377	285	92	32.3
塩 竈 市	131	100	31	31.0
多賀城市	104	68	36	52.9
松 島 町	54	43	11	25.6
七ヶ浜町	26	29	△ 3	△ 10.3
利 府 町	60	45	15	33.3
そ の 他	2	0	2	皆増

※ 救急活動支援：救急現場へ消防隊が出動し、医療機関へ迅速な搬送、救命率の向上と、現場活動における二次災害防止を目的に救急隊の活動支援を行うこと。

21 救急活動支援種別出動状況

区 分	令和 7 年	令和 6 年	対 前 年 比	
			増減数	増減率%
合 計	377	285	92	32.3
※CPA事案 (疑い含む。)	166	117	49	41.9
救急隊遅延	60	31	29	93.5
搬送困難	47	46	1	2.2
二次災害防止	66	57	9	15.8
そ の 他	38	34	4	11.8

※ 令和 6 年 4 月 1 日から支援種別に追加したものです。

C P A 事案：通報時に心肺停止状態又は心肺停止に移行する可能性がある場合。
(疑い含む。)

救急隊遅延：通報時に心肺停止状態又は心肺停止に移行する可能性がある場合等に消防車が
救急車よりも早く救急現場へ到着できる場合。

搬 送 困 難：救急現場が勾配や搬送まで距離等により搬送が困難な場合。

二次災害防止：交通事故等の救急現場二次災害の発生するおそれがあると判断した場合。

そ の 他：上記支援種別以外で、救急活動支援が必要と判断した場合。

第 7 編 救助統計



令和7年の救助概要

令和7年中における救助概要を見ると、出動件数は48件（対前年3件減）、救助人員は49人（対前年5人減）となっている。

出動件数を事故種別に見ると、建物等による事故が20件（対前年2件減）で最も多く、次いで交通事故が12件（対前年2件増）の順となっている。

～事故種別の救助出動件数及び救助人員～

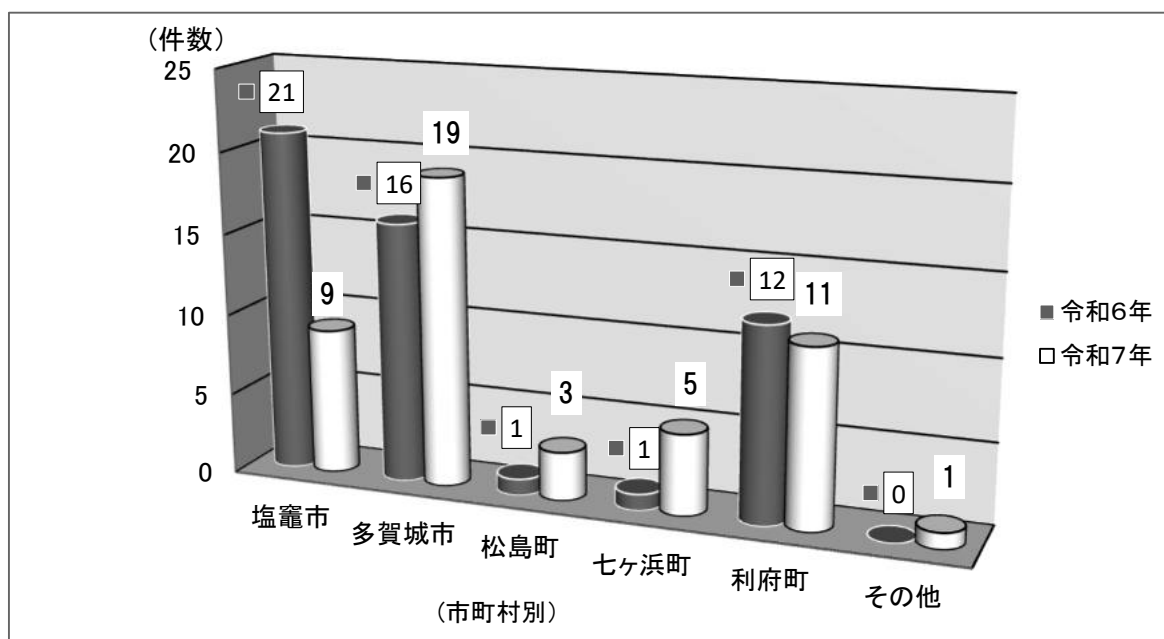
交通事故	12件	（前年10件）	12人	（前年13人）
水難事故	4件	（前年2件）	4人	（前年2人）
自然災害	0件	（前年0件）	0人	（前年0人）
機械による事故	1件	（前年1件）	1人	（前年1人）
建物等による事故	20件	（前年22件）	20人	（前年22人）
酸欠等による事故	0件	（前年0件）	0人	（前年0人）
火災	3件	（前年4件）	4人	（前年4人）
その他の事故	8件	（前年12件）	8人	（前年12人）
合 計	48件	（前年51件）	49人	（前年54人）

～市町別救助発生状況～

区 分		令和 7 年	令和 6 年	増減	合計	事故種別							
						火災	交通 事故	水難 事故	自然 災害	機械 事故	建物 事故	酸欠 事故	その他
合 計	出動件数	48	51	△ 3	48	3	12	4	0	1	20	0	8
	救助人員	49	54	△ 5	49	4	12	4	0	1	20	0	8
塩 竈 市	出動件数	9	21	△ 12	9	1	0	1	0	1	4	0	2
	救助人員	9	22	△ 13	9	1	0	1	0	1	4	0	2
多賀城市	出動件数	19	16	3	19	1	1	0	0	0	13	0	4
	救助人員	20	18	2	20	2	1	0	0	0	13	0	4
松 島 町	出動件数	3	1	2	3	0	2	1	0	0	0	0	0
	救助人員	3	1	2	3	0	2	1	0	0	0	0	0
七ヶ浜町	出動件数	5	1	4	5	0	0	1	0	0	2	0	2
	救助人員	5	1	4	5	0	0	1	0	0	2	0	2
利 府 町	出動件数	11	12	△ 1	11	1	8	1	0	0	1	0	0
	救助人員	11	12	△ 1	11	1	8	1	0	0	1	0	0
他 市 町	出動件数	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	救助人員	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0

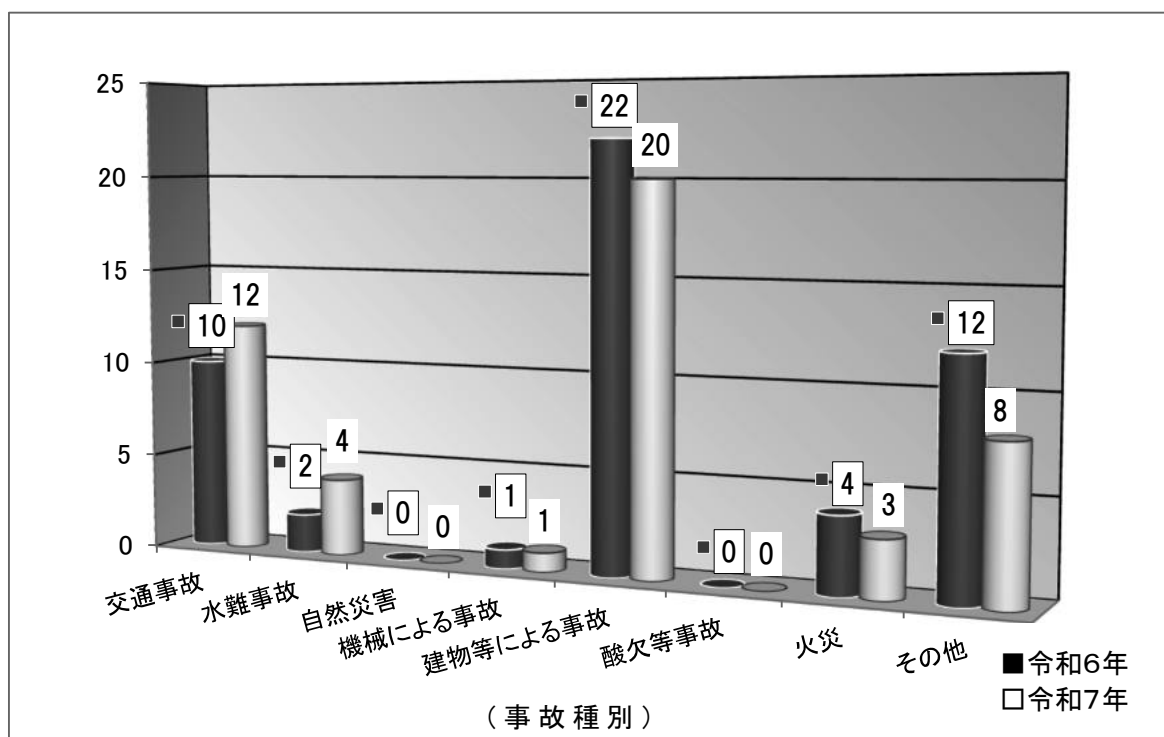
1 市町別出動状況

総出動件数48件のうち、多賀城市が19件で最も多く、次いで利府町の11件、塩竈市で9件、七ヶ浜町が5件、松島町3件の順となっている。



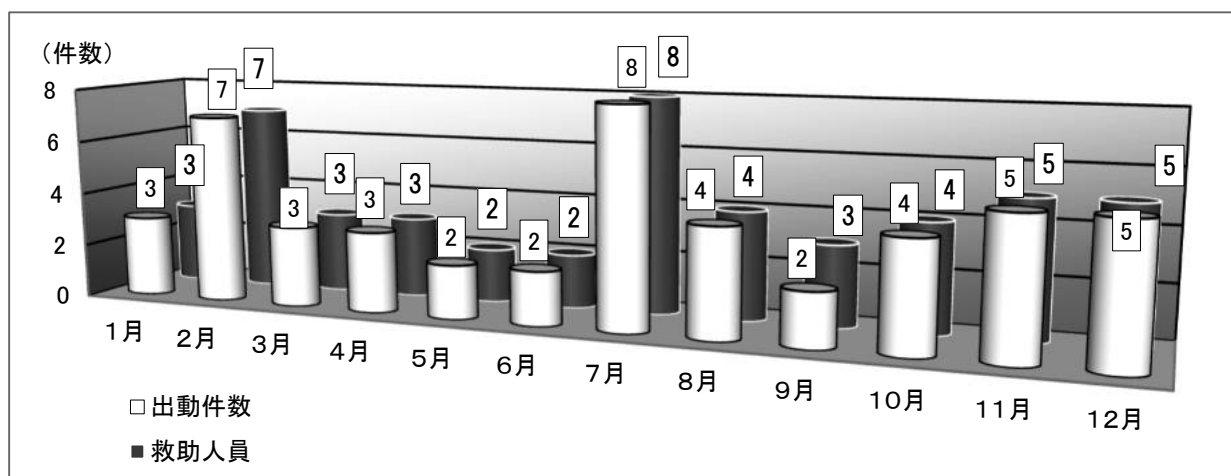
2 事故種別出動状況

建物等による事故が20件と最も多く、次いで交通事故12件、その他の事故が8件の順となっている。



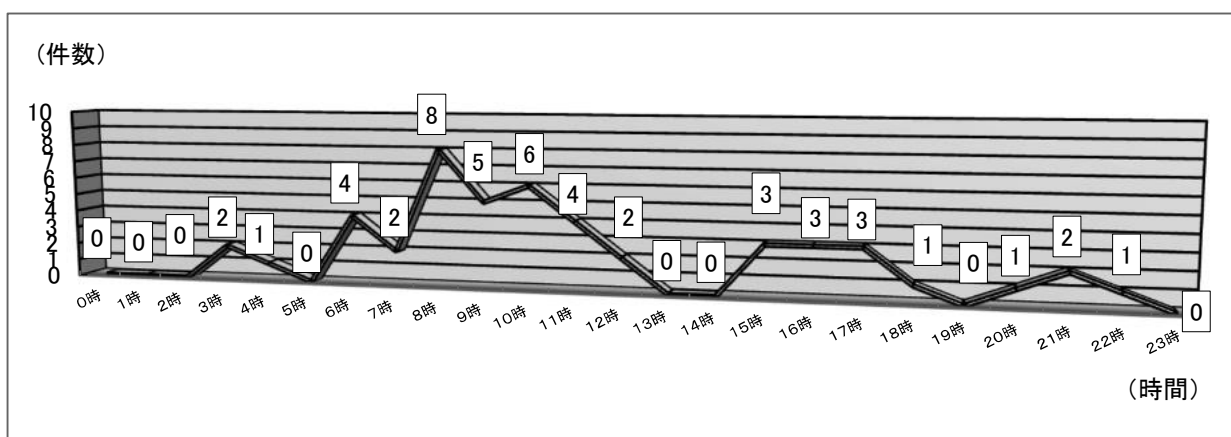
3 月別救助出動件数・救助人員

総出動件数 48 件のうち、7 月が 8 件と最も多く、次いで 2 月が 7 件の順となっている。



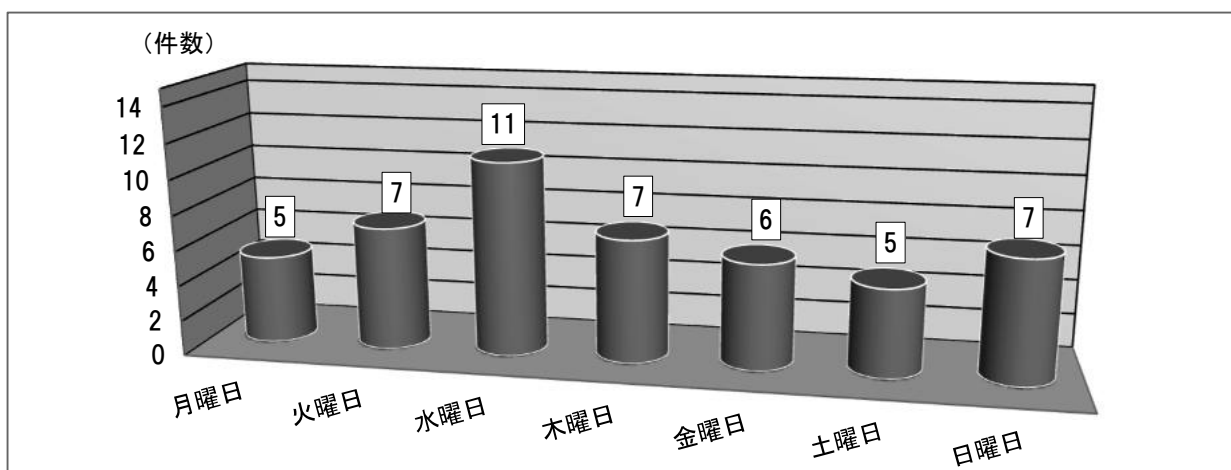
4 時間別救助出動状況

総出動件数 48 件のうち、8 時台が 8 件と最も多く、次いで 10 時台が 6 件の順となっている。



5 曜日別救助出動状況

総出動件数 48 件のうち、水曜日が 11 件で最も多く、次いで火曜日・木曜日・日曜日が同件数 7 件の順となっている。



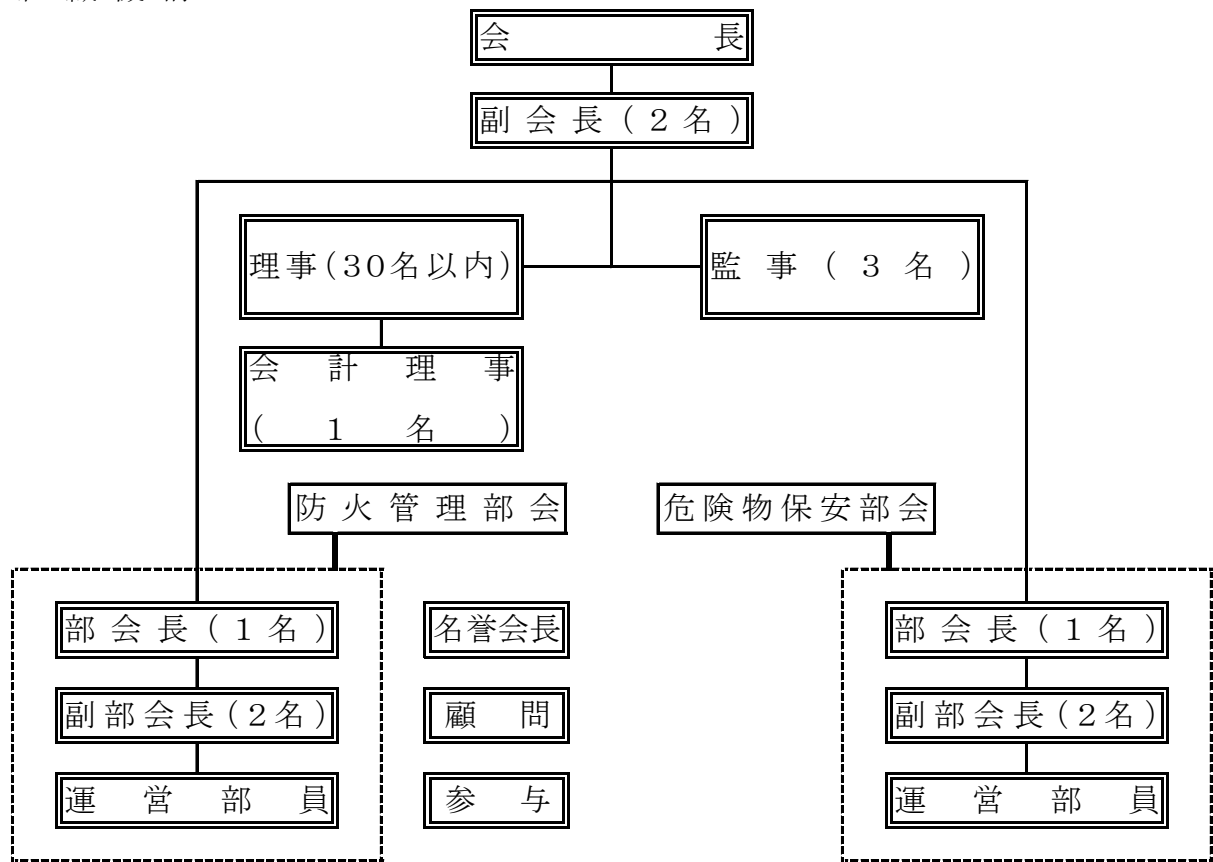
第8編 協力団体



塩釜地区防災安全協会

1 設 立 平成7年4月1日

2 組 織 機 構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 主たる事業

- (1) 防火知識及び危険物災害予防思想の普及に関する事項
- (2) 防火管理者及び危険物取扱者として職務知識及び技術の研究に関する事項
- (3) 火災等の原因及び損害結果を基礎とした予防対策に関する事項
- (4) 講演会及び講習会等の開催に関する事項
- (5) 参考資料、ポスター等の発行及び消防情報に関する事項
- (6) 会員相互の連絡協調に関する事項
- (7) 表彰に関する事項
- (8) その他、本会の目的を達成するために必要な事項

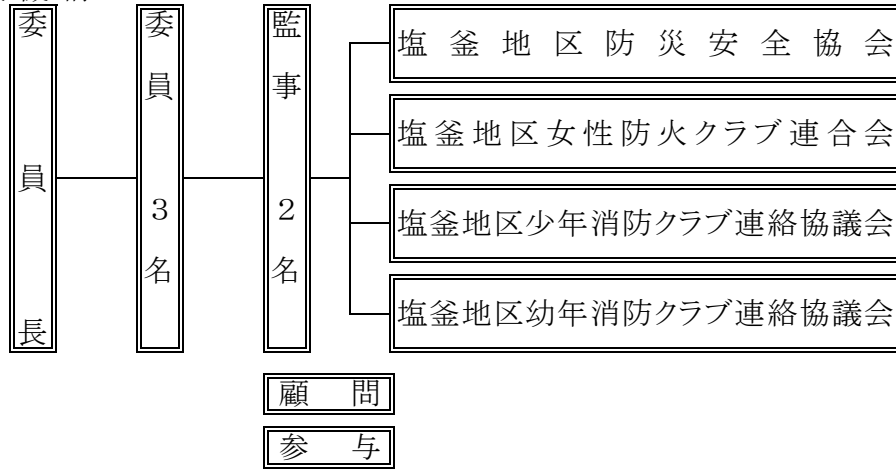
4 会 員 数 (R8. 4. 1) 正会員 529事業所(うち両部会入会 76事業所)

塩 竈 市	193事業所	多賀城市	141事業所
松 島 町	69事業所	七ヶ浜町	43事業所
利 府 町	74事業所	そ の 他 区	9事業所

塩釜地区防火委員会

1 設 立 昭和54年11月14日

2 組織機構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

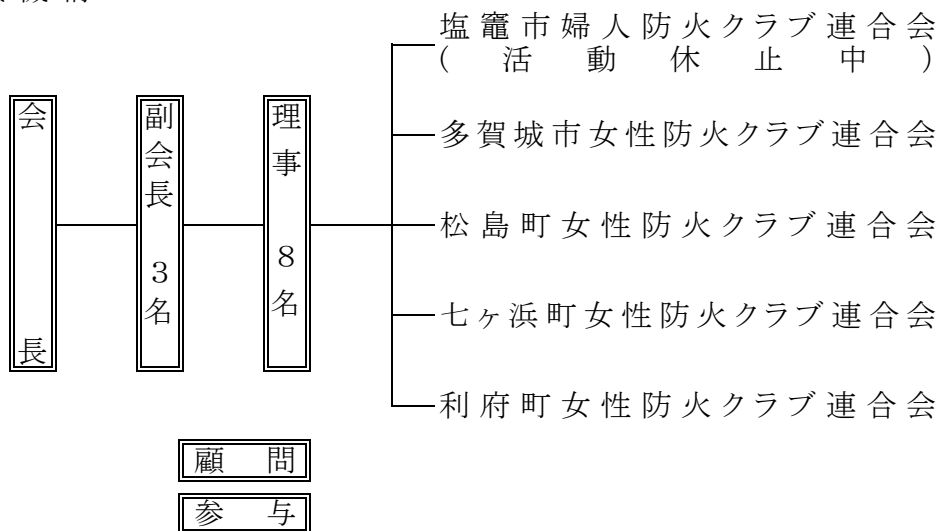
3 目的

本会は、住民の自主防火防災組織としての幼少年消防クラブ及び女性防火クラブの組織拡大と強化を図るとともに、各クラブの運営指導について研究し、助言し、その健全な育成発展に寄与することを目的とする。

塩釜地区女性防火クラブ連合会

1 設 立 昭和50年4月1日

2 組織機構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部予防課内

3 主たる事業

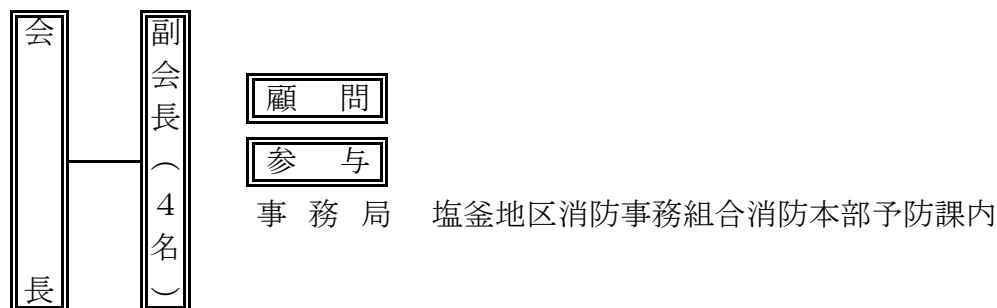
- (1) 家庭防火に関すること
- (2) クラブ相互の連絡協調に関すること
- (3) 指導者の育成に関すること
- (4) 関係当局、その他の消防関係団体との連絡及び協力に関すること
- (5) その他必要な事項

4 会 員 数 (R8. 4. 1)

会 員 51,786名	塩 竈 市	50クラブ 0名	多 賀 城 市	28,649名
	松 島 町	5,743名	七 ヶ 浜 町	7,011名
	利 府 町	10,383名		

塩釜地区少年消防クラブ連絡協議会

- 1 設 立 平成3年12月13日
2 組 織 機 構

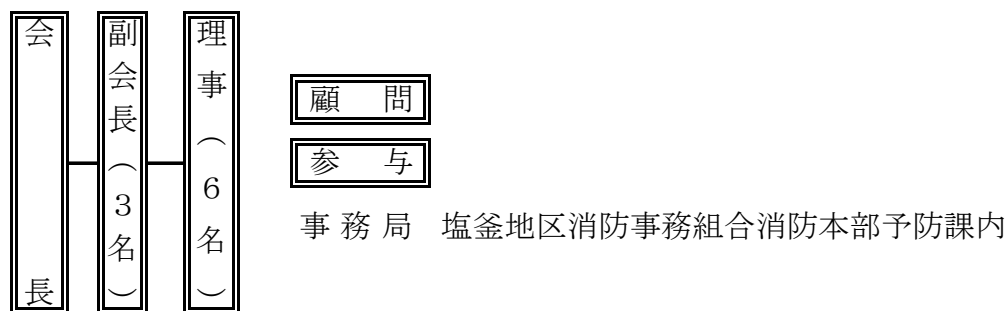


- 3 主たる目標
- (1) クラブの目的、活動について理解を深める
 - (2) 消防についての理解を深める
 - (3) 火災の恐ろしさを知って、防火意識を高める
 - (4) 防火についての心構えを知る
 - (5) 火災の時の処置を知り、身体で覚える
 - (6) クラブ員としての自覚を高める
 - (7) 救急の仕事と応急手当を知る
 - (8) その他必要な事項

- 4 会 員 数 (R8. 4. 1) 25クラブ
- | | | | | |
|-------------|-------|------|------|------|
| 会 員 1, 555名 | 塩 竈 市 | 438名 | 多賀城市 | 540名 |
| | 松 島 町 | 114名 | 七ヶ浜町 | 150名 |
| | 利 府 町 | 313名 | | |

塩釜地区幼年消防クラブ連絡協議会

- 1 設 立 昭和57年9月3日
2 組 織 機 構



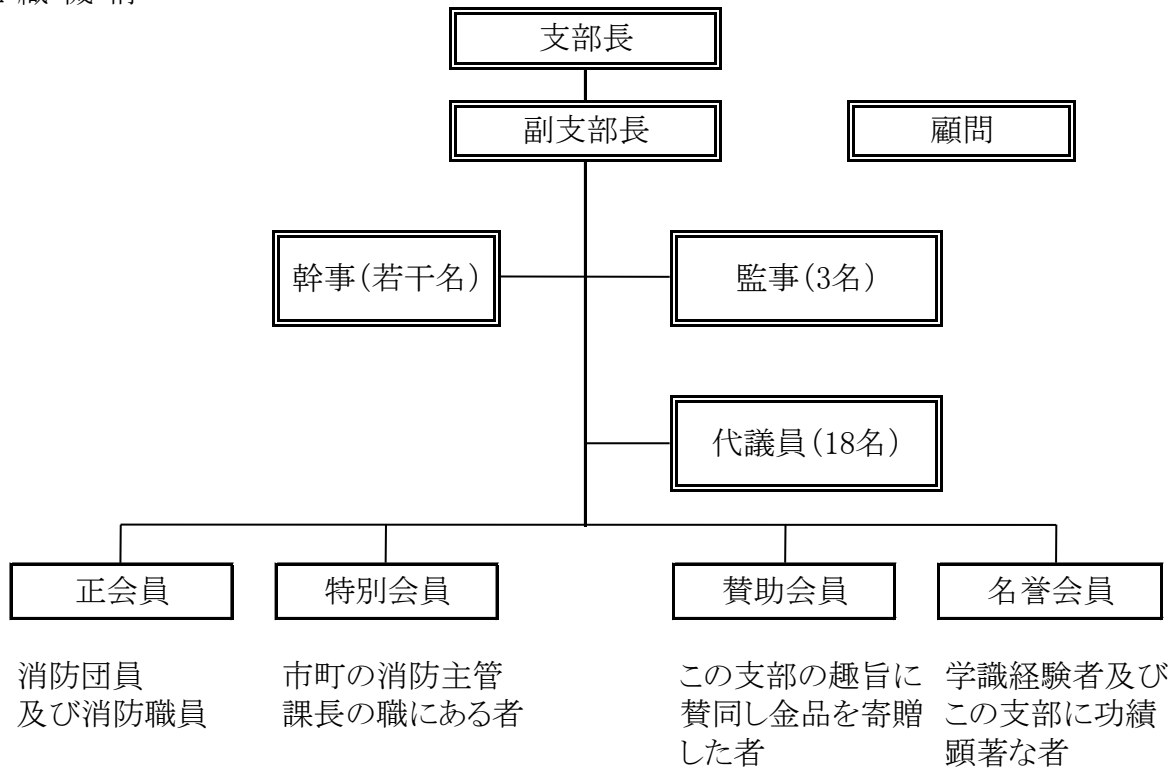
- 3 重 点 主 策
- (1) 火災予防に対する正しい認識を持たせる
 - (2) 火災予防のことを身体で覚えさせる
 - (3) 火遊び防止の徹底を図る

- 4 会 員 数 (R8. 4. 1) 51クラブ
- | | | | | |
|-------------|-------|------|------|---------|
| 会 員 3, 570名 | 塩 竈 市 | 719名 | 多賀城市 | 1, 521名 |
| | 松 島 町 | 191名 | 七ヶ浜町 | 251名 |
| | 利 府 町 | 888名 | | |

宮城県消防協会塩釜地区支部

1 設 立 昭 和 47 年 4 月 1 日

2 組 織 機 構



事務局 塩釜地区消防事務組合消防本部警防課内

3 主たる事業

- (1) 消防機関相互の連絡及び事業に対する協力
- (2) 消防思想の普及徹底
- (3) 消防に関する調査・研究・指導
- (4) 消防機械器具及び関係資材の購入の斡旋
- (5) 消防機関会員及び消防功労者の表彰
- (6) 大災害地に対する支援の斡旋
- (7) その他この支部の目的を達成するための必要な事業

4 各市町団員数等 (令和8年4月1日現在)

分 団 数	団 員 数
塩 竈 市 塩 竈	4 分団 74 人
塩 竈 市 浦 戸	2 分団 41 人
多 賀 城 市	8 分団 141 人
松 島 町	6 分団 180 人
七 ヶ 浜 町	10 分団 169 人
利 府 町	5 分団 82 人
総 数	35 分団 687 人

令和8年度塩釜地区統一防火標語入選作品

【特 選】

「守りたい みんなの町を 火災から」

松島町立松島第一小学校 5年生 木村 一沙 さん

【入 選】 小学生の部

「火の用心 命は一つ 守ろうよ」

松島町立松島第一小学校 5年生 田村 駿 さん

「思い出を 消さないために 火の用心」

松島町立松島第一小学校 5年生 太田 睦美 さん

一般の部

「あぶないよ 慣れと油断は 火事のもと」

会社員 早坂 拓真 さん

「火の用心 うっかり油断が 火事のもと」

会社員 西澤 研一 さん

「火のしまつ わが家と地域 守るため」

主婦 菅野 和子 さん

第49回塩釜地区防火書道展最優秀作品



利府町立利府第三小学校
四年生 黒川和泰さん



塩竈市立玉川小学校
五年生 渡辺芳さん

令和 7 年版
消 防 年 報
令和 8 年 8 月発行

編 集 塩釜地区消防事務組合消防本部
〒985-0021 宮城県塩竈市尾島町17番22号
T E L 0 2 2 - 3 6 1 - 0 1 1 9
F A X 0 2 2 - 3 6 5 - 1 1 9 0
メールアドレス soumu@sioshou.jp
ホームページ <https://www.sioshou.jp/>

本誌は、当組合ホームページにも掲載しています。



塩釜地区消防事務組合

SHIOGAMA DISTRICT FIRE FIGHTING UNION partial-affairs-association